

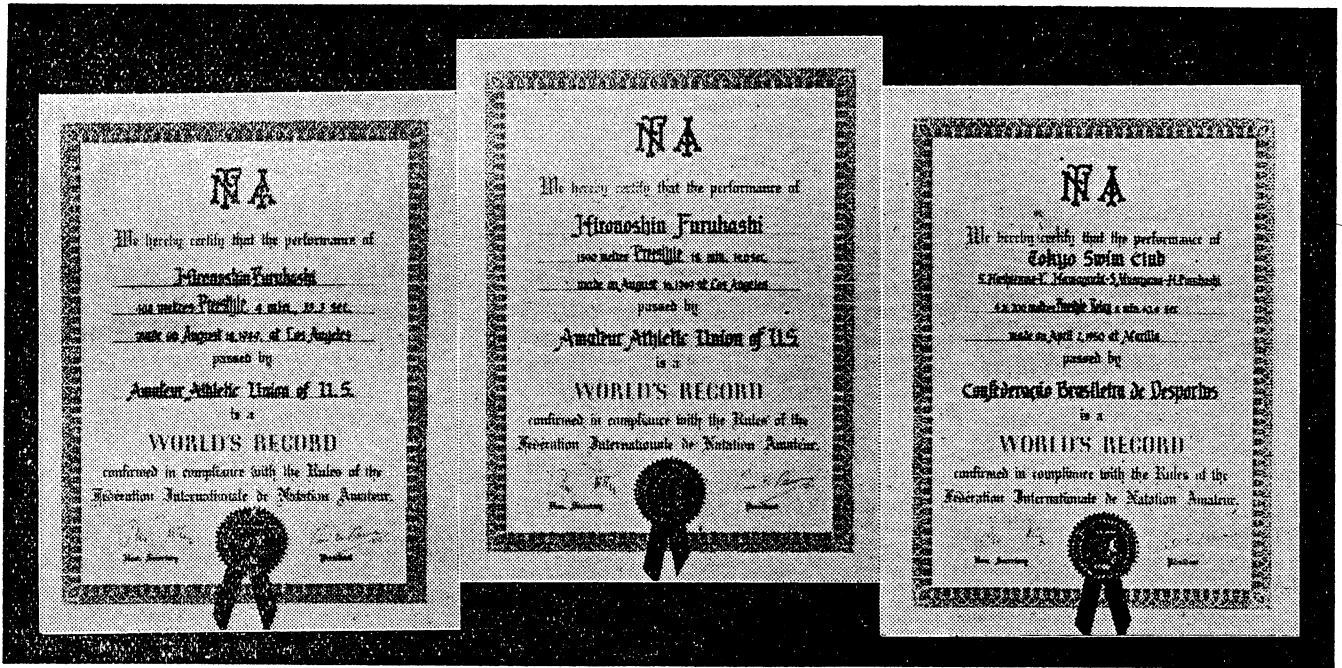
水泳

1951

卅

日本水泳連盟機関雑誌

92



世界記録證 左より 400, 1500 米自由形 (古橋廣之進選手) 800 米リレー (東京クラブ)

N. S. R. 機關雜誌

水泳

昭和 26 年・第 92 號

目 次

末弘嚴太郎先生の死を悼む	田畑 政治	2
日本選手権水上競技大会		7
○總 評	木村 象雷	7
○男子競泳	小山賢之助	8
○女子競泳	杉本 傳	11
○飛込競技	太田 豊明	13
○記 録		15
水球の笛に疑問を呈す	木村 象雷	14
全國勤勞者水上競技大会	伊丹 康夫	22
○記 録		23
日本高等学校選手権水上競技大会	宍道 洋一	26
○記 録		28
東部高校選手権水上競技大会	白山源三郎	31
○記 録		31
西部高校選手権水上競技大会	吉田 嶺吉	33
○記 録		34
全日本ジュニア・レクリエーション 大会水上競技大会成績発表		35
關東学生水球リーグ戦を回顧して	藤田 明	36
○記 録		37
オリンピック候補		39
飛込の美しさ	原 秀夫	40
長距離選手の種類	坂本亮四郎	42
テルマ・カラマの來訪		44
エヴリン・川本の來訪		44
天理合宿記	小池 禮三	45
プール行脚	深谷 俊明	47
海外ニュース	辻 富士夫	48
昭和26年度各地水上競技会記録		54
代議員會議事録		77
連盟日誌・あとがき		80

末弘嚴太郎先生 の死を悼む

日本水泳連盟会長

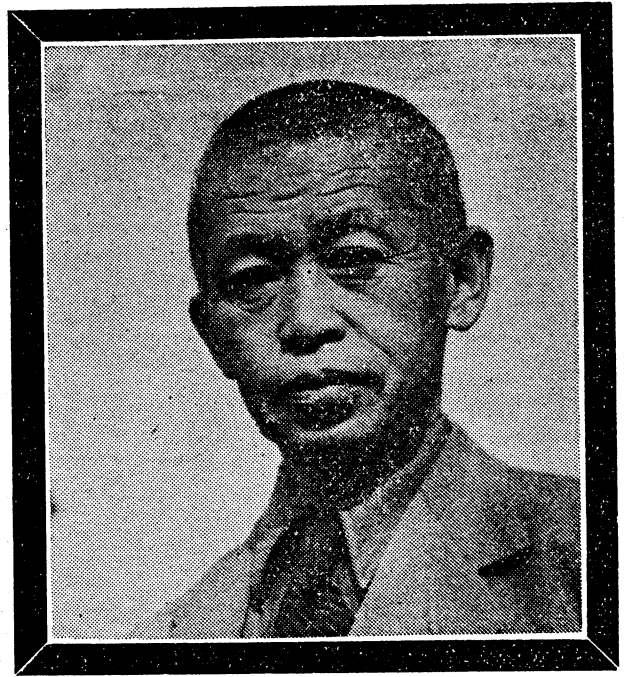
田 畑 政 治

われらのガンちゃん！末弘先生が遂になくなられた。悲しみと云うよりは哀惜の度を超える大きな空虚な感じが水泳人の胸に拡がる。

先生の永眠された9月11日と云う日は30年前に始めて先生に水上競技界へ乗り出して審判長をつとめて頂いた第1回インターカレッジの決勝日に当って居るし、先生の御葬儀の9月15日は今年第27回の日本学生選手権大会の最中であつて、明治神宮プールに於けるこの大会の來会者一同が開会に当って黙禱を捧げ得たのも奇しき因縁につながるように思われる。

先生のわが水泳連盟に於ける場合は、大会の時ばかり胸に大きな花をつけて現れて来るような、そこいらの乗つかつて居る会長とは訳が違うのであつて御自身が一家言ある立派な水泳者であつたばかりでなく、金もない施設もない、社会的信用さえないような小さな団体から出発して全国学生水上競技聯盟を固め大正13年に第1回明治神宮競技を期して全国13地区に呼びかけて大日本水上競技聯盟を創立された。私はその時東海地区から馳せ参じてそれ以來苦勞を共にしたのであるから、本当にガンちゃんによつて育て上げられて來たわが聯盟であることを誰よりもよく知つて居るつもりである。そしてつい一昨年日本選手権大会へ陛下行幸の佳き日に先生の還歴祝をして、この勞苦の結果を喜びとして祝い合つたのに（本誌86號、復刊3號、17～19頁参照）今日遽かに先生の赴に接してただ茫然とするばかりである。

大体大正10年に当時歸朝したばかりの人気はあつたがかけ出しの若い大学教授を、インターカレッジの審判長に引つ張り出さなければならなかつた理由が、古い体協水泳部の役員に不満を持つ学生選手達の裁きをつけるのに先生ならよかるうとゆうのであつたから、最初から紛争の中に飛び込んで來た様な



ものであつた訳で、幾度か深夜に先生の御宅の門を叩いて緊急処理をして頂かねばならぬ事であつたろう。しかし随分はげしい争もその場だけのものにして後に問題を残したり外に醜体を出したりすることがなく、全体の和を保つて來たことは今にして思えば先生の徳であつたとしみじみ思う。しかも使いにくい飯田、石本と云つたような科学者達をこなして水聯にプラスとしたり、水泳の面では水泳経歴を重んじて人材拔擢をし、他をして物を云わしめぬような人事を敢てした。例えば第8回オリンピック大会に当時の1中学教諭であつた杉本傳氏を——と云つては失礼だが——日本チーム監督にして立派な成績を挙げたなど鮮やかな思い出である。

水泳連盟は設立の初から正しき主張をして來たことでは、決して一步も譲るものではなかつたが、それ故にまた、危機を招いたことがないではない。「水泳連盟の歴史を顧みて、最も苦しかつた時代は聯盟の独立的存在を主張する爲に、体協と喧嘩し神宮体育会と争つた時代であつた。今日になつて見ると体協や神宮関係の方々にも、多少濟まなかつたと思ふ点もあるが、あの闘争を敢行した意気こそ水上聯盟をして、今日あらしむるにつき最も有力な自主独往自力本願の精神的基礎をなしたものであることを忘れてはならない。（末弘、本誌56號5頁）」これは大正15年8月京都に於ける代議員会で、当時の文部省対内務省の紛争に愛憎をつかして神宮体育会に対して脱退声明をし、実力涵養に急であつた爲に極東大会不要論を体協につきつけて、同大会に第2軍を送り誤

審等の爲僅少の差で敗れた当時のことに対する追憶であるが、かう云つた悲愴な気持でこの聯盟を指導して來られた後を偲ぶとただ頭が下がる思がする。

また一つの水連の危機は昭和5年の明治神宮プール建設の事業であつた。今日偉觀を誇る明治神宮諸競技場の内で、プール程競技団体がつらい思をして奉獻した施設があるであろうか。第9回極東大会の爲にプール2つだけの突貫工事をして居る時にスタンドを作る約束はあつてもあてがある訳ではなかつた。その極東大会の最中に末弘会長自身でマイクを握つて「皆さんの席を皆さんで作つて下さい」と觀衆に訴え帽子を廻した時にも、心の裡からの眞剣な叫びであつたからこそ、皆にアツピールしたものであつたらう。後に原田財団から後援を得られたのも全く末弘さん自身の斡旋であつた。

このプールが出来てからは先生が何処からか融通して來て下さる小切手の御世話になることも少なくなつた。オリンピックにアメリカ打倒の決心をすることも現実の問題となつたし、体協並に神宮大会に対する主張も自ら正しく評價されるようになつた。ロスアンゼルス・オリンピックの勝利は1932年の選手が強かつたばかりではなくて、1930年の経済不況を乗り切つてプール建設の危機を脱した所にありとさえ觀じたい。

そして、このロスアンゼルス大会の日本代表チームを、この神宮プールに迎えた歓迎報告会の席で「此故に次のオリンピックに備へる爲には又初めから根気よく新しい、一層大きなピラミッドを築いて其尖端を高く高く世界水泳の水準線上に聳えしめる覺悟がなければならない——(本誌14號4頁)」と説く先生であつたし「元気で泳がう、みな朗らかに——水泳日本の名にかけて——」と子供等と共に国民皆泳を誦うガンちゃんでもあつた。

「以上を要するに古き傳統を有する我国水泳界をして一層其の基礎を鞏固ならしめ、新日本泳法を樹立して世界制覇を完遂せしめたるものは氏の功績に俟つ所甚だ大なり、水泳競技団体の組織の整備指導者の養成並に統率技術方法の科学的研究の完備等各方面に渡り我国水泳の發達に貢献寄与せるところ極めて大なるものあり」と紀元2600年の、厚生省体育功勞者の表彰文にあるが、それ以上の心のつながりをもつ先生の死は水泳人の心の痛手として書き現しようもない。

ただヘルシンキよりの吉報を靈前に捧げて冥福を祈りたいのであるが、先生、昔アムステルダム大会やロスアンゼルス大会の時に日本でわれわれの泳ぐのを心配して待つて下さつた時のように來年は御空の上で見護つて下さいと、ますひしと祈りたい。

日本水泳連盟名譽會長

末弘嚴太郎先生略歴

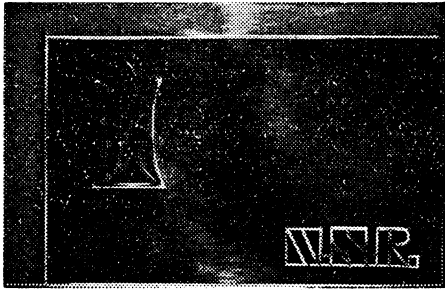
松澤一鶴編

年 月 日	事 歴	水 泳 行 事
明治21. 11. 30	父嚴石氏赴任先の山口縣に生る。	
33. 3.	東京市本郷小学校卒業。 小学校時代東京隅田川にて水泳を練習す。	(31) I 横浜外人対大田派国際競技
38.	開成中学校卒業、第一高等学校入学。	(39) I 関東聯合游泳大会
40.	一高水泳部助手、擊劍部取締、野球部マネジャーとなる。	(IV) オリンピック・ロンドン)
41. 8.	一高独法科を卒業。	
45. 8.	東京帝国大学独法科卒業。	
45. 夏	一高水泳部師範となる。	(V) オリンピック・ストックホルム)
大正 3.	東大助教授に任ぜらる。	
3. 8.	大日本体育協会主催第1回水上競技大会に役員として参加	I 体協全国水泳
7. 夏	米国、瑞西、佛蘭西、伊太利等留学	
9. 秋	歸朝、法学博士の学位を受く。	(VII) オリンピック・アントワープ)
10. 4.	東大教授、民法講座をもつ。	V 極東大会

10.	9.	10	I 各大学対抗水上競技大会審判長	I 学生選手権
10.	9.	28	体協水泳部委員に委嘱さる。	
11.	9.	15	VI 極東大会執行委員	
11.	12.	2	体協常務理事に就任、編集部常務委員	I 全国女子大会
12.	6.	13	全国学生水上競技聯盟規約改正と共に会長就任。	
12.	6.	23	体協寄附行為起草委員主任 法人組織に改造着手	VI 極東大会
12.	9.	1	関東大震災救済事業。	
12.	11.	4	学生聯盟として体協改組に乗り出す。	
13.	5.	14	I 明治神宮競技準備委員。	VIII オリンピック、パリー
13.	9.		関東水泳協会創立、主事に就任。	
13.	10.	31	I 明治神宮競技大会を期して、大日本水上競技聯盟を結成、假主事に就任、事務所を東京市小石川区竹早町 120 の先生宅に置く。	I 神宮競技 I 全国中等
14.	4.	25	体協改組成り、全日本選手権大会の委譲を受け、水聯は名実共に全国統轄団体となる。	VII 極東大会
14.	4.	24	規約の全国承認と共に大日本水上競技聯盟会長に就任、国内、国際水上競技に対し活潑なる活動開始	
14.	6.	17	体協専務理事を辞退、理事となる。	
14.	10.	10	II 明治神宮競技兼大正 14 年日本選手権水上競技	II 神宮競技兼選手権
14.	12.	22	体協法人許可促進委員	
15.	8.	16	京都代議員会に於て極東選手権大会並明治神宮競技に対する重大な水聯声明書発表。	ハワイ招待、日布対抗、濠洲招待
15.	9.	7	水聯、報知新聞主催日米対抗水上競技大会に役員長 (NSR 最初の国際競技)。	
昭和	2.	4.	30	I 中等東西対抗
	2.	6.	23	布哇全米選手権
	2.	7.	31	VIII 極東大会、極知汎太平洋
	3.	6.	2	
	3.	8.		IX オリンピック、アムステルダム
	3.	9.	10	朝日国際水泳
	4.	2.		女子選手布哇遠征
	4.	5.	5	
	4.	6.		V 神宮、第 2 部
	4.	6.	5	
	5.	5.		
	5.	5.	10	IX 極東大会、東京
	5.	5.	25	布哇国際水泳 (明大参加)
	5.	8.	15	
	5.	11.	3	
	5.	12.	2	
	6.	4.	6	
			原田財団の寄附で神宮プール 第 2 期工事定礎式。	

6. 6. 19	同工事完成。	
6. 8. 7	第1回日米対抗水上競技大会総務委員長。	I 日米対抗
6. 10. 2	第6回神宮競技は日本選手権を兼ね、再び NSR 主催で始めて神宮プールで舉行。	
6. 10. 4	第10回オリンピック水泳候補選手選考委員長。	
6. 12. 8	神宮水泳場並野球場奉獻奉告祭(明治神宮奉讃会)	
7. 6. 18	第10回オリンピック選手詮衡委員長。	X オリンピック、ロスアンゼルス
7. 7. 5	標準泳法制定、水泳指導者講習、指導者資格検定を主催す。	
7. 9. 8	オリンピック選手観迎報告会に於て水泳日本ピラミッド運動を高唱	
7. 11. 1	水聯丸ビル事務所開設。	
8. 4. 12	体協理事辞任評議員に留る。	
8. 10.	東大法学部長就任。	
8. 10.	日本水泳史研究会設置。	
9. 2.	極東大会に満洲国加盟問題に斡旋。	X 極東大会、マニラ
9. 4. 15	第10回極東大会選手選考。	
9. 10. 2	岸記念運動会館建設委員会委員。	
10. 5.	体協参与員に選任。	
10. 6. 5	第2回日米対抗準備委員長、寄附金募集に活躍	
10. 8. 5	男子競泳オリンピック候補並日米対抗選手選考委員長	
10. 8. 17	第2回日米対抗水上競技大会々長。	II 日米対抗
10. 9. 15	全国学生水上競技聯盟改組され日本学生水上競技聯盟創立、初代会長となる。	
11. 5. 31	第11回オリンピック日本代表水泳チーム団長として推戴渡欧輝しき成功を収む。	XI オリンピック、ベルリン
11. 9. 19	第1回日本学生選手権大会開催。	
11. 10. 24	第12回オリンピック東京大会組織準備委員に推薦さる。	
11. 12.	水泳資料集成刊行。	
11. 12. 9	水連よりの体協評議員理事に選任され、オリンピックを機会に強力理事会を結成。	
11. 12. 17	ベルリン大会後歐洲米国旅行を終り歸朝。	
11. 12. 26	体協オリンピック委員会委員となる。	
12. 1. 27	水聯オリンピック東京大会準備委員東洋大会準備委員。	
12. 5. 20	体協評議員理事再選。	
12. 7. 8	オリンピック組織委員会科学施設研究会にて芝生の研究結果発表。	
12. 7. 17	体協体育振興調査委員会委員長となり国民体位向上の問題を扱う。	
12. 12. 20	日本オリンピック委員会委員。	
13. 1. 14	厚生省体育振興調査委員会委員長。	
13. 1. 17	体協専務理事就任。	
13. 1. 31	東京オリンピック組織委員に追加さる。	
13. 3. 9	オリンピック構築委員長。	

13. 6. 3 体協寄附行為改正に依り理事長に就任。
13. 7. 15 東京オリンピック返上。
13. 8. 7 第1回国体長距離競泳役員長
13. 8. 23 国民精神作興体育大会委員 (11.3 東京、11.20 関西)
13. 8. 28 国民皆泳全国学童水泳大会 (ラジオ水泳) 会長。
14. 2. 17 体協機構改造小委員会委員長。
14. 4. 28 体育振興運動具愛護展覧会。
14. 5. 19 日滿華交驛競技準備委員長 (9.1 実施)
14. 6. 2 体協理事長再選。
14. 12. 1 岸記念運動会館委員 (改組再活動)
15. 1. 22 紀元 2600 年奉祝興亞競技大会準備委員後に事務総長 (6.5 大会)
15. 6. 10 東洋体育大会臨時總會。
15. 8. 20 滿洲より北京に出張。
15. 10. 27 紀元 2600 年奉祝第 11 回 明治神宮国民体育大会開会式に於て 厚生大臣より 体育功勞者として表彰さる。
16. 1. 体育運動の合理的振興方策答申 (厚生省)
16. 2. 4 岸記念体育会館運用委員長。
16. 3. 22 同上落成式。
16. 5. 20 体協役員改選理事長に再選。
16. 10. 23 綜合体育団体懇談開始。
16. 12. 24 大日本学徒体育振興会理事、学徒水泳部長。
17. 4. 7 綜合団体大日本体育会に改組と共に常務理事、鍊成部長、水泳部会長となる。
17. 5. 22 体協特別功勞者として表彰さる。
17. 8. 8 滿洲建国10週年東亞大会に選手團派遣。
17. 10. 1 各競技団体発行の体育雑誌を統合して体育日本一つとする。
18. 5. 大日本武徳会理事。
18. 夏 壯丁皆泳訓練始まる。
19. 4. 20 体育会理事長を引き継ぐ。
21. 1. 24 同上副会長となる。
21. 3. 中央労働委員会々長代理、東京都地方労働委員会々長となり電産爭議等を処理す。
21. 4. 船員中央労働委員会々長。
21. 5. 日本体操協会顧問。
21. 3. 31 東大教授を辞職。
21. 10. 覚書該当者として教職追放決定。
23. 3. 東京都地労委、船員中労委会長に再任。
22. 10. 中労委会長に就任、全官公ゼネスト等処理。
24. 7. 公共企業体仲裁委員会委員長。
24. 7. 22 水泳天覽の日を期し、明治神宮プールに於ける日本選手権大会で還歴の祝を行う。(水連)
24. 12. 水連名譽会長に推さる。
24. 12. 労働問題視察の爲渡米 3 ヶ月間。(25.3 歸朝)
25. 4. 中労委会長辞任。
25. 7. 公共企業体仲裁委員長解職。
25. 9. 直腸癌手術。
26. 9. 10 教職追放解除。
26. 9. 11 午前 4 時 8 分東京都世田谷区宇奈根町自邸にて永眠さる。
26. 9. 15 正三位勳一等に陞叙せらる。
26. 9. 15 中央労働委員会に於て葬儀を執行。
26. 10. 12 体協水連主催追悼会を行う。



昭和26年度

日本選手権水上競技大會

總 評

(8月10～12日 大阪プール)

木 村 象 雷

新人に恵まれる傳統のオリンピック前年、昨年の日米に旗色が悪かつたわが水泳が、ヘルシンキの勝算をつかむかどうかと期待して眺めたのであるが、……新人達は傳統にそむかず、非常に豊富に登場した。

だが、総体のレベルからヘルシンキでの勝算ということになると、まだそこまではゆかず、樂觀を許さない形勢に終つたというのが正直なところだろう。せめて今年のような状態が去年出ていたら、という感じもする。

大会の印象深いものを取纏めてみる。

今年の古橋

200に2分7秒6を出した古橋は、昨年よりも力を上げているわけだが、泳法は少し荒れているように思えた。耐久力よりもスピードに力を注いで練習して、あなつたものと思われる。右手のキヤツチのとき頭が沈み過ぎ、ピツコの感じを深くしていた。しかしモノ凄しい馬力は驚くばかり、あの調子で百をやつたらどの位の記録が出るか試してみたいところだ。ヘルシンキで100、400か、400、1500かということになると、100にまわつた方が確かかも知れない。それにしても、あの体力で、もう少し滑らかに泳いだら、さらに記録は上りはしないか、という疑問が残る。

古橋に続くヴェテランの中では、東、丸山が陥落したのを除き、浜口は100に優勝、田中純は200に2位、田中寧は400に2位、橋爪は1500に優勝し、各々その貫祿を保つた。

新人の泳法

ヴェテランに食い下つた新入としては、100の鈴木

西、200の後藤を特筆したい。

ことに喜ばせてくれたのは、これらの選手のフォームだつた。

まず後藤だ。昨年田中寧が稀に見る軽快なフォームを見せて、キツパスを感心させたが、彼は後藤の泳ぎを見て、どういふだろうか特にどこに力が入っているともわからぬ平凡な泳ぎながら、足もよく効いておりそれに腕が前にスラスラと楽に運ばれる。上体の上下動がなく、ピツチがグングン上る泳ぎだ。あの小柄な身体で、よく200に2分12秒台が出るものだと感心した。

当代隨一の好フォームとして折紙をつけてもあまり異論は出ないのではないか。

西は近來稀な急ピツチ型だ。遊佐君などよりストロークは短いが、よく水を擱んでいる。腕の泳ぎといつた方だが、さらに進むには足のことも念頭におくことが肝要だろう。

谷は武運つたなく敗れたが、往年の宮崎張りの強い足を持つたスケールの大きい短距離泳者である。

ヴァラエティのある3新人は、各々水泳界に影響を与えることだろう。も少しフォーム論に深入りすると、橋爪は往年の滑らかさが減り、力で泳いでいた感じ、牧野型の田中純はキヤツチに鋭どさを増し、軽快型の田中寧は、ややストロークに力が加つてきている。

泳法界は古橋の傑出以來、水上で非常にラフに見える古橋型のラフなところだけ真似るフォームが全国に流行した感じで、識者は心配していたが、後藤田中寧などのスムーズな型が頭角をあらわして来たのは良い傾向だと思う。

バタフライ

梶川が数多く、しかも各々独自の工夫になる各種各様のバタフライを破つて勝つたのは、泳法の勝利といつてよい。バタは泳法として未完成の感が深い。急ピツチあり、1呼吸2掻きがあり、緩ピツチがある。清水のような急ピツチでは身体が立つて

足が動かない。1呼吸2掻きは、呼吸しない掻きのとき非常に進むが、呼吸が苦しい。梶川のは緩ピッチで、足を十分に効かせている。田中(丹原)のは緩ピッチで身体が伸び終つてから、足を蹴つている。一般にバタは急ピッチ型を練習している人が多いようだが、上下動にスピードを邪魔されて大成は出来ないのではないかと思う。

背泳は今一步

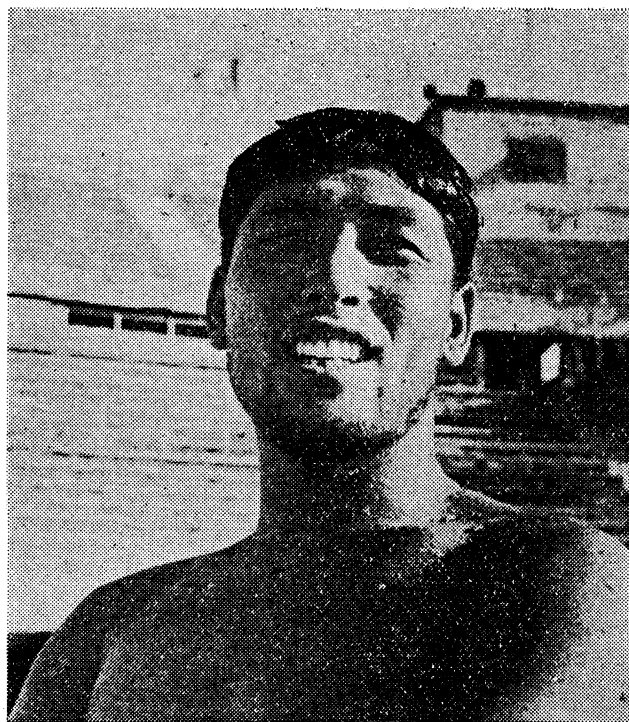
西野選手のカムバックに驚き、倉橋と芦田に希望を見出した。キープア以後、世界の背泳は低下している様子だから1分8秒0を出していたら優勝が争えるところと思うが、あとひとふんばりが必要だ。

女子は3年後

川本、カラマを見た日本女子は、これから急に伸びそうだ。自由形の新子、背泳野口の今後がまず注目されるが、今年決勝に活躍した自由形の齋藤(土佐)吉田(佐敷)宮崎(五條)背泳の森前(伊都)平泳の青木(伊都)などいずれも15歳前後の少女でこれらが力を増す3、4年後こそ見ものだろう。

女子のバタフライは駄目なのか、やつて見ないだけなのか、明年あたりハツキリした返事を聞きたい。

男の選手達よ。川本、カラマのスタートを見たか伸びた空中の形は誰もかなうまい。十分の練習が積まれていることに頭が下つた。



200米自由形に新記録を出して依然たる強味を見せた古橋選手

々外電で入つて来るが之を参照して貰つて、私が全日本の評を書くのでなく皆様に以下の記録を参照して戴いてそこから出てくる意見を今年の男子競泳の批評とすることとした。

単なる記録の羅列で恐縮ではあるが、之も亦一種の評となるのではないかと思ふ。

100米自由形

昭和6年	1.	59.2	宮崎
	2.	60.4	高橋
	3.	60.6	河石

ロスアンゼルスでは58.2で宮崎が1着準決勝では58.0で泳いでいる。河石が58.6で2着、高橋は59.2で5着となつた。

昭和10年	1.	59.0	田口
	2.	59.4	新井
	3.	60.6	平野
伯林	2.	57.9	遊佐
	3.	58.0	新井
	4.	58.1	田口

伯林の準決勝では遊佐田口共に57.5を出している。昭和10年遊佐は全日本には欠場しているが、全国学生で57.2を出している。昭和10年の田口、新井のベストタイムはそれぞれ58.8、59.0である。之に対し今年

男子競泳

小山賢之助

オリンピック前年の全日本といえば、誠に重大なもので、之が成績如何によつて、翌年のオリンピックの勝敗がきまると迄言われている。本年の全日本の批評は、結局過去2回のオリンピック(ロスアンゼルス、伯林)の前年即ち昭和6年、昭和10年の全日本で出た成績を本年のそれと比較して見れば自ら出てくるのではないかと考えた。そこで以下單なる記録の連続で批評にはなつていないかもしれないがオリンピック前年とオリンピックの成績を比較し、ロンドンの成績を参照することによつて、読者の皆さんにヘルシンキでは、どれ位のタイムを出さねばならないか、又出るかも知れないなというところを御推察願うこととし、又他方、外国選手の成績が時

1. 59.0 浜口
2. 59.0 鈴木
3. 60.0 西

昭和6年全日本1位から3位の平均タイムは60.67
同10年は59.67 本年は59.33 オリンピック出場日
本3選手の平均はロス58.67、伯林58.0 ロスでは
前年全日本より2秒を上げ、伯林では1.67秒上つて
いる。ロンドンに於ける6位迄の平均タイムは58.27
であつた。人間は機械でないから此の資料を以つて
軽々しく結論を下すのは危険であるが、以上のタイ
ムから大体の傾向が知られると思う。

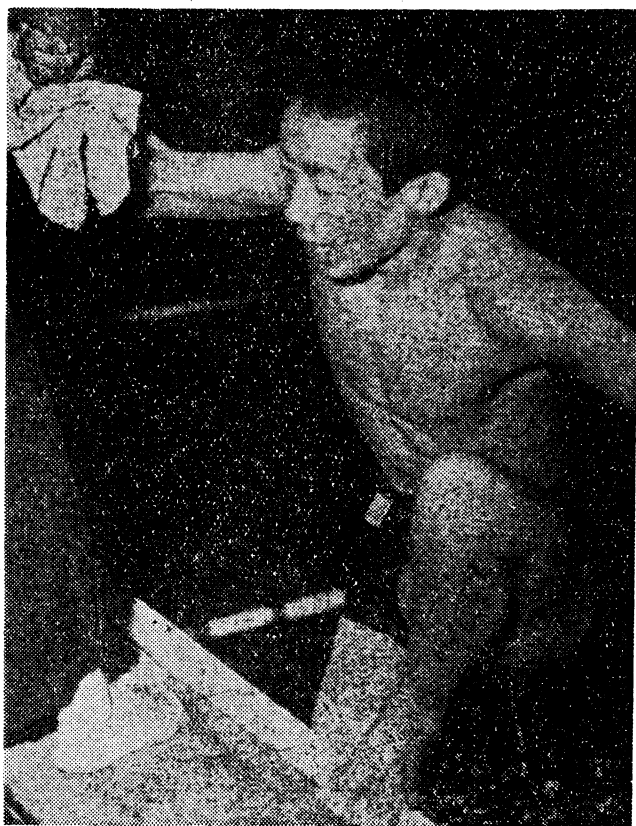
200米自由形

- 昭和6年
1. 2:16.4 横山
 2. 2:18.8 宮崎
 3. 2:19.4 武村清

ロサンゼルス800米リレー 8:58.4 宮崎、遊佐、
豊田、横山

- 昭和10年
1. 2:18.6 杉浦
 2. 2:18.6 片岡
 3. 2:20.2 鶴岡
 4. 2:21.2 新井

伯林、800米リレーは8:51.5



200米自由形に活躍した

後藤 暢 選手 (浮羽高)

昭和六年の3人の平均タイムは2:18.2、ロスの
800リレーは平均2:14.6 3.6秒 向上、昭和10年
の平均は2:19.65、伯林では2:12.875 である。
今年は

1. 2:09.0 古橋
2. 2:12.0 田中純
3. 2:12.0 浜口
4. 2:12.2 西

平均2:11.3 である。ロンドンでは米国チームは
8:46.0 であるから平均2:11.5 である。昨年日米
対抗の時の米国チームは8:42.8 平均2:10.7 であ
つた。

400米自由形

- 昭和6年
1. 4:56.4 横山
 2. 4:57.0 武村寅
 3. 4:59.4 牧野
- ロス
3. 4:52.3 大横田
 4. 4:52.5 横山
 5. 4:56.1 杉本
- 昭和10年
1. 4:51.2 根上
 2. 5:01.8 市野
 3. 5:03.8 堀

尤も此の年には以上3者の他に全国学生又は日米
で

- 4:45.2 根上
- 4:45.4 牧野
- 4:48.0 石原田
- 4:50.8 寺田

というような大記録を出している。

- 伯林
2. 4:45.6 鶴藤
 3. 4:48.1 牧野
 5. 4:53.6 根上

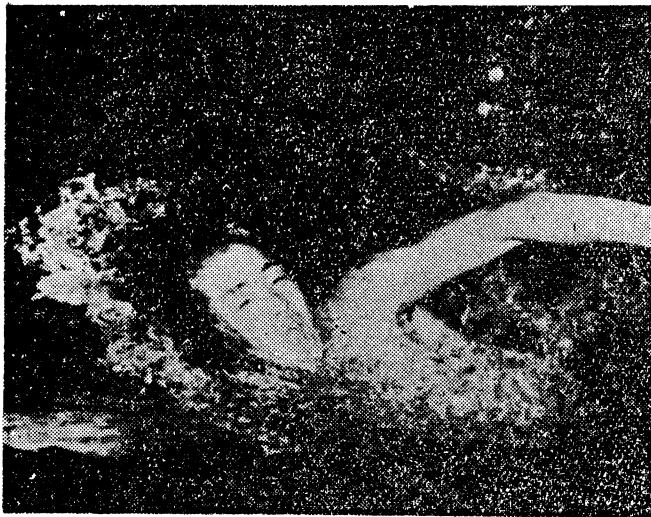
鶴藤の昭和10年におけるベストは4:53.4 であつ
た。之に対し今年は

1. 4:38.8 古橋
2. 4:40.4 田中寧
3. 4:44.0 橋爪

ロンドンでは4:41.0 でスミスが1着入賞3人の
平均は、ロス4:49.73、伯林4:46.17、ロンドン
4:44.03 であつた。

1500米自由形

- 昭和6年
1. 20:02.0 武村寅
 2. 20:27.4 牧野
 3. 20:42.8 北村
- ロス
1. 19:12.4 北村



1500米の新鋭 石橋 (傳習館高)

	2.	19:14.1	牧野
	予選	20:31.2	石原田
昭和10年	1.	19:43.8	本田
	2.	19:57.4	鶴藤
	3.	20:28.8	永見
伯林	1.	19:13.7	寺田
	3.	19:34.5	鶴藤
	4.	19:48.5	石原田

昭和10年ベストテンの最上3位は次の通りである

	1.	19:12.0	石原田
	2.	19:13.2	根上
	3.	19:21.8	牧野
本年全日本	1.	19:00.4	橋爪
	2.	19:08.2	田造
	3.	19:12.4	川口義
ロンドンでは	1.	19:18.0	マクレーン
	2.	19:31.3	マーシャル
	3.	19:43.2	ミトロ

であつたが、近頃、紺野、マーシャルはメキメキ力量を上げているので油断は出来ない。

200米平泳

昭和6年	1.	2:54.0	小池
	2.	2:57.8	原
	3.	2:57.8	伊藤三郎
ロス	1.	2:45.4	鶴田
	2.	2:46.6	小池
	6.	2:52.8	中川
昭和10年	1.	2:44.6	葉室
	2.	2:52.8	山口正保
	3.	2:53.8	柳澤栄

伯林	1.	2:42.5	葉室
	3.	2:44.2	小池
	5.	2:47.6	伊藤三

昭和10年ベストテンの3位迄は次の通りであつた

	1.	2:41.2	小池
	2.	2:42.4	葉室
	3.	2:46.2	伊藤

平泳はむしろ伯林の場合には前年よりも劣つているのは何によるのであろうか。オーソドックス平泳の極限が来ていたのではないかと思はれる。

ロンドンでは

	1.	2:39.2	ヴァーデューアー
	2.	2:40.2	カーター
	3.	2:43.9	ソール

本年の全日本では

	1.	2:37.8	梶川
	2.	2:39.6	山本
	3.	2:42.2	宇田

昨年来朝したブローナーの日本遠征中の最高記録は2:36.8であるから梶川のこのタイムではまだオリンピック優勝はむづかしいと思はれる。少くとも2:35.0を割らねばなるまい。

100米背泳

昭和6年	1.	1:12.6	清川
	2.	1:13.8	入江
	3.	1:14.2	河津
ロス	1.	1:08.6	清川
	2.	1:09.8	入江
	3.	1:10.0	河津

この当時背泳は一番日本の入賞可能性の薄いものとして悲観されていたのであるが、予期に反して之に完勝したのであるから、勝負というものはわからないものである。

昭和10年	1.	1:11.0	兒島
	2.	1:11.4	明
	3.	1:11.4	清川
	4.	1:12.3	吉田
伯林	3.	1:08.4	清川
	5.	1:09.7	吉田
	6.	1:10.4	兒島

背泳はロスの時は前年の全日本よりも平均タイムが1:13.53から1:09.47と約4秒も上つていたのであるから優勝するのも無理はない。伯林の3人の前年全日本平均は1:11.57であり、オリンピックで

は 1:09.5 で約 2 秒を短縮しているけれどもロスの 3 人の時とはむしろ 0.03 秒平均が落ちているのであるから不成績になるのは已むを得ない。で、今年の全日本は

1. 1:09.8 西野
2. 1:09.8 倉橋
3. 1:10.8 山本

平均 1:10.13 であるから若しロスの時の様に之から平均 4 秒でも上げたら完勝出来るかも知れない。ロンドンでは

1. 1:06.4 スタック
2. 1:06.5 コーウエル
3. 1:07.8 ヴアレリイ

平均 1:06.9 である。ロスの時の 3 人の様な努力があれば必ずしも背泳悲観するに当たらないのである。

以上過去の 2 回のオリンピック前年の記録と、ロンドンオリンピックの記録を参照して見ると、オリンピック入賞のチャンスというものは必ずしも前 2 回より劣つていたとは考えられないのであつて、実に水泳日本の前途は洋々たるものがあると思う。

但し茲に注意を要するのは、昭和 6 年、10 年共に日米対抗が盛夏の候にあり、全日本は明治神宮競技と同時にシーズンの最終に行はれたために、コンディションは本年のそれよりは悪かつたとも考えられる。上記の記事の中に昭和 10 年のベストテン等を参照したのは之が爲めである。何れにしても、本年の全日本の収穫は終戦後の悪条件を克服した跡歴然たるものあり、1 位の記録は香しくないにしても、その基底の広さというか、決勝が充実して、僅かの差で 1 着か 6 着がきまるといふ試合が多く、最高記録のみが超然と高いのではなく、少壯泳手が低い記録乍ら充実して存在することは全く、心強く、頼母しい限りであつた。日米対抗に大差で敗けたけれども決して落膽するに及ばないのであつて、ロスアンゼルス時の様に、若い選手を中心に選手団を作つて行けば十分勝算あるものと思う。 以上

女子競泳

杉本 傳

ハワイの米国水泳選手 エベリン、カワモトとテル



400 米自由形を終つて左より川本・カラマ・新子の三選手

マ・カラマが日本選手権水上競技大会に招待されて泳いだ事は日本の女子水泳界に大きな刺戟を能へて呉れた事になつた。自由形は大体前年度と同じものが活躍したが背泳と平泳は新人の活躍が目覚しいものがあつた。其の最も大きいものは伊都高校の青木だらう。200 米平泳は女子水泳の世界の覇権を前畑が握つたので日本記録も男子の其れと同じく世界的である。ところが前畑に続くものが甚だ貧弱で嘗て昭和 11 年のオリンピック最終予選会で壺井宇乃子が 3 分 11 秒 0 で前畑に続いたのが未だに破れなかつた 2、3 年以前から 3 分 15 秒あたりまで上つて來たが其辺で足踏状態であつた。然るに青木は予選であつたが第 1 日目に 3 分 10 秒 2 で泳いで前畑に次ぐ記録を作つて呉れた。然かも前畑の女学校時代の記録よりも良ろしく年も同様に若いと云ふ状態が揃つてゐるから此れからの努力で前畑以上の記録まで是非持つて行くやうに切望する。背泳の野口は日本記録を破つたが故に新聞には大きく書かれた。だが此の背泳の記録と云ふものは昭和 7 年にロスアンゼルスオリンピック大会のとき当時 15 歳の横田みさをが作つたもので、私は此の横田が其の時から 4 年後のベルリンのオリンピックを目標にするならキット 1 分 10 秒台に進むだらうからと、大きな期待を掛けて居たのであつたが、水泳を止めてしまつたのでガツカリした。其れから 18 年目の昨年東京の小椋とみ子が此の記録をやつと 0.5 秒だけ破つたので小椋が新聞界で持てはやされた。此れを野口は 1-23 秒台にしたのだから偉い事は偉いけれど、此背泳は平泳

の様に世界的でない記録なのだから、青木の場合よりも実質に於ては劣つて居りはしないかと思ふ。

新人としては、此の外に自由形に大石（天理）宮部（野原中）宮崎（五條高）齋藤（高知女高）吉田（佐敷中）平泳に坂本（五條高）背泳に森前（伊都高）定森（津山中）等が第一線級に浮び上つて來た日本の女子水泳と此等の若手新人がどしどし現はれて記録を更新して行く事と、前年までの第一線級の者が是等の新人に劣らないやうに益々磨きをかけて貰つて早く世界のレベルまで持つて行つて貰はねばならない。以下各レース毎に記して見やう。

50 米自由形

昭和23年以來平泳の第一線にあつた大石康子が本年は自由形短距離では新人として現れて50米では33.0と云ふ大会新記録で優勝した。クロールが未だ出來上つて居らないからこれから磨き上げたら日本記録も破れるだらう。

100 米自由形

テルマ・カラマはロンドンオリンピックで米国の400米リレーチームとして泳いで居る1:07.8と日本国際新記録を残して呉れた。新子は最初の50を平素より落して泳いだので記録は悪かつた。もつと思ひ切つて飛出すやうに強気でないと好記録は望めない。エベリン・カワモトと新子は同タイムであつたが、カワモトが新子について行つたのではないかと思はれた。山下も新子同様ピッチの上らない泳ぎだから此の点を注意してピッチの上るやうに自得して貰いたい。10秒を割り得る素質は充分あるから。準決勝で1:15.6を出した野原中学の宮部は將來の大物、田村（伊都高）は前年より少し進歩した程度に止まつたが此れも10秒台を切る候補だらう。大石は新人、決勝には残らなかつたが森下（尚綱高校）は昨年比して余り振はなかつたが年が若いから今後期待しやう。

200 米自由形

山下の200米は昨年より10秒以上も進歩を示して居るから其の努力は認められる。田村（伊都高）が出場して居たら面白いレースが見られただらう。宮崎（五條高）は本年六月の記録会の際2:42.0で泳いで居るからこの2:48.6は悪い成績だ。森下は100では及ばなかつたが此所では3着に入つた記録も40秒台に入つて居る此んな年若の間にもつと長い所をグングン泳いで貰つた方が大成するやうに思はれる。昨年の雄安部（椋山女学園）が6着、斯くの如く新陳

代謝が烈しい。吉田は中学生で前途有望、青木が予選で2:50.2で泳ぎ乍ら決勝で奮はなかつた。

400 米自由形

100米自由形と共にオリンピック種目であるので此の種目の記録は重要だ。男子の長距離が世界の第一線に浮び出るのが中学生（今の高校生）時代であつたのと同様女子でも日本人は此の400米（女子では長距離として置かう）をどんどん泳いで貰つて記録を向上して貰いたい。元來女の子は勝手に初めは泳ぐものでないから指導者は少々記録が悪くても長い距離を泳ぐやうに導いて貰へば此の種目はキツト男子のやうに世界的に早くなると思はれる。此の意味で宮崎（五條高校一年生）や吉田（佐敷中）の登場は面白いと思ふ。

新子は此所でも始めの100を大事を取つて、平素1:16.0位いで入つて居る所を19秒余り掛かつて居たのは何うした事だらう。300で11.6の日本記録に4秒余り遅れて居てラストで飛ばして40.6で日本記録に0.6秒まで迫つたのだから此れも強氣に出たら力を残さずに泳げたと思ふ。15年以前に小島が5:43.1でオリンピックの決勝の6位に喰ひ入つた記念の種目だから其れから1年に1秒宛上つたとして本年5:26.0に泳げて普通なのだから日本記録を破つても偉い事はないけれども、せめて30秒台にだけ入つて置いて貰いたかつた。此所でもカラマは新子と同着で見物は喜んだが余り感心出來ない事であつた。エベリン・カワモトの5:28.6は日本に來て居る状態としては彼女のベストであつたらう。此の記録は遠いものと思はず早く消して貰はねばならない。決勝には6位に入らなかつたが齋藤、森、青木が泳いだ。齋藤は先日1500の日本記録を破つて偉い馬力のやうに思つて居たが今回はさうでなかつたが、今後の奮起を切望する、森、青木等数年前からの第一線級の人の努力は多とすると共に今後も続けて精進を切望する。

100 米背泳

テルマ・カラマは初めから飛び出して1:20.2の日本国際新記録を樹立したが、オリンピックだつたら決勝に残れない所だ。自由形短距離が本職なら背泳は裏芸なんだ。野口（相愛高）は予選、準決、決勝と3回泳いで3回とも日本記録を破つて居る。野口は高校の2年で此れよりも若い伊都高1年の森前が決勝の4着に其れより更に年下の定森（津山中）が1:27.2で5着に入つて居る。昨年の第1人者小

棕姉妹とも準決で落選してしまつた。片岡が高校を卒へた年で昨年より2秒以上も進んだのや、佐竹が矢張り決勝に残つたのは余程の努力だと思ふ。野口もこれからがより以上に努力すべき年に入る。若いものどもの目標になつた



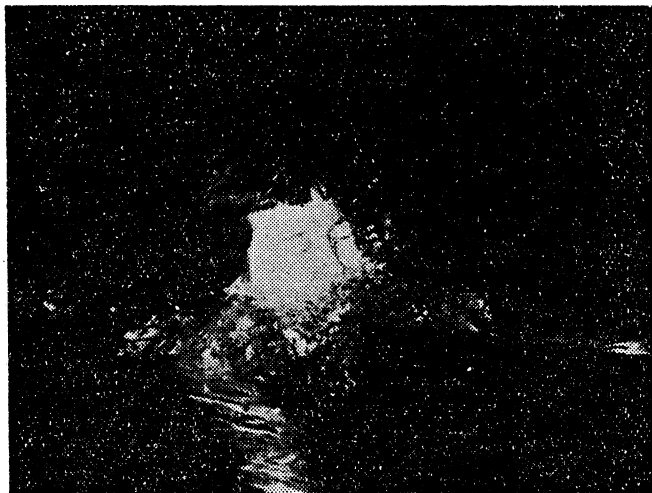
100 米[背]泳に
日本新記録を
— 野口幸子 —

から抜かれないやうに而して此の種目を早く国際級にまで引上げる先登を切つて貰はねばならない。

200 米平泳

エベリン・カワモトがバタフライで3:09.4で1着青木が或は勝つのでないかと思はれたが矢張りラストで抜かれてしまつた。昨年から19秒余りも200米で進歩して居る此の機会に10秒台を割つて5秒近くまで持つて行けばオリンピックへ出ても闘へるだらう。中田が未だ中学生だから此の若い力が頼もしい。大野が昨年度の自己の記録3:15.2を此の決勝で3:12.8としたのは青木、中田以上の練習努力だつたと思ふ。此の種目でも青木、中田、坂本の新人若手が駱頭して來た事と3:15.0を出なかつた3年間を3:10.2と期画的に向上を見たのは嬉しい。

記録に就いての事は扱て置き、本年の選手権は質量ともに女子の方も前年より躍進して居るが、首位を占めたものは全部近畿のもので前年まで関東、名古屋が大変元氣のやうであつたが、本年は頓んと活



200 米平泳の 青木政代 (伊都高)

躍が見られなかつたのと、何うした事か九州、中国四国は新人を送つて前途に明るい光を抛げて居る。一地方に片寄る事なく全国的に新人が輩出するやうに各地方の加盟団体に於ても男子のみならず女子方面の面倒をも見て貰ふ事と其の指導者諸賢の奮起を要望する。

飛 込 競 技

太 田 豊 明

終戦の虚脱状態からやうやく立上り、漸次普及回復されて來た我が飛込界にとつて第一の試金石とも云ふべき來年のヘルシンキ大会を控へた今年の全日本選手権の飛込競技に関する感想を書けとの事であるが、個人的な批判は已に各方面から十分に検討されて居る様であるし、細々した技術的な点は夫々熱心な各人のコーチの方々によつて云ひ盡されて居る事であるから私は、大きく一般的に観て、この競技会を通しての現在の飛込界の総体的な批判を行つて見やうと思ふ。

今年の全日本の飛込競技は数的には、今までになく、男子飛板25名、高飛込15名、女子飛板、高飛込共8名づつと云ふ盛況で、一応終戦前後の5、6年間に亘る大空白時代を脱したとも云へるが、之はあくまで数的な面であつて、技術的には未だ所謂「柴原・小柳時代」を中心とした黄金時代即ち彼等がベルリン大会から歸つてからの4、5年間と比較すると何とはなしの「今一息」と云ふ「物足りなさ」を、ひしひしと感じさせられる。

男子で上位から10人位、女子で4、5人の所は、とにかく難易率の高い所謂難かしい種目も一通りこなして居るし、試合中には余りうまく行かなかつた種目も、練習中には5回に4回はとにかく、無難にほり込んで居る。勿論練習中に何とか無難にほり込んでるのに試合に失敗すると云ふ最大の原因は練習量の不足にあるし、又云ひかへると、或程度競技会の成績は、その練習量と比例すると云ひ得るのであるが、では今度の競技会を觀て感ずる一般的な「物足りなさ」はこの練習量だけで解決される問題だらうか。老巧久保、練習熱心な毛利、坂口にさへこの一抹の「物足りなさ」が感じられたのは、一体どこから來たものだらうか。この問題の解決が今後の飛

込界、殊に來年にヘルシンキ大会を控へた吾が飛込界の前途を決定する重大な鍵であると思はれる。

飛込はどんな種目でも「踏切」「空中動作とフォーム」「入水」の3つの要素から成り立つて居る。勿論この3つは密接に相関連したもので、立派な空中動作とフォームは、しつかりした正確な踏切から生れるし、又この空中動作の成否が正しい入水を決定する。今度の競技を見て全般的に感じられる「物足りなさ」はこの3要素のコンビネーションの不調、不完全から來るものではなからうか。即現在の飛込選手の飛込を見て感ずる全般的な最大の欠点は、この3要素のアンバランスであると思はれる。特に第1、第2の要素までは各人の不断の研究努力によつて何とかこなして居るものの、それ以後は全くほりつ離しと云ふ感じで、従て最後の締くりである入水は「あなたまかせ」の受動的で甚だしく不安定不確實であるのが目立つ。

だから、極端に云へば、空中の動作が完了して伸した時の体の角度が、丁度水面に対して、いい入水角度であつた時の入水は、うまくいくし、空中動作の完了が少しでも早過ぎると所謂「オーヴァー」し遅いと「残つて」しまふか、ひどい「廻り込み」になつてしまふ。その結果、折角いい踏切、いいフォ

ームで、何とか一杯の入水でほり込み乍ら、「ギリギリ一杯」と云ふ感じで、一寸も全体的に見た余裕と云ふものが感じられない。これが前述の「物足りなさ」の最大の原因ではなからうかと思はれる。もう少し早く空中動作とフォームをきめ終つて、しつかり意識された能動的な入水を心がける様にし、もつと大きい、のびのびした、余裕のある飛込を目標として精進して欲しいと思ふ。

戦前の吾が飛込界の黄金時代は、ベルリン大会から歸つた後の柴原、小柳両君が3要素の調和、殊にこの第3要素の重大性を自覚し、研究精進された結晶生れた5、6年間の所謂「柴原・小柳時代」であつて、この点から云へば今の日本飛込界はやつと、ベルリン大会時代の両君の線に達したとも云へやう將來性のある有望な選手が來年のヘルシンキ大会から歸つてから以後の我が飛込界こそ待望の第2の黄金時代の生れる時であらう。この意味で來年ヘルシンキへ行く飛込選手の責任は極めて重且大であると云へる。

終りに久保、毛利、馬淵、坂口以下の第一線選手諸賢の御自愛御精進を切に祈りつつ、又大なる希望の星であつた高濱君の不出場を淋しく憶ひつつ筆を置きます。(終)

水球の笛に疑問を呈す

木村象雷

水球の試合を見て、笛が非常に試合の興味をそいでいるように感じた。

オーデイナリイ・ファウルを戦況の如何にかかわらず、嚴密に取つて行くのは、試合がラフにならない良い手段だと思ふが、球技の通則であるアドヴァンテージ・ルールを無視するような結果になつて居るのではないか。

ボールを持つたものが反則されるとフリースローを貰う。少々反則されて、もまだ味方に渡せるのに、笛で試合を中断され、その結果、相手側が十分な防衛線についてから、フリー・スローするのでは、全く意味がない。

相手の反則により、相手に球をハッキリ取られた場合にのみオーデイナリイ・ファウルを取るべきではないか。

こうしたら相手側は反則のやり得となり、球を持つたものは非常に損を受けるのではないかという疑問が出ることだろう。

だが、そのような反則がしつこければ故意反則としてドンドシ退水させればよいのではないか。

またボールに近くないところでのオーデイナリイ・ファウルで、試合を中断し、被反則側にフリースローが与えられることもおかしい。試合球のあるところ以外の出来ごとで中断するなら、その罰は退水で臨むべきである。

球のハンドリングが如何にうまく、パスやシュートがどんなにうまくなろうとも、いまの笛の吹き方では、ゲームがゲームの体をなさないと思うが、水球のオーソリテイ達は、この点をどう思われるか。

昭和26年度日本選手権水上競技大会記録

8月10,11,12日

大阪プール(50米)公認

気温 30° 水温 29°

(太字は大会新記録)

男子競泳之部

100米自由形

予選

A1	佐々木 猛	(富士製鐵)	1:01.2
2	岩合 傳	(京都大丸)	1:02.4
3	小池 哲夫	(三水会)	1:03.0
4	木村 正	(伊東高)	1:03.0
B1	鈴木 弘	(日大三高)	58.8
2	吉村 健三	(駿台ク)	1:01.0
3	井原 孜	(伊東高)	1:01.4
C1	田中 武	(聖ポール)	1:01.2
2	坂本 幸盛	(八幡製鐵)	1:01.8
3	安藤 實	(稻泳会)	1:02.2
D1	青山 幸郎	(三水会)	1:01.0
2	丸山 茂幸	(櫻泳会)	1:01.4
3	野間 隆彦	(東京大)	1:02.2
E1	濱口 喜博	(日本鋼管)	59.6
2	西 擴	(駿台ク)	59.8
3	宮本 英樹	(櫻泳会)	1:03.4
F1	谷川禎次郎	(櫻泳会)	1:00.2
2	杉原 満弘	(稻泳会)	1:01.4
3	細間 輝喜	(向体協)	1:02.4
G1	佐坂 宏夫	(櫻泳会)	1:01.6
2	仲村 武平	(聖ポール)	1:02.4
H1	谷 訥	(稻泳会)	1:00.0
2	濱川 廣海	(神戸大)	1:01.0
3	黒田 等	(弦泳会)	1:02.2
4	木本 彰	(櫻泳会)	1:02.8
I1	山本 新吾	(關西大)	1:00.0
2	宝木 昭	(弦泳会)	1:02.4
3	天野 静二	(聖ポール)	1:02.4

準決勝

A1	鈴木 弘	(日大三高)	59.6
2	谷川禎次郎	(櫻泳会)	1:00.2
3	井原 孜	(伊東高)	1:01.0
4	吉村 健三	(駿台ク)	1:01.0
5	丸山 茂幸	(櫻泳会)	1:01.6
B1	濱口 喜博	(日本鋼管)	59.4
2	野間 隆彦	(東京大)	1:00.6
3	山本 新吾	(關西大)	1:00.6

4	青山 幸郎	(三水会)	1:00.6
5	佐々木 猛	(富士製鐵)	1:01.4
C1	西 擴	(駿台ク)	1:00.4
2	田中 武	(聖ポール)	1:00.6
3	谷 訥	(稻泳会)	1:01.0
4	濱川 廣海	(神戸大)	1:01.2
5	佐坂 宏夫	(櫻泳会)	1:02.2

決勝

1	濱口 喜博	(日本鋼管)	59.0
2	鈴木 弘	(日大三高)	59.0
3	西 擴	(駿台ク)	1:00.0
4	谷川禎次郎	(櫻泳会)	1:00.4
5	田中 武	(聖ポール)	1:00.6
6	山本 新吾	(關西大)	1:00.8

200米自由形

予選

A1	鈴木 弘	(日大三高)	2:15.0
2	吉岡 清吉	(三水会)	2:16.0
3	山本 昌平	(櫻泳会)	2:16.4
4	山本 新吾	(關西大)	2:16.8
B1	廣重 俊一	(櫻泳会)	2:17.8
2	丸山 茂幸	()	2:19.0
3	安藤 實	(稻泳会)	2:19.6
C1	後藤 暢	(浮羽高)	2:13.6
2	松岡 信義	(三水会)	2:16.4
3	坂本 幸盛	(八幡製鐵)	2:16.6

D1	古橋廣之進	(大同毛織)	2:08.0
----	-------	--------	---------------

(日本新記録)

2	高井 税	(關西大)	2:21.2
3	木村 正	(伊東高)	2:21.8
E1	吉村 健三	(駿台ク)	2:15.8
2	青山 幸郎	(三水会)	2:17.2
3	仲村 武平	(聖ポール)	2:21.8

F1	谷 訥	(稻泳会)	2:14.4
2	植月 弘治	(駿台ク)	2:20.8
3	鎗屋 敦三	(法泳会)	2:25.6

G1	西 擴	(駿台ク)	2:12.4
2	香川 義英	()	2:15.4
3	佐坂 宏夫	(櫻泳会)	2:16.8

H1	濱口 喜博	(日本鋼管)	2:14.2
2	田中 純夫	(稻泳会)	2:15.0
3	井原 孜	(伊東高)	2:18.8

I1	谷川禎次郎	(櫻泳会)	2:14.2
2	杉原 満弘	(稻泳会)	2:15.2
3	東 昇	(富士製鐵)	2:17.0
4	庄司 嘉宏	(安房一高)	2:17.8

決勝

A1	古橋廣之進	(大同毛織)	2:07.6
----	-------	--------	---------------

(日本新記録)

2	鈴木 弘	(日大三高)	2:14.8
3	青山 幸郎	(三水会)	2:15.6
4	谷 訥	(稻泳会)	2:17.0
5	坂本 幸盛	(八幡製鐵)	2:17.0

B1	田中 純夫	(稻泳会)	2:12.0
2	西 擴	(駿台ク)	2:13.2
3	谷川禎次郎	(櫻泳会)	2:13.6
4	東 昇	(富士製鐵)	2:17.2
5	山本 昌平	(櫻泳会)	2:17.2

C1	後藤 暢	(浮羽高)	2:12.6
2	濱口 喜博	(日本鋼管)	2:13.0
3	杉原 満弘	(稻泳会)	2:14.0
4	香川 義英	(駿台ク)	2:15.8
5	松岡 信義	(三水会)	2:16.0

決勝

1	古橋廣之進	(大同毛織)	2:09.0
2	田中 純夫	(稻泳会)	2:12.0
3	濱口 喜博	(日本鋼管)	2:12.0
4	西 擴	(駿台ク)	2:12.2
5	後藤 暢	(浮羽高)	2:12.8
6	鈴木 弘	(日大三高)	2:13.4

400米自由形

予選

A1	横田 宣明	(傳習館高)	4:53.4
2	鷹野 強	(駿台ク)	4:55.0
3	東 昇	(富士製鐵)	4:55.4
B1	石丸 宗介	(駿台ク)	4:53.2
2	庄司 嘉宏	(安房一高)	4:54.2
3	川口 友平	(伊東高)	4:54.8
C1	久保田 認	(白杵高)	4:52.2
2	石橋 明	(傳習館高)	4:53.0
3	杉浦 貞夫	(三水会)	4:53.0
D1	松岡 信義	()	4:52.4
2	廣重 俊一	(櫻泳会)	4:56.8
E1	浅野 満	(中京商高)	4:47.2

2	高橋 勝	(三水会)	4:50.8
3	香川 義英	(駿台ク)	4:56.6
F1	安岡 信雄	(櫻泳会)	4:49.2
2	後藤 暢	(浮羽高)	4:50.2
3	川口 義和	(駿台ク)	4:51.8
G1	田中 寧夫	(稻泳会)	4:48.6
2	庄司 政雄	(安房一高)	4:57.2
H1	田中 純夫	(稻泳会)	4:51.2
2	川畑 彌	(櫻泳会)	4:52.6
I1	橋爪 四郎	(A I U)	4:46.2
2	本山 昌平	(櫻泳会)	4:51.2
3	植月 弘次	(駿台ク)	4:58.8
J1	古橋廣之進	(大同毛織)	4:41.8
2	田造 勝美	(稻泳会)	4:53.0
3	中西 理雄	(三水会)	4:58.8

準 決 勝

A1	古橋廣之進	(大同毛織)	4:47.6
2	田中 純夫	(稻泳会)	4:50.8
3	松岡 信義	(三水会)	4:51.4
4	後藤 暢	(浮羽高)	4:52.6
5	横田 宣明	(傳習館高)	4:53.4
B1	橋爪 四郎	(A I U)	4:47.2
2	安岡 信義	(櫻泳会)	4:47.6
3	田邊 勝美	(稻泳会)	4:48.6
4	久保田 認	(白杵高)	4:51.6
5	高橋 勝	(三水会)	4:52.8
C1	淺野 滿	(中京商高)	4:48.6
2	田中 寧夫	(稻泳会)	4:48.8
3	本山 昌平	(櫻泳会)	4:50.8
4	杉浦 貞夫	(三水会)	4:52.4

決 勝

1	古橋廣之進	(大同毛織)	4:38.8
2	田中 寧夫	(稻泳会)	4:40.4
3	橋爪 四郎	(A I U)	4:44.0
4	安岡 信雄	(櫻泳会)	4:45.4
5	田造 勝美	(稻泳会)	4:47.8
6	淺野 滿	(中京商高)	4:49.4

1500 米自由形

予 選

A1	田造 勝美	(稻泳会)	19:16.6
2	鷹野 強	(駿台ク)	20:02.4
3	中西 理雄	(三水会)	20:34.4
B1	石橋 明	(傳習館高)	19:30.0
2	安岡 信雄	(櫻泳会)	19:59.8
3	山下 勝次	(濱松北高)	20:03.8
C1	川口 義和	(駿台ク)	19:18.8

2	森 文太郎	(駿台ク)	20:22.4
3	横田 宣明	(傳習館高)	20:39.4
D1	淺野 滿	(中京商高)	19:53.8
2	川口 友平	(伊東高)	20:07.6
E1	庄司 政雄	(安房一高)	20:01.8
2	高橋 勝	(三水会)	20:21.2
3	石田 敏彦	(星泳会)	20:58.6
F1	橋爪 四郎	(A I U)	19:22.6
2	久保田 認	(白杵高)	19:49.4
3	杉浦 貞夫	(三水会)	20:38.6
G1	川畑 彌	(櫻泳会)	19:51.6
2	小島 幸晴	(和歌山商)	20:43.8
H1	北村 康雄	(稻泳会)	19:51.0
2	青木 行義	(鹿本高)	19:54.8

決 勝

1	橋爪 四郎	(A I U)	19:00.4
2	田造 勝美	(稻泳会)	19:08.2
3	川口 義和	(駿台ク)	19:12.4
4	石橋 明	(傳習館高)	19:18.2
5	久保田 認	(白杵高)	19:25.0
6	北村 康雄	(稻泳会)	19:38.8

50 米 背 泳

予 選

A1	西野 恭正	(櫻泳会)	31.6
2	黒佐 清	(佐伯鶴城高)	33.0
3	三輪 悦造	(桐蔭高)	34.2
B1	芦田 拓郎	(稻泳会)	31.2
2	太田 光雄	(勝村建設)	32.8
3	宮田 春雄	(櫻泳会)	33.0
C1	倉橋 範彦	(濱松西高)	32.0
2	金森 克行	(聖ポール)	34.2
D1	山本 速水	(弦泳会)	32.2
2	野末 俊夫	(濱松北高)	34.2
3	畠中 健次	(D S C)	34.2
E1	田中 令吉	(三水会)	33.2
2	野上 修	(弦泳会)	33.2
3	中村 學	(駿台ク)	34.2
F1	木部 俊之	(駿台ク)	33.0
2	正村 孝司	(稻泳会)	33.0
3	岸本 脩	(弦泳会)	34.0
G1	大久保憲二	(逗子開成高)	33.6
2	和氣 壽彦	(三水会)	33.8
3	出口 靖	(櫻泳会)	33.8
H1	黒佐 清	(八幡製鐵)	31.8
2	白井 孝	(三水会)	33.8
3	關川 重久	(稻泳会)	34.2

I1	町野 和男	(櫻泳会)	32.4
2	長谷 景治	(都島工高)	33.8
3	榎谷 周二	(富士製鐵)	33.8
J1	木田 雄三	(福島水連)	33.2
2	上村 稔	(櫻泳会)	33.8

準 決 勝

A1	芦田 拓郎	(稻泳会)	31.6
2	太田 光雄	(勝村建設)	32.4
3	町野 和男	(櫻泳会)	32.8
4	野上 修	(弦泳会)	33.0
5	田中 令吉	(三水会)	33.8
B1	西野 恭正	(櫻泳会)	31.4
2	山本 速水	(弦泳会)	31.8
3	黒佐 清	(佐伯鶴城高)	33.0
4	木田 雄三	(福島水連)	33.0
5	正村 孝司	(稻泳会)	33.6
和氣 壽彦	(三水会)	33.6	
C1	倉橋 範彦	(濱松西高)	32.0
2	黒佐 年明	(八幡製鐵)	32.2
3	大久保憲二	(逗子開成高)	33.2
4	宮田 春雄	(櫻泳会)	33.4
5	木部 俊之	(駿台ク)	33.4

決 勝

1	芦田 拓郎	(稻泳会)	30.8
2	倉橋 範彦	(濱松西高)	31.4
3	西野 恭正	(櫻泳会)	31.6
4	山本 速水	(弦泳会)	31.8
5	黒佐 年明	(八幡製鐵)	32.0
6	太田 光雄	(勝村建設)	33.2

100 米 背 泳

予 選

A1	芦田 拓郎	(稻泳会)	1:12.4
2	黒佐 清	(佐伯鶴城高)	1:12.8
3	町野 和男	(櫻泳会)	1:13.4
4	山尾 弘	(奈良高)	1:15.4
B1	山本 速水	(弦泳会)	1:10.8
2	和氣 壽彦	(三水会)	1:14.6
3	關川 重久	(稻泳会)	1:15.2
C1	倉橋 範彦	(濱松西高)	1:12.0
2	田中 令吉	(三水会)	1:14.6
3	川野 英隆	(熊本商高)	1:14.8
D1	宮田 春雄	(櫻泳会)	1:13.2
2	正村 孝司	(稻泳会)	1:14.4
3	木田 雄三	(福島水連)	1:14.8
4	金森 克行	(聖ポール)	1:15.0
E1	木部 俊之	(駿台ク)	1:13.4

- 2 野上 修 (弦泳会) 1:14.2
 3 野末 俊夫 (濱松北高) 1:15.8
 F1 大久保憲二 (逗子開成高) 1:13.4
 2 中村 學 (駿台ク) 1:13.8
 3 長谷 景治 (都島工高) 1:15.2
 G1 黒佐 年明 (八幡製鐵) 1:11.4
 2 濱岡 昭八 (大丸) 1:13.8
 3 白井 孝 (三水会) 1:14.4
 4 上村 稔 (櫻泳会) 1:14.8
 H1 西野 恭正 (櫻泳会) 1:10.4
 2 清野 満平 (櫻泳会) 1:14.4
 3 榎谷 周二 (富士製鐵) 1:15.0

準 決 勝

- A1 西野 恭正 (櫻泳会) 1:09.6
 2 黒佐 清 (佐伯鶴城高) 1:12.6
 3 野上 修 (弦泳会) 1:13.6
 4 宮田 春雄 (櫻泳会) 1:13.8
 5 中村 學 (駿台ク) 1:14.8
 B1 芦田 拓郎 (稻泳会) 1:10.8
 2 山本 速水 (弦泳会) 1:10.8
 3 木部 俊之 (駿台ク) 1:12.6
 4 濱岡 昭八 (大丸) 1:13.0
 5 上村 稔 (櫻泳会) 1:14.0
 C1 倉橋 範彦 (濱松西高) 1:10.8
 2 黒佐 年明 (八幡製鐵) 1:11.6
 3 木田 雄三 (福島水連) 1:12.4
 4 町野 和男 (櫻泳会) 1:13.2
 5 大久保憲二 (逗子開成高) 1:14.0

決 勝

- 1 西野 恭正 (櫻泳会) 1:09.8
 2 倉橋 範彦 (濱松西高) 1:09.8
 3 山本 速水 (弦泳会) 1:10.8
 4 芦田 拓郎 (稻泳会) 1:10.8
 5 黒佐 年明 (八幡製鐵) 1:11.6
 6 黒佐 清 (佐伯鶴城高) 1:12.4

100 米 平 泳

予 選

- A1 山本 正雄 (櫻泳会) 1:12.6
 2 飯田俊太郎 (稻泳会) 1:13.8
 3 大澤 晋 (聖ポール) 1:14.8
 B1 竹内 允 (白門会) 1:12.2
 2 萩原 孝男 (櫻泳会) 1:13.4
 3 藤井 義弘 (稻泳会) 1:14.4
 C1 清水 敏夫 (三水会) 1:12.0
 2 下坂 篤 (櫻泳会) 1:16.2
 3 吉田 稔 (五條高) 1:16.2

- D1 小林幸次郎 (芦泳会) 1:16.8
 2 高柳 昌弘 (濱松西高) 1:16.8
 E1 宇田久壽秀 (富士製鐵) 1:11.2
 2 梶川 孝義 (稻泳会) 1:11.4
 3 五味 茂雄 (櫻泳会) 1:15.8
 F1 北澤 軍治 (日比谷高) 1:12.6
 2 川瀬 光和 (弦泳会) 1:15.0
 3 水貝 利重 (稻泳会) 1:15.4
 G1 平山 緯保 (櫻泳会) 1:12.2
 2 板井 道生 (白杵高) 1:14.0
 3 右手 康雄 (弦泳会) 1:16.8
 H1 山田 芳美 (聖ポール) 1:14.4
 2 中村 研造 (郡山高) 1:16.0
 I1 黒川 孝吉 (安房一高) 1:16.0
 2 鍛冶 友康 (DSC) 1:17.2
 J1 毛利 洋一 (櫻泳会) 1:14.0
 2 田中 守 (丹原高) 1:14.0
 3 原田 悦治 (八幡製鐵) 1:16.0

準 決 勝

- A1 宇田久壽秀 (富士製鐵) 1:11.4
 2 北澤 軍治 (日比谷高) 1:12.8
 3 山本 正雄 (櫻泳会) 1:13.0
 4 藤井 義弘 (稻泳会) 1:14.0
 5 板井 道生 (白杵高) 1:15.2
 B1 平山 緯保 (櫻泳会) 1:11.2
 2 梶川 孝義 (稻泳会) 1:11.2
 3 萩原 孝男 (櫻泳会) 1:13.2
 4 田中 守 (丹原高) 1:13.6
 5 水貝 利重 (櫻泳会) 1:15.4
 C1 清水 敏夫 (三水会) 1:11.2
 2 竹内 允 (白門会) 1:12.0
 3 毛利 洋一 (櫻泳会) 1:13.8
 4 大澤 晋 (聖ポール) 1:13.8
 5 飯田俊太郎 (稻泳会) 1:14.0

決 勝

- 1 宇田久壽秀 (富士製鐵) 1:11.2
 2 梶川 孝義 (稻泳会) 1:11.4
 3 竹内 允 (白門会) 1:11.6
 4 平山 緯保 (櫻泳会) 1:11.6
 5 清水 敏夫 (三水会) 1:11.8
 6 北澤 軍治 (日比谷高) 1:12.4

200 米 平 泳

予 選

- A1 山本 正雄 (櫻泳会) 2:40.8
 2 岡野 信三 (關西大) 2:57.2
 3 松田 克己 (郡山高) 3:01.2

- B1 梶川 孝義 (稻泳会) 2:41.8
 2 原田 悦治 (八幡製鐵) 2:49.4
 3 山田 芳美 (聖ポール) 2:53.0
 C1 萩原 孝男 (櫻泳会) 2:50.4
 2 大沢 晋 (聖ポール) 2:52.8
 3 宮澤 正夫 (稻泳会) 2:54.4
 D1 飯田俊太郎 (稻泳会) 2:49.2
 2 五味 茂雄 (櫻泳会) 2:50.0
 3 酒谷庄兵衛 (天理高) 2:58.0
 E1 坂井 道生 (白杵高) 2:45.6
 2 毛利 洋一 (櫻泳会) 2:50.4
 3 中村 研造 (郡山高) 2:52.4
 4 黒川 孝吉 (安房一高) 2:53.2
 F1 平山 緯保 (櫻泳会) 2:43.6
 2 清水 敏夫 (三水会) 2:49.0
 3 下坂 篤 (櫻泳会) 2:52.6
 G1 宇田久壽秀 (富士製鐵) 2:40.6
 2 田中 守 (丹原高) 2:48.2
 3 竹内 允 (白門会) 2:49.6
 H1 水貝 利重 (稻泳会) 2:48.8
 2 高柳 昌弘 (濱松西高) 2:52.4
 3 匠 賢一 (稻泳会) 2:52.8
 4 北澤 軍活 (日比谷高) 2:53.6

準 決 勝

- A1 宇田久壽秀 (富士製鐵) 2:42.8
 2 毛利 洋一 (櫻泳会) 2:44.8
 3 田中 守 (丹原高) 2:45.2
 4 五味 英雄 (櫻泳会) 2:50.0
 5 匠 賢一 (稻泳会) 2:50.6
 B1 山本 正雄 (櫻泳会) 2:40.6
 2 清水 敏夫 (三水会) 2:45.0
 3 萩原 孝男 (櫻泳会) 2:45.2
 4 板井 道生 (白杵会) 2:45.6
 5 竹内 允 (白門会) 2:51.4
 C1 梶川 孝義 (稻泳会) 2:40.8
 2 平山 緯保 (櫻泳会) 2:45.4
 3 原田 悦治 (八幡製鐵) 2:48.8
 4 下坂 篤 (櫻泳会) 2:48.8
 5 中村 研造 (郡山高) 2:49.0

決 勝

- 1 梶川 孝義 (稻泳会) **2:37.8**
 (日本新記録)
 2 山本 正男 (櫻泳会) 2:39.6
 3 宇田久壽秀 (富士製鐵) 2:42.2
 4 平山 緯保 (櫻泳会) 2:42.4
 5 萩原 孝男 (櫻泳会) 2:44.0
 6 田中 守 (丹原高) 2:45.6

女子競泳之部

50米自由形

豫選

A1	大石 康子 (天理水協)	33.0
2	北芝美恵子 (五條高)	37.0
3	朝日奈万喜子 (SSC)	38.0
4	松本喜代子 (DSC)	39.2
B1	河原 澄子 (SSC)	35.2
2	皆良田晴子 (明善ク)	36.8
3	宇佐美文子 (今治西高)	37.6
4	加藤八洲子 (相愛高)	37.8
C1	宮部シズエ (野原中)	34.2
2	吉田三津江 (松泳会)	36.8
3	神原なほみ (城南高)	39.0
D1	坂口 文子 (五條高)	34.2
2	高橋恵美子 (白木屋)	36.2
3	上杉富貴子 (松泳会)	38.4
4	杉村 好子 (相愛高)	39.0
E1	内田ミサ子 (椋山女學)	36.2
2	石田 道子 (SSC)	38.6
3	門石 寛子 (武庫川學)	42.2

準決勝

A1	大石 康子 (天理水協)	33.2
2	吉田三津江 (松泳会)	34.8
3	河原 澄子 (SSC)	34.8
4	内田ミサ子 (椋山女學)	36.6
5	北芝美恵子 (五條高)	36.6
B1	坂口 文子 (五條高)	33.6
2	宮部シズエ (野原中)	33.8
3	高橋美恵子 (白木屋)	35.6
4	皆良田晴子 (明善ク)	36.2
5	宇佐美文子 (今治西高)	37.0

決勝

1	大石 康子 (天理水協)	33.0
2	宮部シズエ (野原中)	33.6
3	坂口 文子 (五條高)	33.6
4	河原 澄子 (SSC)	34.4
5	吉田三津江 (松泳会)	34.8
6	高橋美恵子 (白木屋)	35.0

100米自由形

豫選

A1	大石 康子 (天理水協)	1:16.6
2	宮部シズエ (野原中)	1:17.2
3	吉田三津江 (松泳会)	1:22.8

B1	山下 貞子 (五條高)	1:14.0
2	森 あき子 (金城學大)	1:20.0
3	東山マサ子 (天理水協)	1:25.0
C1	齋藤 道子 (土佐女高)	1:16.0
2	坂口 文子 (五條高)	1:18.0
3	高橋美恵子 (白木屋)	1:19.8
D1	田村美佐子 (伊都高)	1:13.2
2	木村 襠 (相愛高)	1:21.2
3	河原 澄子 (SSC)	1:23.0
E1	新子 富子 (天理水協)	1:11.8
2	森下美奈子 (尙綱高)	1:18.0
3	伊藤登美子 (相愛中)	1:33.0
F1	テルマ・カラマ(U.S.A.)	1:08.4
2	北芝美恵子 (五條高)	1:23.4
3	春田 康子 (三次高)	1:25.4

準決勝

A1	テルマ・カラマ(U.S.A.)	1:08.0
	(國際新記録)	
2	山下 貞子 (五條高)	1:14.0
3	坂口 文子 (五條高)	1:17.0
4	森下美奈子 (尙綱高)	1:17.4
5	齋藤 道子 (土佐女高)	1:17.4
B1	田村美佐子 (伊都高)	1:13.2
2	新子 富子 (天理水協)	1:13.8
3	宮部シズエ (野原中)	1:15.6
4	大石 康子 (天理水協)	1:15.6
5	高橋美恵子 (白木屋)	1:19.2

決勝

1	テルマ・カラマ (U.S.A.)	1:07.8
2	エザリン・カワモト(U.S.A.)	1:12.8
3	新子 富子 (天理水協)	1:12.8
4	山下 貞子 (五條高)	1:13.4
5	田村美佐子 (伊都高)	1:14.0
6	大石 康子 (天理水協)	1:15.8

200米自由形

豫選

A1	保見 紀子 (富士製鉄)	3:00.6
2	櫻井満喜子 (無所属)	3:11.4
B1	青木 暉子 (天理水協)	2:50.2
2	赤木 宣子 (美作高)	2:57.0
3	西野 數美 (高知水ク)	3:01.8
4	上田 香 (五條高)	3:08.6
C1	宮崎 亮子 (五條高)	2:50.6
2	吉田せつ子 (佐敷中)	2:53.8
3	安部佐和子 (椋山女大)	2:53.8
4	東山マサ子 (天理水協)	3:07.0
D1	山下 貞子 (五條高)	2:44.2

2	米岡 幸美 (清水丘高)	2:54.2
3	森下美奈子 (尙綱高)	2:59.8
4	橋本美代子 (相愛高)	3:09.0
E1	木村 襠 (相愛高)	3:01.2
2	藤本 節子 (基町高)	3:11.2

準決勝

A1	山下 貞子 (五條高)	2:43.8
2	吉田せつ子 (佐敷中)	2:52.2
3	安部佐和子 (椋山女大)	2:53.8
4	赤木 宣子 (美作高)	2:55.0
5	保見 紀子 (富士製鉄)	2:57.6
B1	宮崎 亮子 (五條高)	2:47.4
2	森下美奈子 (尙綱高)	2:54.2
3	青木 暉子 (天理水協)	2:54.4
4	米岡 幸美 (清水丘高)	2:56.0
5	木村 襠 (相愛高)	2:58.6

決勝

1	山下 貞子 (五條高)	2:41.0
2	宮崎 亮子 (五條高)	2:48.6
3	森下美奈子 (尙綱高)	2:49.8
4	吉田せつ子 (佐敷中)	2:50.6
5	青木 暉子 (天理水協)	2:55.2
6	安部佐和子 (椋山女大)	2:55.2

400米自由形

豫選

A1	齋藤 道子 (土佐女高)	6:00.0
2	瀧口三恵子 (桐蔭高)	6:03.2
3	保見 紀子 (富士製鉄)	6:20.8
4	稻井 淳子 (福岡合板)	6:34.8
5	白井 裕子 (松蔭學)	7:05.4
B1	新子 富子 (天理水協)	5:42.0
2	宮崎 亮子 (五條高)	6:00.0
3	米岡 幸美 (清水丘高)	6:20.8
C1	エザリン・カワモト (U.S.A.)	5:47.6

2	森 あき子 (金城學大)	6:00.8
3	青木 暉子 (天理水協)	6:03.2
4	杉村 好子 (相愛高)	7:32.0
D1	吉田せつ子 (佐敷中)	5:59.6
2	安部佐和子 (椋山女大)	6:08.4
3	赤木 宣子 (美作高)	6:13.6
4	橋本美代子 (相愛高)	6:36.8
5	田中 功子 (五條高)	7:05.2

準決勝

A1	新子 富子 (天理水協)	5:47.8
2	宮崎 亮子 (五條高)	5:48.0
3	齋藤 道子 (土佐女高)	5:59.4

- 4 瀧口三恵子 (桐蔭高) 5:59.8
 5 安部佐和子 (桐山女大) 6:17.0
 B1 エヴリン・カワモト(U.S.A.) 5:54.6
 2 吉田せつ子 (佐敷中) 6:00.6
 3 森 あき子 (金城學大) 6:02.4
 4 青木 暉子 (天理水協) 6:18.8
 5 保見 紀子 (富士製鉄) 6:20.2

決勝

- 1 エヴリン・カワモト(U.S.A.) **5:28.6**
 (国際新記録)
 2 テルマ・カラマ (U.S.A.) 5:40.6
 3 新子 富子 (天理水協) **5:40.6**
 4 宮崎 亮子 (五條高) 5:48.4
 5 吉田せつ子 (佐敷中) 6:01.6
 6 瀧口三恵子 (桐蔭高) 6:01.8

50米背泳

豫選

- A1 三浦 秀 (白木屋) 40.0
 2 佐藤喜美子 (鴨沂会) 40.8
 3 柴田 一代 (野原中) 46.0
 4 竹内 妙子 (京都大丸) 46.6
 B1 野口 幸子 (相愛高) **38.6**
 2 小椋とみ子 (成徳高) 40.6
 3 河村遊津美 (D.S.D.) 41.0
 4 平尾 静子 (横濱学園) 41.2
 C1 片岡 澄子 (天理水協) 39.2
 2 加納 照子 (鴨沂会) 42.0
 3 小椋とし子 (成徳高) 42.4
 4 永瀬美代子 (五條高) 42.4
 D1 定森 桂子 (津山中) 40.0
 2 可兒 令子 (京都大丸) 40.4
 3 多田 悦子 (五條高) 41.8
 E1 佐竹富美子(東洋レーヨン) 39.6
 2 森前みどり (伊都高) 41.0
 3 高山 玲子 (清水丘高) 42.4

準決勝

- A1 野口 幸子 (相愛高) **38.6**
 2 定森 桂子 (津山中) 40.2
 3 三浦 秀 (白木屋) 41.2
 4 多田 悦子 (五條高) 41.4
 B1 小椋とみ子 (成徳高) 39.4
 2 片岡 澄子 (天理水協) 39.8
 3 佐竹富美子(東洋レーヨン) 40.2
 4 可兒 令子 (京都大丸) 41.0

決勝

- 1 野口 幸子 (相愛高) **38.6**

- 2 小椋とみ子 (成徳高) 39.4
 3 片岡 澄子 (天理水協) 39.4
 4 定森 桂子 (津山中) 39.4
 5 佐竹富美子 (東洋レ) 39.8
 6 可兒 令子 (京都大丸) 39.8

100米背泳

豫選

- A1 佐竹富美子 (東洋レ) 1:27.0
 2 森前みどり (伊都高) 1:27.6
 3 三浦 秀 (白木屋) 1:28.6
 4 小椋とみ子 (成徳高) 1:29.6
 5 平尾 静子 (横濱学園) 1:30.4
 B1 片岡 澄子 (天理水協) 1:26.2
 2 定森 桂子 (津山中) 1:28.2
 3 小椋とし子 (成徳高) 1:29.8
 4 高山 玲子 (清水丘高) 1:31.2
 C1 野口 幸子 (相愛高) **1:23.6**
 (日本新記録)
 2 多田 悦子 (五條高) 1:28.0
 3 加納 照子 (鴨沂会) 1:29.4
 4 河村遊津美 (D.S.C.) 1:29.8
 5 國澤 幸代 (高知水ク) 1:31.2
 D1 テルマ・カラマ(U.S.A.) **1:23.0**
 (国際新記録)
 2 佐藤喜美子 (鴨沂会) 1:30.4
 3 可兒 令子 (京都大丸) 1:32.4
 4 井上 幸枝 (五條高) 1:50.4

準決勝

- A1 テルマ・カラマ(U.S.A.) **1:21.4**
 (国際新記録)
 2 森前みどり (伊都高) 1:26.0
 3 佐竹富美子 (東洋レ) 1:28.0
 4 三浦 秀 (白木屋) 1:28.0
 5 國澤 幸代 (高知水ク) 1:31.0
 B1 野口 幸子 (相愛高) **1:23.8**
 (日本新記録)
 2 片岡 澄子 (天理水協) 1:26.6
 3 定森 桂子 (津山中) 1:27.4
 4 多田 悦子 (五條高) 1:28.8
 5 小椋とみ子 (成徳高) 1:28.8

決勝

- 1 テルマ・カラマ (U.S.A.) **1:20.2**
 (国際新記録)
 2 野口 幸子 (相愛高) **1:24.2**
 (日本新記録)
 3 片岡 澄子 (天理水協) 1:25.2
 4 森前みどり (伊都高) 1:27.0
 5 定森 桂子 (津山中) 1:27.2
 6 佐竹富美子 (東洋レ) 1:27.2

100米平泳

豫選

- A1 青木 政代 (伊都高) 1:31.0

- 2 佐々木玲子 (廣島大) 1:37.4
 3 太田はるみ (立野高) 1:37.6
 B1 中田 澄子 (高知水ク) 1:32.8
 2 山崎 慶子 (鴨沂高) 1:39.0
 3 中谷富貴子 (小川ポンプ) 1:40.8
 C1 坂本 和子 (五條高) 1:32.6
 2 大野 敦子 (南多摩ク) 1:32.6
 3 横田 吟子 (高知水ク) 1:34.6
 D1 井豆 信子 (五條高) 1:34.4
 2 村上 桂子 (清水丘高) 1:39.2
 3 北岡 充子 (S.S.C.) 1:40.0
 E1 秋田チヅ子 (八幡製鉄) 1:34.4
 2 角南千鶴子 (南海高) 1:34.6
 3 小川 康子 (桐蔭高) 1:36.0
 F1 浦畑チズ子 (伊都高) 1:35.8
 2 高野 博子 (伏見高) 1:36.8
 3 福井 榮 (松蔭高) 1:37.0

準決勝

- A1 青木 政代 (伊都高) **1:30.8**
 2 中田 澄子 (高知水ク) 1:31.0
 3 角南千鶴子 (南海高) 1:34.0
 4 井豆 信子 (五條高) 1:34.2
 5 小川 康子 (桐蔭高) 1:35.8
 B1 大野 敦子 (南多摩ク) 1:32.4
 2 坂本 和子 (五條高) 1:32.8
 3 横田 吟子 (高知水ク) 1:33.2
 4 秋田チヅ子 (八幡製鉄) 1:33.6
 5 浦畑チズ子 (伊都高) 1:35.8

決勝

- 1 青木 政代 (伊都高) 1:31.0
 2 大野 敦子 (南多摩ク) 1:32.0
 3 坂本 和子 (五條高) 1:32.2
 4 中田 澄子 (高知水ク) 1:32.4
 5 秋田チヅ子 (八幡製鉄) 1:34.0
 6 横田 吟子 (高知水ク) 1:34.0

200米平泳

豫選

- A1 青木 政代 (伊都高) 3:10.2
 2 大野 敦子 (南多摩ク) 3:16.0
 3 横田 吟子 (高知水ク) 3:25.6
 4 佐々木玲子 (廣島大) 3:25.8
 B1 中田 澄子 (高知水ク) 3:14.8
 2 井豆 信子 (五條高) 3:23.6
 3 角南千鶴子 (南海高) 3:23.8
 4 立花 文子 (成城高) 3:24.2
 C1 エヴリン・カワモト(U.S.A.) 3:13.4

- 2 浦畑チズ子 (伊都高) 3:23.8
 3 太田はるみ (立野高) 3:27.4
 4 村上 桂子 (清水丘高) 3:27.4
 D1 坂本 和子 (五條高) 3:15.6
 2 高野 博子 (伏見高) 3:29.6
 3 佐藤 道子 (富士製鉄) 3:34.4
 E1 秋田チヅ子 (八幡製鉄) 3:25.0
 2 山崎 慶子 (鴨沂高) 3:27.8
 3 福井 榮 (松蔭高) 3:32.0

準決勝

- A1 青木 政代 (伊都高) 3:11.4
 2 大野 敦子 (南多摩ク) 3:13.0
 3 坂本 和子 (五條高) 3:16.4
 4 横田 吟子 (高知水ク) 3:18.6
 5 角南千鶴子 (南海高) 3:21.0
 B1 エヴリン・カワモト(U.S.A.) 3:11.4
 2 中田 澄子 (高知水ク) 3:12.8
 3 秋田チヅ子 (八幡製鉄) 3:19.6
 4 井豆 信子 (五條高) 3:22.2
 5 浦畑チヅ子 (伊都高) 3:24.0

決勝

- 1 エヴリン・カワモト(U.S.A.) 3:09.4
 2 青木 政代 (伊都高) 3:11.2
 3 中田 澄子 (高知水ク) 3:12.6
 4 大野 敦子 (南多摩ク) 3:12.8
 5 坂本 和子 (五條高) 3:17.2
 6 秋田チヅ子 (八幡製鉄) 3:18.2

水球競技

8月10日 扇町プール

第1回戦

- 三水會 46 {24-0 / 22-1} 1 淡泳會
 櫻泳會 14 {6-3 / 8-1} 4 六稜クラブ
 全學習院 7 {4-2 / 3-1} 3 鴨沂クラブ
 同志社大學 11 {6-1 / 5-4} 5 福岡高校

第2回戦

- 三水會 12 {5-1 / 7-4} 5 櫻泳會
 近水クラブ 20 {11-3 / 9-1} 4 全學習院
 早稻田大學 10 {4-0 / 6-1} 1 立命館大學
 慶應大學 17 {8-0 / 9-3} 3 同志社大學

8月11日 大阪プール

準決勝戦

慶應大學 6 {3-2 / 2-4} 6 三水會

- 植中 GK 村上
 田島 LB 五百木
 加島 RB 中稻
 市毛 HB 名取
 藤野 LF 多田
 小谷 CF 神田
 伊藤 RF 小谷

審判員 和田

近水クラブ 4 {2-0 / 1-1} 1 早稻田大學

- 葉室 GK 古賀
 谷合 LB 芦澤
 小島 RB 遠藤
 奥田 HB 田代
 森 LF 今村
 松本 CF 岡田
 江口 RF 谷村

審判員 塩川

8月12日 大阪プール

三位決定戦

早稻田大學 6 {5-2 / 1-2} 4 三水會

- 古賀 GK 村上
 芦澤 LB 西谷
 遠藤 RB 中稻
 田代 HB 五百木
 今村 LF 小谷
 岡田 CF 名取
 谷村 RF 多田

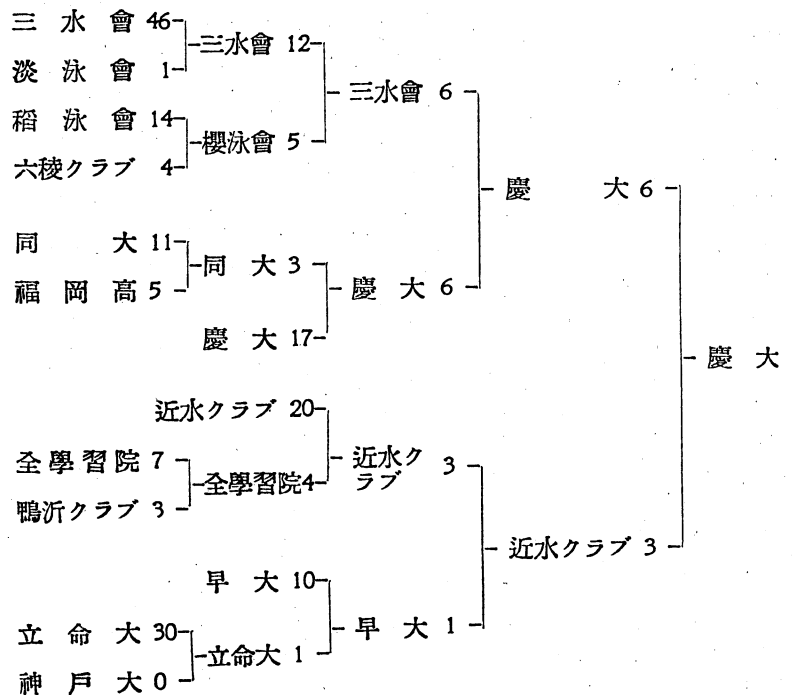
審判員 和田

決勝戦

慶應大學 6 {5-1 / 1-2} 3 近水クラブ

- 植中 GK 葉室
 田島 LB 小島
 平井 RB 谷合
 加島 HB 奥田
 藤野 LF 松本
 小谷 CF 松本
 伊藤 RF 森

審判員 藤田



三位決定戦

早大 6
 三水會 4

飛 込 競 技

男子飛板飛込選

(得点合計上位6名入選○印)

A 組

- 1 森澤 厚 (三水會) 139.14
- 2 坂本 章八 (櫻泳會) 129.89
- 3 清水 磊三 (櫻ヶ丘高) 129.34
- 4 馬場 豊 (神戸高) 121.23
- 5 高田 弘一 (櫻泳會) 114.65
- 6 石田 隆一(名城大附属高)112.53

B 組

- 1 毛利 勝一 (櫻泳會) 153.09
- 2 萩原 甫 (富士製鉄) 120.72
- 3 長江伊久之助(稻泳會) 109.08
- 4 牧之島忠三 (櫻泳會) 103.09
- 5 富永 又二 (弦泳會) 96.42
- 6 久津見泰夫 (關西飛込ク) 88.40

C 組

- 1 久保 欣治 (稻泳會) 152.15
- 2 馬淵 良 (櫻泳會) 125.35
- 3 奥田 通男 (日本味噌) 115.96
- 4 山下多喜雄 (櫻泳會) 115.81

- 5 伊藤 慎之 (阪大) 111.19
- 6 向 勉 (慶應高) 104.67

男子飛板飛込決勝

- 1 毛利 勝一 (櫻泳會) 161.30
- 2 久保 欣治 (稻泳會) 140.50
- 3 馬淵 良 (櫻泳會) 140.09
- 4 森澤 厚 (三水會) 138.48
- 5 坂本 章八 (櫻泳會) 132.68
- 6 清水 磊三 (櫻ヶ丘高) 125.24

男子高飛込選

(得点合計上位6名入選○印)

A 組

- 1 柴原 恒雄 (横濱ゴム) 121.66
- 2 毛利 勝一 (櫻泳會) 109.16
- 3 高田 弘一 (櫻泳會) 84.00
- 4 萩原 甫 (富士製鉄) 79.91
- 5 山中 嘉雄 (稻泳會) 65.59
- 6 清水 磊三 (櫻ヶ丘高) 63.50

B 組

- 1 久保 欣治 (稻泳會) 116.64
- 2 馬淵 良 (櫻泳會) 101.38
- 3 山下多喜雄 (櫻泳會) 86.78
- 4 石田 隆一(名城大附属高) 80.82

- 5 森澤 厚 (三水會) 76.99
- 6 牧之島忠三 (櫻泳會) 63.07

男子高飛込決勝

- 1 久保 欣治 (稻泳會) 131.12
- 2 毛利 勝一 (櫻泳會) 128.47
- 3 馬淵 良 (櫻泳會) 118.78
- 4 柴原 恒雄 (横濱ゴム) 116.49
- 5 高田 弘一 (櫻泳會) 102.44
- 6 山下多喜雄 (櫻泳會) 94.72

女子飛板飛込決勝

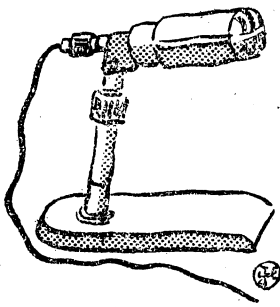
- 1 坂口 修子 (關西飛込ク)104.90
- 2 宮本まさみ (櫻ヶ丘高) 94.49
- 3 木村 富子 (櫻泳會) 91.96
- 4 木住野博子 (第六高出) 84.46
- 5 田中他榮子 (二水高) 84.08
- 6 山本 敦子(東京女子水ク) 81.99

女子高飛込決勝

- 1 坂口 修子 (關西飛込ク) 63.69
- 2 佐藤美智子(東京女子水ク) 61.44
- 3 木住野博子 (第六高出) 58.27
- 4 宮本まさみ (櫻ヶ丘高) 54.28
- 5 田中他榮子 (二水高) 46.22
- 6 山本 敦子(東京女子水ク) 43.61

目 次の写真は昭和 24 年日本水泳連盟が国際水泳連盟に復帰して以来、日本選手によつて数多く作られた世界記録のうち、次の 8 記録が公認され、その記録證が日本水泳連盟に届けられた。日本水泳連盟では、8 月 12 日、日本選手権大会最終日大阪プールに於て各選手を招き伝達式を行つた。写真は左より 400、1500 米、古橋選手、800 米リレー東京クラブの記録證である。

種 目	時間	氏 名	所 属	場 所	水 路	月 日	会 名
400 米自由形	4:33.3	古橋 廣之進	東ク	ロサンゼルス	50	24-8-18	全米選手権
800 米自由形	9:35.5	古橋 廣之進	〃	〃	〃	24-8-19	〃
〃	9:40.7	古橋 廣之進	〃	〃	〃	24-8-16	〃
〃	9:46.0	橋 爪 四 郎	〃	〃	〃	24-8-17	〃
1500 米自由形	18:19.0	古橋 廣之進	〃	〃	〃	24-8-16	〃
〃	18:35.7	橋 爪 四 郎	〃	〃	〃	24-8-16	〃
800 米リレー	8:45.4	濱口・丸山・村山・古橋	〃	〃	〃	24-8-18	〃
〃	8:40.6	濱口・村山・橋爪・古橋	〃	マリリア	〃	25-4-1	マリリア国際



第2回全国勤労者水上競技印象記

伊 丹 康 夫

大会の発展

長野県下、野沢温泉プールで行われた第2回の当大会は、700余名の選手が、全国45都道府県の各職域、諸団体の中より選抜されたもので、勤労者の水泳界の精鋭であつた。出場者数に於ても、記録的にいつても、昨年宇都宮大会の時と比較して、遙かに進歩、発展を記録した事は、勤労者の人達の水泳に対する熱意の如何に盛んなるかを実証するものである。

一時スポーツが学生の爲のスポーツに偏重してゐた事を思うと、水泳が勤労者の爲の水泳、生活の中の水泳に発展して行く躍動を感じる。勤労者水上大会が、2年目にして斯かる盛大な競技会となつた蔭には、経営者の水泳に対する深い理解と、往年の大選手の諸君が、陣頭に立つて、職場の人達の水泳指導等の各般の努力に当つた功績による所が多い。

今回よりは、女子種目の他に男子35歳以上の種目を新たに設けられた事も将来の爲に意義がある。

近い将来には学生水上の選手がそのまま水準で本大会に出場するようになつて、日本の水泳界をインターハイ、インターカレッジ、全国勤労者大会によつて鼎立する時が来ると思う。又一方、考へると、各地方予選会のみならず、この大会を目標として、各職場団体に於ては無数の水泳大会が開催され、幾十万という人達が心身を練磨された事であらう。

野沢温泉プール

本大会の行われた野沢温泉プールは、スキーで天下に、その名を知られ、全日本スキー大会等が度々行われた場所であるだけ、スポーツマンの集ひをやるには好適である。

長野市から長野電鉄で1時間20分、翠山に囲まれた善光寺平を千曲の清涼に沿つて走つて木島駅下車、パスにて更に50分にして温泉に至る。

プールは水温調節が自由であり、冬スキーに來た

お客が四圍に雪を周らしたプールに飛込むことが出來るとは奇観といえる。プールには附屬のホテルと山腹に設けた3,000人を收容する観覽席があり、翠山を背景にして山腹に据つた光景は調和も良い。然しよくこんな山の中に豪勢なプールが出來たものだという感じがした。

長野県下の水泳界について聞く所によれば、海も無く、川といつても泳ぐに適當な所がないが、幸ひ野尻湖が水温に恵まれてゐて、ここが水泳の発祥地となつてゐる。昔から水泳の同好の士が(野尻湖游泳協会会長小坂武雄氏もその1人とか)夏になつたら野尻湖に出掛けて、泳法を研究したのが始めて、それが野尻湖游泳協会となつて、縣下の水泳界の原動力となつてゐる。何分シーズンが短いので優秀な記録が出來ませんといつておられたが、此度、大会を催して、地元役員の水泳に対する熱心さ、統制のとれた秩序は本大会を立派に終ることが出來た大きな要素であつた。又競泳に於ては、バタフライ泳法で藤家君(長野中央工機)といつた優秀選手が地元の爲に敢闘されたのも記憶に残ることである。

男子競泳の部

自由型に於ては実業團としてのベテラン坂本(八幡製鉄)が400米を捨て100米に廻つて、200米に於て新鋭東(富士製鉄)を破つた健闘振りには坂本健在の感をあたえ賞讃に値する。400米自由形に於て坂本に替つて出場した三ノ宮、平城(八幡製鉄)は又東(富士製鉄)に続いて共に昨年坂本の記録を破つて來年度の進歩が期待される。100米自由形は佐々木(富士製鉄)の後半強い堅実なペースには他の追従を退け昨年記録を更新させた。岩合(京都大丸)は昨年程の元氣なく、中崎(勝村建設)の2位は予想を裏切つて太田(勝村建設)と入れ替つた感があるが100米自由形の勝負としては不思議でもない。50米自由形は太田(勝村建設)の見事な泳ぎが佐々木(富士製鉄)を押えた。

35歳以上100米自由形は田口（京都大丸）と根上（勝村建設）と一騎討の競ひであつた。今年初の種目であつたが、來年は1:06.0以内でないと決勝に残れないであらう。

100米背泳は黒佐（八幡製鉄）が2位濱岡（京都大丸）に水をあげ、昨年の記録を更新した。実力は益々健在を物語る。50米背泳に於ても黒佐が確実に首位を得た。

200米平泳に於ては宇田（富士製鉄）バタフライが1人強く、原田（八幡製鉄）バタフライは後半に於て藤家（長野中央工機）バタフライを抜き2位、藤家は前半の1分16秒～1分17秒は速過ぎる。ペースを研究したら原田に勝てる実力を持つてゐる。

100米平泳で決勝に残つた7人は全員バタフライ泳法であつた。そして6人迄が中村（八幡製鉄）の保持する大会記録を破つたのはバタフライ泳法の收得の早さを物語るものであつた。宇田（富士製鉄）は日本記録の保持者の貫録をその泳ぎに見せて呉れた自由形から転向した藤家（長野中央工機）の2位は地元の期待を立派に果し、もう少しレースに馴れたら一流選手の域に入るものである。

35歳以上100米平泳に於ては伊藤（埼玉大野電気）と大崎（石川縣庁）の往年のオリンピック級選手の鮮かなオーソドックスの泳ぎを見せて呉れた。300米メドレーリレーは宇田（富士製鉄）と原田（八幡製鉄）のバタフライの差によつて富士製鉄の勝利となつた。

200米リレーは勝村建設が予想通り京都大丸を押えて優勝した。

女子競泳の部

女子は全種目が今回から新たに設けられたために各種目共、男子に較べ充実が足りない。

然し次回は期待出来よう。

団体では京都大丸と東京白木屋の両百貨店の優勝争ひであつた。個人では滋賀東洋レーヨンの佐竹が50米自由形と50米背泳の2種目を安々と征覇してしまつた。自由形に於ては高橋（東京白木屋）、保見（東京富士製鉄）背泳に於ては可見（京都大丸）、三浦（東京白木屋）、平泳に於ては秋田（福岡八幡製鉄）の諸嬢が健闘された。

東西水球戦

東軍は慶應義塾大学OBの在京者によつて編成され、西軍は近畿水泳クラブで慶應、早大、日大、立命大、関大等のOBによつて編成され、どちらも戦歴を持つたチームで闘志に燃え緊張した試合であつた。然しゲームは残念な事に反則に放任され過ぎたきらいがあつた。これはレフェリーの最初のファールジャッジの決め方によつて、試合全部が左右される場合が多いが、此の試合がその類であつた。

前半西軍3-2とリードするも後半のチャンスが物にならず、アドバンテージが採用されなかつたりしたのに反し、東軍はハーフよりのパス、或はフォワード間のパスが巧みに成功して6-4で東軍の勝利に歸した実力は五分と五分であつたのでチャンスを多く物にした方の勝利を得た。

第2回全国勤勞者水上競技大會記録

8月4-5日 野澤温泉プール(50米)公認 気温 30° 26° 水温 25° 25°

(太字は大会新記録の最高)

競泳之部

一般男子

50米自由形

1 太田 光雄	勝村建設 東京	27.4 (27.2)
2 佐々木 猛	富士製鐵 東京	27.8 (27.6)
3 秋永 修	横濱ゴム三島 静岡岡	28.0

4 岩合 傳	大京丸都	28.0 (27.8)	3 坂本 幸盛	八幡製鐵岡	1:02.6
5 長谷川正雄	大平洋炭鑛 北海道	28.4	4 太田 光雄	勝村建設 東京	1:02.6 (1:01.8)
6 竹内 尙	大京丸都	28.4	5 岩合 傳	大京丸都	1:03.2 (1:01.8)

100米自由形

1 佐々木 猛	富士製鐵 東京	1:01.6 (1:01.2)
2 中崎 善夫	勝村建設 東京	1:02.0

200米自由形

1 坂本 幸盛	八幡製鐵岡	2:18.4
---------	-------	--------

男子 35 歳以上

2	東	昇	富士製鐵 東 京	2:19.4
3	中崎	善夫	勝村建設 東 京	2:23.2
4	平城	哲夫	八幡製鐵 福 岡	2:24.4
5	武藤	薫	明電舎 愛 知	2:27.0
6	仙頭	司郎	大 京 丸 都	2:29.2 (2:29.0)

400 米自由形

1	東	昇	富士製鐵 東 京	5:02.4 (5:01.2)
2	平城	哲夫	八幡製鐵 福 岡	5:14.8
3	三ノ宮	享	八幡製鐵 福 岡	5:15.2
4	武藤	薫	明電舎 愛 知	5:25.6 (5:22.8)
5	仙頭	司郎	大 京 丸 都	5:29.0
6	小松	玄郎	大 京 丸 都	5:32.4

50 米背泳

1	黒佐	年明	八幡製鐵 福 岡	32.2 (32.0)
2	竹本	剛	八幡製鐵 福 岡	32.8
3	赤樫	卓爾	日本ペーク 東 京	32.8
4	中村敬次郎		横濱ゴム 東 京	33.2 (33.0)
5	濱岡	昭八	大 京 丸 都	33.2
6	鳥居章次郎		高島屋飯 大 阪	33.8

100 米背泳

1	黒佐	年明	八幡製鐵 福 岡	1:11.8
2	濱岡	昭八	大 京 丸 都	1:13.2
3	竹本	剛	八幡製鐵 福 岡	1:14.2
4	榎谷	周二	富士製鐵 東 京	1:14.2
5	中村敬次郎		横濱ゴム 東 京	1:14.4
6	赤樫	卓爾	日本ペーク ライ 東 京	1:18.0 (1:16.8)

100 米平泳

1	宇田久壽秀		富士製鐵 東 京	1:12.8 (1:12.0)
2	藤家	衛	中央工業 長 野	1:16.0

3	原田	悦治	八幡製鐵 福 岡	1:17.0
4	中村	仁三	八幡製鐵 福 岡	1:18.6
5	波多野	勳	日本鋼管 神 奈 川	1:19.2 (1:19.0)
6	松田	忠雄	宇部興産 山 口	1:19.6

200 米平泳

1	宇田久壽秀		富士製鐵 東 京	2:44.0
2	原田	悦治	八幡製鐵 福 岡	2:55.2 (2:52.8)
3	藤家	衛	中央工業 長 野	2:55.6
4	葉室	鐵夫	毎日新聞 大 阪	3:00.0
5	安部	福次	八幡製鐵 福 岡	3:01.8 (3:00.6)
6	荒谷	順一	北海電化 富 山	3:01.8

200 米リレー

1	中崎・根上・磯垣・大田		勝村建設 東 京	1:50.4
2	岩合・田口・仙頭・竹内		大 京 丸 都	1:51.6
3	太田・黒佐・竹本・坂本		八幡製鐵 福 岡	1:52.4
4	佐々木・宇田・榎谷・東		富士製鐵 東 京	1:57.0
5	青木・鳥居・柴山・阪上		高島屋飯 大 阪	1:57.0
6	岩加・渡邊・松田・中牟田		宇部興産 山 口	1:57.2

300 米メドレーリレー

1	榎谷・宇田 佐々木		富士製鐵 東 京	3:28.4
2	黒佐・原田 坂本		八幡製鐵 福 岡	3:32.8
3	濱岡・山崎 岩合		大 京 丸 都	3:39.8
4	鳥居・吉永 柴山		高島屋飯 大 阪	3:44.4
5	吉原・北崎 鎌田		井華奔別 北 海 道	3:46.2
6	大橋・大崎 森田		石川縣 石 川	3:46.4

100 米自由形

1	田口	正治	大 京 丸 都	1:04.8
2	根上	博	勝村建設 東 京	1:05.0
3	上田	義人	三國重工 大 阪	1:05.6
4	井上	茂	朝倉高機 福 岡	1:06.0
5	小水	哲夫	東北電力 宮 城	1:07.2
6	八周	一夫	日立鑛業 茨 城	1:07.8

100 米背泳

1	山田	銅	笠町役場 岐 阜	1:20.6
2	和田	幸八	縣 教 委 兵 庫	1:21.8
3	川端	重勝	都立大學 東 京	1:23.0
4	田口	正治	大 京 丸 都	1:23.2 (1:22.2)
5	鈴木	次郎	大日本炭 福 岡	1:24.8
6	福田	勝彌	八幡製鐵 福 岡	1:24.8

100 米平泳

1	大崎卯藤久		縣 廳 石 川	1:22.8
2	伊藤	三郎	大野電機 埼 玉	1:23.8
3	河口	正行	八幡製鐵 福 岡	1:28.2
4	根上	博	勝村建設 東 京	1:29.6
5	齋木	温	大阪健保 大 阪	1:32.0 (1:30.0)
6	西	武雄	苫小牧製紙 北 海 道	1:35.6

一 般 女 子

50 米自由形

1	佐竹富美子		東洋レー 滋 賀	36.0 (35.2)
2	高橋美恵子		白 木 東 京	36.2
3	宮脇	延子	大 京 丸 都	37.2
4	佐々木好子		三次製紙 廣 島	37.2 (36.8)
5	保見	紀子	富士製鐵 東 京	38.0 (36.8)

6 塚原 康子 大京 丸都 38.6 (38.2)

100 米自由形

1 高橋美恵子 白木屋 1:22.6
 2 保見 紀子 富士製鐵 1:25.0
 3 塚原 康子 大京 丸都 1:27.0
 4 山中 宏子 縣神奈 廳川 1:28.0
 5 佐々木好子 三次製紙 1:28.4
 6 羽生 法子 松筑地事 1:29.8

50 米背泳

1 佐竹富美子 東洋レーヨン 40.0
 2 可兒 令子 大京 丸都 41.0 (40.6)
 3 三浦 秀 白木屋 41.6 (41.2)
 4 竹内 好子 大京 丸都 46.8
 5 山岡 榮子 農地事務局 46.8
 6 細野 僖子 都東 廳京 50.0 (48.8)

100 米平泳

1 秋田チヅ子 八幡製鐵 1:33.8 (1:33.4)
 2 管 操子 兵庫健保庫 1:42.0
 3 神谷 昭子 大京 丸都 1:42.2 (1:42.0)
 4 中谷富美子 小川ポンプ 1:43.2 (1:43.0)
 5 越崎都也子 大西陶磁器 1:43.6
 6 山本 昭子 縣長 廳崎 1:44.0

150 米メドレーリレー

1 可兒・神谷 大京 丸都 2:03.6
 2 三浦・山田 白木屋 2:08.4
 3 猪井・管 兵庫健保 2:18.8

4 小笠原・石塚 鐘紡淀川 2:20.6
 5 辻本 大 阪
 佐藤・宮川 鐘紡長野 2:35.0
 望月 長 野

得 点

男 子

1 八幡製鐵 (福岡) 74點
 2 富士製鐵 (東京) 51點
 3 大丸 (京都) 36點
 4 勝村建設 (東京) 34點
 5 中央工業 (長野) 9點
 6 石川縣廳 (石川) 8點
 7 笠松役場 (岐阜) 7點
 8 高島屋飯田 (大阪) 6點

女 子

1 大丸 (京都) 28點
 2 白木屋 (東京) 21點
 3 東洋レーヨン (滋賀) 14點
 4 兵庫健保 (兵庫) 9點
 5 八幡製鐵 (福岡) 7點
 6 富士製鐵 (東京) 7點

水 球 競 技

8月4日 (野澤プール)

關西6 { 2-3 } 4 關西 { 4-1 }

村上 GK 葉室
 五百木 LB 岩合
 中 稻 RB 小島
 名 取 HB 奥田
 多 田 LF 松本(司)
 神 田 CF 松本(俊)
 小 谷 RF 森
 審判員 和 田

8月5日 (野澤プール)

紅 9 { 7-4 } 7 白 { 2-3 }

村上 GK 奥田
 村瀬 LB 五百木
 西谷 RB 黒田
 山本 HB 名取
 神田 LF 松本(司)
 伊藤 CF 松本(俊)
 江口 RF 多田
 審判員 勝村

飛 込 競 技

女子飛板飛込決勝

1 伊藤 照子 (名古屋専賣公社) 27.31

男子飛板飛込決勝

1 富永 又二 (東亞興信所) 56.22
 2 長江伊久之助 (近畿産業) 52.24
 3 高田 弘一 (横濱ゴム) 50.99
 4 中田 周三 (石川教員) 50.97
 5 神原 昭三 (横河電機) 50.50
 6 萩原 甫 (富士製鐵) 48.69

女子高飛込決勝

1 伊藤 照子 (名古屋専賣公社) 27.94

男子高飛込決勝

1 矢野 幸松 (鐘紡淀川) 48.54
 2 萩原 甫 (富士製鐵) 47.06
 3 高田 弘一 (横濱ゴム) 45.54
 4 井上 久治 (大阪市交通局) 40.98
 5 木村 敦彦 (トヨタ自動車) 40.06
 6 古山 三男 (丸榮ホテル) 37.32

犬がかわいさう

情するかと思いきや、何分口の悪いので通つた面々、志村理事「はいつになく元氣のない様子で連ああ水の元締恐水病にかかるか…盟に現れた藤田専務理事 然しやつぱり水に縁があるよ」遊「いや今度はひどい目に遇いまし佐理事「その犬は牝犬だつたつたよ、股の所を犬に咬まれて毎日ね」牧野理事「そりや大変だ犬に注射通いさ」これを聞いて一同同もペニシリンを射たなきあ」

第19回日本高校



選手権大会総評

宍道 洋 一

日本高等学校選手権水上競技大会は8月23-24の両日、神宮プールで挙行された。男子は今回から戦前の姿に戻り、東西優勝校の争覇と、東西選抜チームの対抗戦が行われ、女子は各地予選を通過したチームと個人選手によつて選手権が争われた。男女共数名のオリンピック候補を交え、更に女子競技には日本選手権に出場したハワイの河本、カラマの両嬢がエキジビションとして出場し一段と華をそえたが一般に日本選手権当時の疲労が回復しなかつた爲か記録的には見るべきものがなかつた。

男子東西優勝校対抗

東の伊東高校と西の傳習館高校が東西を代表して相まみえたが実力略伯仲し、最後のリレーで勝敗がきまるといふ大接戦を演じて、結局中長距離に石橋横田という傑出した選手をもつ傳習館が30対24で優勝した。川口が元気だつたら伊東が勝つたろう。この競技で感じたことは種目が多すぎて選手が酷使されたことである。僅か2時間半の間にリレーを含めて5種目に出た選手が多かつたことは持駒の少い高校チームの対抗競技としては止むを得ない事であろう。自由形は100, 400, 1500, 背泳、平泳は夫々100, 200各一種目、リレーは800のみとすべきではなからうか。

男子東西選抜対抗

未来の大物を多数擁する精鋭チームの対抗戦だけに最も見ごたえがあつた。100, 200は西の後藤(浮羽高)が軟いのびのある泳ぎで好記録を出し、断然他を押えて優勝した。日大三高の鈴木が出られたら更に面白かつたろう。400, 1500は夫々浅野(東、中京商)、石橋(西、傳習館)のものと思われていた所、新人青木(西、鹿本高)が元気に泳いで優勝、特に1500では最後の50であつさり石橋を抜いたあたり、新人乍ら天晴れといたい。浅野は元気な

く400では横田(西、傳習館)にも押えられて3着となつた。川口(東、伊東)は元気がない所え、前日の疲労が加わり、昨年或は一昨年の面影更になく惨敗した。背泳は倉橋(東、浜松西)が問題なく優勝したがオリンピック候補としては聊か物足りない記録であつた。此の種目に西の黒佐(大分鶴城)と元村(鹿本)が擡頭して來たのは近年不振の背泳の爲に喜ばしい。平泳は第一人者早高の梶川が棄権して淋しかつたが田中(西、丹原)が兩種目に優勝して將來を期待させた。彼は昨年からの進歩著しく、少しまのびのした泳ぎでピッチが上らぬ嫌いはあるが体に恵まれ、度胸もすわつているから練習次第ではオリンピックのものである。田中以外の選手は100で強い佐藤(東、慶應)北澤(東、日比谷)も200では振はず石井(東、安房一)藤澤(西、阿賀)に押えられた。200リレーは短距離の揃つた東軍が、又800リレーは中長距離に強い西軍が夫々順当に勝ち、結局自由形全部と平泳二種目を射止めた西軍が34対20で東軍を降した。

女子競技

奈良の五條と和歌山の伊都が圧倒的に強く以下8位迄殆ど西部地方の高校が入り、東部は僅に東京の成徳が第4位を占めたに過ぎなかつた。五條は新子片岡等を送り出したが、坂口、山下、宮崎等の自由形、坂本、井豆の平泳、上田、多田の背泳と、男子高校にも見られないバランスの取れた而かも第一線級の選手を擁して、田村、青木、森前等を中心とする伊都の追撃を斥けた。自由形では山下、田村の二人が図抜けていたが未だスプリントが足りないようだ。背泳は野口(相愛)がシーズン始めからの好調を崩さず100で1分23秒前後を常に出し、森前も昨年から異常の進歩をみせた。これに反し成徳の小椋姉妹は練習の不足からか、元気がなく夫々50, 100に3位となつて辛うじてその名をとどめた。平泳は坂

本の躍進目覚しくでは オリンピック候補青木を押えて優勝したことは大に賞讃されてよい。河本に刺戟されてかバタフライが二、三みえたが、これは來年に期待したい。400 リレーは自由形に粒の揃つた五條が樂勝し、又300メドレーリレーは自、背、平と平均してよい選手をもつ伊都が日本新記録を出して優勝した。ハワイの二選手は單にエキジビションとして泳いだ爲好記録は出なかつたが、共に日本の女子にはみられない線の太い泳ぎを見せ、我々に大きな感銘を与えた。

東西優勝校對抗出場選手

東部優勝校 伊東高等学校

監督 龜山 巖
選手 本村 正 川口友平 井原 孜 鈴木 穰
小松 茂 柴田昭土 木村 正 鈴木 曠
後藤 明 齋藤守男 山田 滿 山田重三
木部藤治 寺田 博

西部優勝校 傳習館高等学校

監督 緒方勇雄
選手 一郡 辨 横田宣明 石橋 明 酒井正行
後藤勝右 今村魁夫 柿野繁喜 田中鐵也
古賀 学 山田 求 大橋澄雄

水 球 之 部

東部優勝校 慶應高等学校

監督 小林 孝
選手 佐藤孝尙 荒川八郎 白取 隆 向笠孝夫
山澤隆一 松永辰一 豊洲勝右 田崎一之
古村久男 西川慎二 平野延夫

西部優勝校 熊本濟々贊高等学校

監督 平田忠彦
選手 佐伯卓三 菅原 平 龍川武弘 田久保徹
大垣憲治 田代 一 大島淳之助 川北文男
坂田定苗 中村 允 井上 融

東西高校對抗出場選手

東 部 代 表

コーチ 太田光雄 マネチヤー 伊藤謹平
選手 倉橋範彦 井原 孜 木村 正 庄司嘉宏
浅野 滿 川口友平 庄司政雄 山下勝次
大久保憲二 近藤久仁正 和氣壽彦
佐藤圭司 北澤軍治 大谷 伸 石井 弘

西 部 代 表

コーチ 片山兼吉 マネチヤー 浮田昌彦
選手 後藤 暢 堂崎治好 古賀 學 清水雄二
堀内良治 横田宣明 青木行義 石橋 明
久保田認 大野 司 黒佐 清守 木村昭夫
高森知之 川野英隆 田中 板井道夫
藤澤健二 寺崎博之

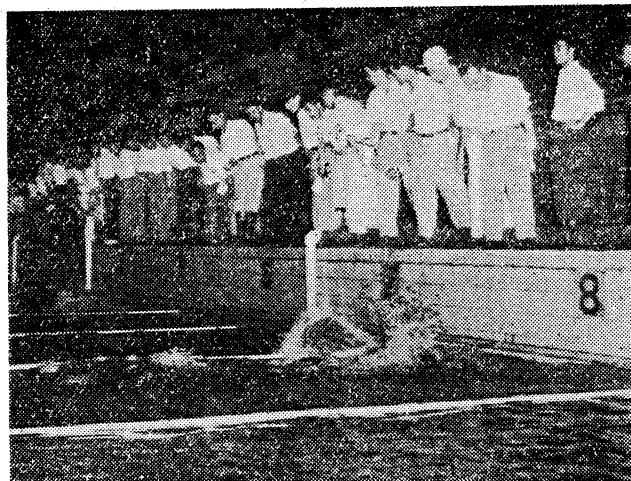
飛 込 競 技

東 部 代 表

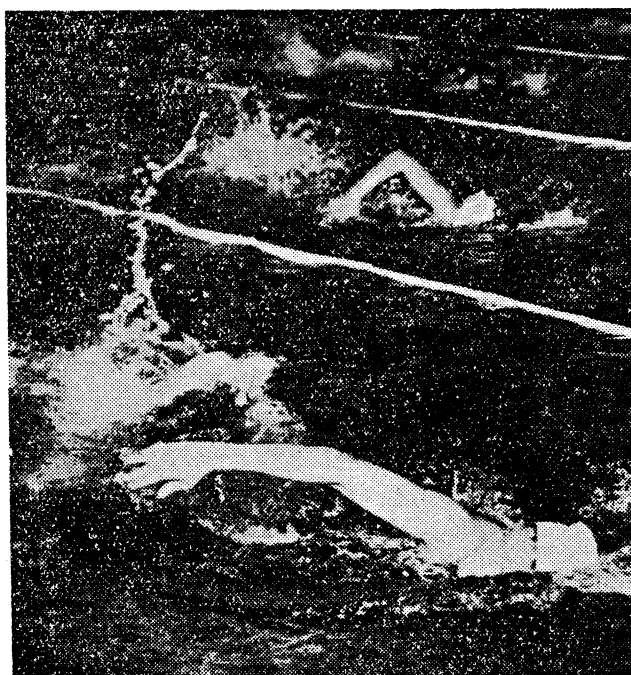
監督 毛利元英 マネチヤー 三橋 渡
選手 清水磊三 石田隆一 向 勉 木村安晴

西 部 代 表

監督 矢野幸松 マネチヤー 馬場 豊
選手 内田幸夫 山本利則 山田慶二郎



男子東西優勝校對抗200米自由形決勝ゴール1着横田
(手前8コース) 2着木村(5コース)



400米自由形(番外)に力泳する川本廉



女子400米自由形で大会新記録山下貞子

第19回日本高校選手権水上競技大会記録

8月23-24日 神宮プール(50米)公認 気温 31.5° 31.5° 水温 28° 28°

(太字は大会新記録)

東西優勝校争覇戦

100米自由形

1	木村 正	(伊 東)	1:02.4
2	井原 孜	(〃)	1:02.4
3	古賀 學	(傳習館)	1:02.6
4	酒井 清行	(〃)	1:04.6
5	寺田 博	(伊 東)	1:09.0
6	大橋 澄雄	(傳習館)	1:10.0

200米自由形

1	横田 宣明	(傳習館)	2:18.0
2	木村 正	(伊 東)	2:18.4
3	古賀 學	(傳習館)	2:19.8
4	井原 孜	(伊 東)	2:23.4
5	鈴木 穰	(〃)	2:24.4
6	酒井 清行	(傳習館)	2:35.4

400米自由形

1	横田 宣明	(傳習館)	4:55.6
2	石橋 明	(〃)	4:56.2
3	川口 友平	(伊 東)	4:59.4
4	鈴木 穰	(〃)	5:26.8
5	今村 魁夫	(傳習館)	5:30.2
6	木村 靖	(伊 東)	5:40.2

1500米自由形

1	石橋 明	(傳習館)	19:38.6
2	川口 友平	(伊 東)	20:22.8
3	鈴木 曠	(〃)	21:31.4
4	今村 魁夫	(傳習館)	21:52.4
5	木部 藤治	(伊 東)	22:32.4

50米背泳

1	柿野 繁喜	(傳習館)	35.2
2	柴田 昭士	(伊 東)	36.4
3	小松 茂	(〃)	36.4
4	田中 鉄也	(傳習館)	36.4
5	山田 満	(伊 東)	37.4

100米背泳

1	小松 茂	(伊 東)	1:17.6
---	------	-------	--------

2	柿野 繁喜	(傳習館)	1:17.8
3	柴田 昭士	(伊 東)	1:19.6
4	田中 鉄也	(傳習館)	1:20.0
5	山田 満	(伊 東)	1:26.0

100米平泳

1	井原 孜	(伊 東)	1:18.0
2	後藤 勝右	(傳習館)	1:18.8
3	一郡 辨	(〃)	1:21.4
4	後藤 明	(伊 東)	1:23.6
5	山田 求	(傳習館)	1:23.8
6	山田 重三	(伊 東)	1:26.8

200米平泳

1	後藤 勝右	(傳習館)	3:02.8
2	山田 求	(〃)	3:03.6
3	一郡 辨	(〃)	3:05.6
4	後藤 明	(伊 東)	3:15.8
5	齋藤 守男	(〃)	3:22.2

200米リレー

1	井原・柴田・鈴木・木村	(伊 東)	1:53.4
1	古賀・横田・石橋・酒井	(傳習館)	1:54.0

800米リレー

1	古賀・石橋・酒井・横田	(傳習館)	9:22.8
2	木村・鈴木・川口・井原	(伊 東)	9:24.2

得点

優勝	傳習館高校	30
	伊東高校	24

水球競技

済々黌高 7 (5-3) 5 慶應高

佐伯 GK	松 永
水垣 LB	山 澤
田代 RB	豊 州
大島 HB	荒 川
田久保 LF	田 熊

龍川 CF 佐藤
菅原 RF 白取
審判員 和田

高校東西對抗

8月24日 神宮プール(50米)公認
(気温 31.5° 水温 28°)

100米自由形

1	後藤 暢	(西)	1:00.2
2	堂崎 治好	(〃)	1:01.8
3	井原 孜	(東)	1:02.0
4	古賀 學	(西)	1:02.8
5	庄司 嘉宏	(東)	1:02.8
6	木村 正	(〃)	1:03.0

200米自由形

1	後藤 暢	(西)	2:12.8
2	浅野 満	(東)	2:16.8
3	庄司 嘉宏	(〃)	2:19.2
4	横田 宣明	(西)	2:20.2
5	清光 雄二	(〃)	2:20.8
6	木村 正	(東)	2:21.4

400米自由形

1	青木 行義	(西)	4:52.8
2	横田 宣明	(〃)	4:57.4
3	浅野 満	(東)	4:58.0
4	石橋 明	(西)	5:05.0
5	山下 勝次	(東)	5:05.4
6	川口 友平	(〃)	5:05.6

1500米自由形

1	青木 行義	(西)	19:27.8
2	石橋 明	(〃)	19:29.4
3	山下 勝次	(東)	19:59.2
4	久保田 認	(西)	20:21.6
5	川口 友平	(東)	20:37.0
6	庄司 政雄	(〃)	20:40.6

50米背泳

1	倉橋 範彦	(東)	31.8
2	黒佐 清	(西)	32.4

3	元村 昭夫 (〃)	33.2
4	大久保憲二 (東)	33.2
5	高森 知之 (西)	33.2
6	和氣 壽彦 (東)	33.2

100米背泳

1	倉橋 範彦 (東)	1:11.8
2	黒佐 清 (西)	1:12.8
3	元村 昭夫 (〃)	1:12.6
4	和氣 壽彦 (東)	1:14.0
5	川野 英隆 (西)	1:15.0
6	近藤久仁正 (東)	1:17.8

100米平泳

1	田中 守 (西)	1:12.0
2	佐藤 圭司 (東)	1:12.8
3	北澤 軍治 (〃)	1:13.6
4	板井 道生 (西)	1:14.0
5	大谷 勝 (東)	1:15.6
6	寺崎 博之 (西)	1:16.0

200米平泳

1	田中 守 (西)	2:45.4
2	石井 弘 (東)	2:50.0
3	藤澤 健二 (西)	2:53.8
4	板井 道生 (〃)	2:54.8
5	北澤 軍治 (東)	2:55.6
6	大谷 勝 (〃)	2:56.0

200米リレー

1	倉橋・井原・木村・和氣 (東)	1:49.0
2	後藤・古賀・堂崎・清光 (西)	1:51.0

800米リレー

1	青木・横田・古賀・後藤 (西)	8:13.8
2	浅野・木村・庄司・庄司 (東)	9:19.6

得点

西部高校	34
東部高校	20

女子之部

50米自由形

準決勝

A 1	小野 徑子 (甲府二)	35.6
2	河原 澄子 (朱雀)	36.6
3	宇佐美文子 (今治西)	36.6
4	井上 知子 (淑徳)	36.6
B 1	庄司 米子 (安房二)	34.8
2	坂口 文子 (五條)	35.0
3	米澤 祥子 (熊本市)	36.6
4	市後藤昌子 (朝倉)	37.0

決勝

1	坂口 文子 (五條)	34.0
2	河原 澄子 (朱雀)	34.2
3	小野 徑子 (甲府二)	35.8
4	庄司 米子 (安房二)	36.2
5	井上 知子 (淑徳)	36.6
6	宇佐美文子 (今治西)	37.4

100米自由形

準決勝

A 1	坂口 文子 (五條)	1:18.6
2	成清 澄子 (傳習館)	1:19.0
3	河原 澄子 (朱雀)	1:20.8
4	木村 襠 (相愛)	1:23.4
B 1	田村美佐子 (伊都)	1:13.8
2	森下美奈子 (尙綱)	1:19.4
3	庄司 米子 (安房二)	1:21.2
4	田吹千壽子 (傳習館)	1:23.0

決勝

テルマカラマ (アメリカ)	1:10.0	
1	田村美佐子 (伊都)	1:13.2
2	成清 澄子 (傳習館)	1:18.2
3	坂口 文子 (五條)	1:18.4
4	森下美奈子 (尙綱)	1:19.2
5	河原 澄子 (朱雀)	1:20.6
6	庄司 米子 (安房二)	1:21.6

200米自由形

準決勝

A 1	山下 貞子 (五條)	2:44.2
2	瀧口美恵子 (桐蔭)	2:55.4
3	成清 澄子 (傳習館)	2:56.6
4	森下美奈子 (尙綱)	2:59.2
5	木村 襠 (相愛)	3:04.0
B	テルマカラマ (アメリカ)	2:37.0
	(国際新記録)	
1	田村美佐子 (伊都)	2:42.0
2	宮崎 亮子 (五條)	2:49.4
3	井出 弘子 (今治西)	2:55.0
4	赤木 宣子 (美作)	3:04.0

決勝

1	山下 貞子 (五條)	2:40.0
2	田村美佐子 (伊都)	2:41.8
3	宮崎 亮子 (五條)	2:49.6
4	井出 弘子 (今治西)	2:53.6
5	成清 静子 (傳習館)	2:54.4
6	森下美奈子 (尙綱)	2:55.6

400米自由形

準決勝

A 1	宮崎 亮子 (五條)	6:10.2
2	井出 弘子 (今治西)	6:11.6
3	赤木 宣子 (美作)	6:16.2
4	永野美智子 (筑紫)	6:34.6
B 1	山下 貞子 (五條)	6:08.8
2	瀧口三恵子 (桐蔭)	6:18.8
3	池田 久子 (伊都)	6:19.2
4	丸山 朝子 (下田北)	6:32.8

決勝

エヴェリン・カワモト (アメリカ)	5:44.0	
1	山下 貞子 (五條)	5:48.0
2	宮崎 亮子 (〃)	5:55.6
3	井出 弘子 (今治西)	6:06.0
4	瀧口三恵子 (桐蔭)	6:08.0
5	池田 久子 (伊都)	6:15.8
6	赤木 宣子 (美作)	6:26.8

50米背泳

準決勝

A 1	森前みどり (伊都)	39.0
2	多田 悦子 (五條)	40.8
3	小椋とし子 (成徳)	41.2
B 1	野口 幸子 (相愛)	38.8
2	永瀬美代子 (五條)	41.0
3	小椋とみ子 (成徳)	41.0

決勝

1	野口 幸子 (相愛)	38.6
2	森前みどり (伊都)	40.0
3	小椋とみ子 (成徳)	40.8
4	前原ともゑ (筑紫)	40.8
5	小椋とし子 (成徳)	41.4
6	永瀬美代子 (五條)	42.0

100米背泳

準決勝

A 1	森前みどり (伊都)	1:26.2
2	小椋とみ子 (成徳)	1:29.2

3 加納 照子 (鴨 沂)	1:31.0
4 平野 雅子 (伊勢崎)	1:32.0
B 1 野口 幸子 (相 愛)	1:23.8
2 小椋とし子 (成 徳)	1:29.2
3 多田 悦子 (五 條)	1:29.6
4 前原ともゑ (筑 紫)	1:31.8

決 勝

テルマ・カラマ (アメリカ)	1:22.0 (国際新記録)
1 野口 幸子 (相 愛)	1:23.8
2 森前みどり (伊 都)	1:25.8
3 小椋とし子 (成 徳)	1:29.6
4 多田 悦子 (五 條)	1:30.0
5 小椋とみ子 (成 徳)	1:30.2
6 前原ともゑ (筑 紫)	1:31.0

100 米 平 泳

準 決 勝

A 1 青木 政代 (伊 都)	1:31.8
2 井豆 信子 (五 條)	1:34.2
3 小川 康子 (桐 蔭)	1:36.8
4 芦澤 輝 (榮 和)	1:36.8
B 1 坂本 和子 (五 條)	1:33.2
2 角南千鶴子 (南 海)	1:34.2
3 浦畑チヅ子 (伊 都)	1:37.2
4 太田はるみ (横濱立野)	1:37.8

決 勝

1 青木 政代 (伊 都)	1:31.2
2 坂本 和子 (五 條)	1:31.2
3 角南千鶴子 (南 海)	1:33.8
4 井豆 信子 (五 條)	1:34.2
5 浦畑はるみ (伊 都)	1:36.8
6 芦澤 輝 (榮 和)	1:36.8

200 米 平 泳

準 決 勝

A 1 坂本 和子 (五 條)	3:17.0
2 小川 康子 (桐 蔭)	3:23.2
3 角南千鶴子 (南 海)	3:25.2
4 浦畑チヅ子 (伊 都)	3:26.6
B 1 青木 政代 (伊 都)	3:15.0
2 井豆 信子 (五 條)	3:23.0
3 芦澤 輝 (榮 和)	3:26.4
4 山崎 慶子 (鴨 沂)	3:30.4

決 勝

エヴェリン・カワモト (アメリカ)	3:13.0
1 坂本 和子 (五 條)	3:15.6
2 青木 政代 (伊 都)	3:16.2

3 小川 康子 (桐 蔭)	3:21.8
4 浦畑チヅ子 (伊 都)	3:22.6
5 井豆 信子 (五 條)	3:22.6
6 角南千鶴子 (南 海)	3:23.2

400 米 リレー

準 決 勝

A 1 森前・森田・池田・田村 (伊 都)	5:37.0
2 田中・田中・田吹・成清 (傳習館)	5:42.6
3 鈴木・石井・鳥居・北澤 (伊 東)	6:03.6
4 首藤・稲井・稲井・今井 (小 松)	6:11.2
B 1 坂口・北芝・山下・宮崎 (五 條)	5:28.0
2 橋本・杉村・加藤・木村 (相 愛)	5:46.8
3 朝日奈・龜山・安井・河原 (朱 雀)	5:57.2
4 小椋・笠井・丸田・園井 (成 蹊)	6:09.6
5 内林・浅倉・前原・永野 (筑 紫)	6:14.0

決 勝

1 坂口・北芝・宮崎・山下 (五 條)	5:19.0
2 森前・森田・池田・田村 (伊 都)	5:34.6
3 野口・加藤・橋本・木村 (相 愛)	5:36.4
4 田中・田中・田吹・成清 (傳習館)	5:42.4
5 朝日奈・龜山・安井・河原 (朱 雀)	5:50.8
6 鈴木・鈴木・石井・北澤 (伊 東)	6:00.8

300 米 メドレーリレー

準 決 勝

A 1 森前・青木・田村 (伊 都)	4:10.0 (日本對)
2 野口・橋本・木村 (相 愛)	4:39.2
3 山田・福井・白井 (松 蔭)	4:56.2
B 1 高山・村上・米岡 (清水丘)	4:36.4
2 前原・長野・永野 (筑 紫)	4:37.8
3 石井・鳥居・北澤 (伊 東)	4:41.0
C 1 多田・阪本・山下 (五 條)	4:24.6
2 田中・黒田・成清 (傳習館)	4:41.4
3 須山・杉浦・手塚 (濱松市立)	4:43.6

決 勝

1 森前・青木・田村 (伊 都)	4:03.2 (日本新記録)
2 多田・坂本・山下 (五 條)	4:19.4

3 前原・長野・永野 (筑 紫)	4:38.0
4 高山・村上・米岡 (清水丘)	4:39.0
5 野口・橋本・木村 (相 愛)	4:39.0
6 成清・黒田・田中 (傳習館)	4:41.0

300 米 個人メドレー

エヴェリン・カワモト

(アメリカ) 4:37.2

得 点

優勝	五 條 高 校	67
	伊 都 高 校	52
	相 愛 高 校	20
	成 徳 高 校	12
	傳 習 館 高 校	11
	朱 雀 高 校	9

飛 込 競 技

女子 1 米 飛板飛込決勝

1 宮本まさみ (櫻ヶ丘高)	64.59
2 田中他榮子 (二水高)	56.97
3 伊藤 時子 (三田高)	53.88

女子 3 米 飛板飛込決勝

1 宮本まさみ (櫻ヶ丘高)	55.05
2 田中他榮子 (二水高)	52.83
3 伊藤 時子 (三田高)	52.16
4 時任紀久子 (惠泉女學)	38.35

東西對抗 1 米 飛板飛込決勝

1 馬場 豊 (西 部)	84.51
2 内田 幸夫 (")	70.48
3 向 勉 (東 部)	66.20
4 山本 利則 (西 部)	58.97
5 木村 安晴 (東 部)	58.38
6 石田 隆一 (")	57.69

東西對抗 3 米 飛板飛込決勝

1 石田 隆一 (東 部)	61.99
2 馬場 豊 (西 部)	61.56
3 清水 磊三 (東 部)	60.33
4 内田 幸夫 (西 部)	54.28
5 向 勉 (東 部)	48.30
6 山本 利則 (西 部)	45.56

西部高校 24

(1米 15 3米 9)

東部高校 20

(1米 7 3米 13)

水 球

西 部

東 部

濟々鬘高校 7 — 5 慶應高校

東部高校選手権水上競技大會短評

白山源三郎

インターハイを戦前の様に東西2部制にし、東西対抗を行うことは永い要望であり乍ら実現しなかつたが、漸く擡頭して來た高校水泳の水準と、オリンピックへの高校水泳の重要性から 愈々再興第1回が行はれることとなり、西部は天理、東部は迂餘曲折の後横浜と決定した。

日本選手権(於大阪)の後を受け、次週の東西対抗を其後に控えての試合であつたが、全般には少し弛んだ感じの試合であつた。気分と云うものは妙なもので、リズムカルに波の高低がある。日本選手権に於てオリンピック候補選手が選ばれたのが頂点でホットした気分の弛みは否定し難い所である。然し日本選手権の候補選定の一戦は息詰る思いのある程の気分の最高潮であつたから一般的に水準の高つた事は勿論で、それによつて得られた結果のお蔭で、記録的には此大会に於ても水準が確かに上かつた。往年の中等選手全盛の際に於けると同様の様相を示して居る。1500の決勝に残つた者が全部大会新記録を出したものであり、決勝タイムは勿論全部大会新記録で3名が20分を切つて居る。

由來選手産出については西が東に遙かにまさつて居る。今回も、横浜より天理の西の大会の方が質に於て殊に量に於てまさつて居た事であらう。其結果の此後の東西対抗の結果に於てそれが現れて居る。然し実は量に於ては別として質に於ては東は劣らなかつた筈である。即ち、日本選手権で選ばれたオリンピック候補選手中に高校生が8名居て丁度西・東

4名宛である。所が残念な事に、鈴木(日大三高)谷(早稲田高)が転校の爲規定により出場資格なく梶川(稻泳)亦病氣棄権の爲、結局候補選手は背泳の倉橋(浜松西高)だけと云う淋しさであつた。之が候補選手を押えて候補追加を狙う張合をなくし、候補選手諸君による優秀記録の期待を失はしめた事にもなる。短距離、平泳に於て特に甚しかつたのである。

個人的の張合と、タイムについては右の通りに感ぜられたが、学校対抗は之に反して物凄い張合を予想された。結局に於て伊東高校が中京商を可なり離して優勝したが、此結果は予断を許さないものであつた。永年の苦心が報いられて新しい水連優勝旗を握つた伊東の功績は賞讃されてよい。惜くも勝を逸した、中京商と安房一高は共に期する所があつた丈に残念であつたであらう。其健闘は亦賞讃に価する。3校の巴戦は近頃の好試合であつた。結果から見ると、中京が平泳に弱点、安房が背泳に弱点を持つて居た事がいけなかつたが、伊東は、背、平、双方に無得点で尙且優勝した事は、云はば鈴木、谷の不出場が幸いしたとも云へるが、就れにしても混戦が想起されると共に、各種目に選手を揃えることの困難が考へられる。

飛込は新しい企劃で飛板のみで行はれ成果を挙げたと思はれる。水球は慶應のワンサイドゲームはやむえざる所であらう。

競技記録

8月18-19日 野毛山プール(50米)公認
(太字は大会新記録の最高)

競泳之部

100米自由形

準決勝

A1	井原 孜	(伊 東)	1:02.6
2	山田 一彦	(甲 府)	1:05.6
3	石鍋 有康	(藏 前)	1:06.0

B1	木村 正	(伊 東)	1:03.2
2	平田 格二	(中京商)	1:04.2
3	足立 圭司	(一 宮)	1:04.8
C1	庄司 宏	(安房一)	1:04.4
2	清水 健	(高 崎)	1:05.0
3	後藤 正幸	(佐 渡)	1:05.2

決勝

1	井原 孜	(伊 東)	1:02.8
2	木村 正	(")	1:02.8
3	庄司 嘉宏	(安房一)	1:03.4
4	平田 格二	(中京商)	1:04.2

5	後藤 正幸	(佐 渡)	1:04.8
6	足立 圭司	(一 宮)	1:05.0

200米自由形

準決勝

A1	浅野 満	(中京商)	2:18.0
2	井原 孜	(伊 東)	2:20.8
3	遠藤 登	(沼津東)	2:24.6
B1	大森 怜	(中京商)	2:22.4
2	足立 圭司	(一 宮)	2:25.0
3	上堀 静	(盤田農)	2:25.2

C1	庄司 嘉宏 (安房一)	2:20.8
2	木村 正 (伊東)	2:23.6
3	神谷 俊司 (盤田農)	2:26.8
決 勝		
1	浅野 満 (中京商)	2:18.0
2	木村 正 (伊東)	2:18.8
3	庄司 嘉宏 (安房一)	2:19.0
4	井原 孜 (伊東)	2:20.0
5	大森 怜 (中京商)	2:20.6
6	遠藤 登 (沼津東)	2:24.6

400米自由形

準 決 勝		
A1	浅野 満 (中京商)	5:00.4
2	澤田八十八 (一宮)	5:11.6
3	森 正進 (津)	5:14.0
B1	庄司 政雄 (安房一)	5:03.8
2	山下 勝次 (濱松北)	5:11.0
3	遠藤 登 (沼津)	5:16.2
C1	川口 友平 (伊東)	5:02.2
2	平田 大六 (新瀨)	5:10.6
3	大森 怜 (中京商)	5:12.4
決 勝		
1	浅野 満 (中京商)	4:52.4
2	川口 友平 (伊東)	4:57.2
3	庄司 政雄 (安房一)	5:02.0
4	大森 怜 (中京商)	5:06.4
5	山下 勝次 (濱松北)	5:07.8
6	平田 大六 (新瀨)	5:10.2

1500米自由形

決 勝		
1	川口 友平 (伊東)	19:53.
2	山下 勝次 (濱松北)	19:56.2
3	庄司 政雄 (安房一)	19:58.4
4	加藤 岩雄 (一宮)	20:31.4
5	平田 大六 (新瀨)	20:33.4
6	足立 健 (盤田農)	20:40.8

50米背泳

準 決 勝		
A1	倉橋 範彦 (濱松西)	33.2
2	野末 俊夫 (濱松北)	35.4
3	小山 輝夫 (横須賀)	36.0
B1	近藤久仁正 (中京商)	34.0
2	和氣 壽彦 (慶應)	34.6
3	尾越 良則 (法政二)	35.8
C1	大久保憲二 (逗子開成)	34.2

2	小林 稔 (山形南)	34.4
3	金野 鶴次 (銚子一)	35.2
決 勝		
1	倉橋 範彦 (濱松西)	32.2
2	大久保憲二 (逗子開成)	33.2
3	近藤久仁正 (中京商)	33.4
4	和氣 壽彦 (慶應)	
5	小林 稔 (山形南)	34.0
6	金野 鶴次 (銚子一)	34.0

100米背泳

準 決 勝		
A1	倉橋 範彦 (濱松西)	1:12.4
2	小林 稔 (山形南)	1:17.6
3	小松 茂 (伊東)	1:18.8
B1	近藤久仁正 (中京商)	1:16.4
2	野末 俊夫 (濱松北)	1:17.0
3	尾越 良則 (法政二)	1:18.6
C1	和氣 壽彦 (慶應)	1:14.8
2	大久保憲二 (逗子開成)	1:15.8
3	村田 守 (久居工)	1:18.8
決 勝		
1	倉橋 範彦 (濱松西)	1:11.8
2	和氣 壽彦 (慶應)	1:13.8
3	大久保憲二 (逗子開成)	1:15.4
4	近藤久仁正 (中京商)	1:15.8
5	尾越 良則 (法政二)	1:17.2
6	野末 俊夫 (濱松北)	1:17.6

100米平泳

準 決 勝		
A1	北澤 軍治 (日比谷)	1:13.6
2	石井 弘 (安房一)	1:18.0
3	青山 孝郎 (成蹊)	1:18.4
B1	佐藤 圭司 (慶應)	1:12.8
2	近藤 昇治 (向陽)	1:19.0
3	最上 則彦 (藏前)	1:19.8
C1	大谷 勝 (法政二)	1:15.2
2	黒川 孝吉 (安房一)	1:16.6
3	土屋 忠信 (下田北)	1:20.6

決 勝

1	佐藤 圭司 (慶應)	1:13.8
2	北澤 軍治 (日比谷)	1:14.0
3	大谷 勝 (法政二)	1:14.6
4	黒川 孝吉 (安房一)	1:16.8
5	青山 孝郎 (成蹊)	1:18.8
6	近藤 昇治 (向陽)	1:19.4

200米平泳

準 決 勝

A1	石井 弘 (安房一)	2:51.6
2	佐藤 圭司 (慶應)	2:54.0
3	尾崎 好孝 (松山)	2:57.8
B1	北澤 軍治 (日比谷)	2:52.8
2	近藤 昇司 (向陽)	2:56.2
3	弘中 誠治 (袋井)	2:57.0
C1	大谷 勝 (法政二)	2:48.8
2	黒川 孝吉 (安房一)	2:52.4
3	松永 辰一 (慶應)	2:55.8

決 勝

1	石井 弘 (安房一)	2:51.8
2	北澤 軍治 (日比谷)	2:52.8
3	大谷 勝 (法政二)	2:52.8
4	黒川 孝吉 (安房一)	2:54.6
5	佐藤 圭司 (慶應)	2:55.0
6	松永 辰一 (〃)	2:55.4

200米リレー

決 勝

1	木村・柴田・鈴木・井原 (伊東)	1:53.2
2	平田・大森・浅野・梶浦 (中京商)	1:55.4
3	倉橋・太田・鈴木・杉森 (濱松西)	1:57.0
4	武田・石川・木透・後藤 (佐渡)	1:57.0
5	遠藤・笹原・鈴木・中村 (沼津東)	1:58.4
6	庄司・粕谷・藤平・庄司 (安房一)	1:58.8

800米リレー

決 勝

1	木村・井原・鈴木・川口 (伊東)	9:32.2
2	大森・梶浦・平田・浅野 (中京商)	9:40.0
3	庄司・粕谷・宇山・庄司 (安房一)	9:50.0
4	上堀・足立・山下・神谷 (盤田農)	9:56.4
5	笹原・鈴木・鈴木・遠藤 (沼津藤)	10:02.4

6 鈴木・太田・倉橋・杉森
(濱松西) 10:11.2

10 佐渡高 5

5 清水 磊三 (櫻ヶ丘高) 56.11
6 高橋 政次 (智山高) 53.42

得点

1	伊東高	46
2	中京商高	39
3	安房一高	34
4	濱松西高	19
5	慶應高	18
6	日比谷高	10
6	法政二高	10
8	逗子開成高	9
9	濱松北高	8

飛込競技

1米飛板飛込決勝

1	石田 隆一 (名城大附属高)	73.24
2	向 勉 (慶應高)	62.73
3	木村 安晴 (慶應高)	62.37
4	川口 興博 (金澤市立工高)	61.65

3米飛板飛込決勝

1	清水 磊三 (櫻ヶ丘高)	59.92
2	石田 隆一 (名城大附属高)	57.93
3	向 勉 (慶應高)	54.99
4	中里 實 (東京實業高)	50.46
5	野上 務 (攻玉社高)	48.24
6	川口 与博 (金澤市立工高)	44.92

西部高等學校選手権水上競技大會評

吉田 嶺 吉

今年より復活された西部高校大会は炎天のもと 8 月 18-19 の両日奈良縣天理プールにおいて挙行された。最も印象に残つたことは九州勢が総得点の 6 割を奪ひ去つたことで、嘗て西部中等を分離した当時全国大会で合計点 10 数点しかとれず、中部東部の下で呻吟してゐた頃と対比して、その進歩に驚愕の眼をみはらざるをえない。昨年の国体での福岡の優勝と思ひ併せれば近年九州全土に亘つて水泳熱が非常な隆盛をみてゐることを裏書きするものであらう。

さて短距離は後藤(浮羽)の 1 人舞台に終つたが堂崎に今 1 歩の進歩がほしいところ、200 で 2 位 100 で 3 位に喰ひ込んだ新人古賀(傳習館)の活躍は長距離の 2 人とともに傳習館優勝の因をなしたものと いへる。後藤の予選に出した 59.8 2:13.0 は何れも高校生として鈴木(日大三高)に次ぐ好記録で、高校生として 1 分を割る者は絶えて久しくなかつたが久しく振はなかつた短距離界に何か新しい曙光がさし始めたのではなからうか。

長距離は高校大会の華であるが、この大会でもその例にもれず熱戦が展開され幾多の好記録が生れたまづ 400 は 200 までリードを奪つて積極戦法に出た新鋭青木(鹿本)を 300 から横田(傳習館)が抜きかへし、石橋(傳習館)、久保田(臼杵)と 4 人まで 5 分を割つて新記録を出せば、1500 は日本選手権に 19:18.2 の好記録を出した石橋が最初よりリードし青木、久保田、大野(伊都)が必死にこれを追ひ、

4 人とも 19 分 35 秒以内の素晴らしい力戦が繰りひろげられた。殊に正式計時できなかつたとはいへ 800 を 10 分 10 秒で入り、19 分 20 秒台の記録を確実に出せる様になつた石橋の実力は期して待つべきものがある。背泳は日本選手権に入賞した黒佐(佐伯鶴城)の独壇場と思ひきや、今年になつて慧星のごとくあらはれた元村(鹿本)の追撃物凄く遂に 100 では 0 秒 4 の差で黒佐を葬り選手権を奪つて行くといふ結果に終つたが、これも高校界の新陳代謝の激しさを物語る一面であつた。

更に平泳では今年よりバタフライを吸収して 1 本となつたが、入賞者のうちオーソドックスは 200 の 5 着 1 人しかなかつたばかりでなく、永らく 2 分 50 秒台で雌雄を決してゐた高校の水泳界が 40 秒台でなければ入賞が難しくなつたのは偏へにバタフライ隆盛の賜であらう。記録は 44 秒台に留つたが 3 年前始めて 200 を完泳した竹林地(明大)の功績が今や芽を吹き始めたといへる。体力にまかせて泳ぎの大きい田中(丹原)が兩種目の覇権を握つたが 43 秒の記録は高校生として昨年のトリオ梶川、清水、長沢に次ぐ好記録であり、次代を背負ふ強力なバタフライ泳者とならう。

800 米継泳の傳習館の 1 着は当然ながら、200 米継泳は個人種目に無得点だつた観音寺一高が選手権を握るといふ面白い結果となつたが、これは粒が揃つたといふよりもベテラン奥田、平井の進歩の止つ

たのを責めねばなるまい。

総じて日本高校界の水準よりみれば 今回の成果は賞讃すべきだが、昨年本年の米国の成績をみれば、こちらも安閑としておれない状態にあり 羅府大会当

時のやうに高校生が 代表選手の中枢を占めるまで進歩してほしいものであり、今一段の精進を高校生に期待して筆を措かう。

競 技 記 録

8月18-19日 天理プール(50米) 公認
(太字は大会新記録の最高)

競 泳 之 部

100 米自由形

準 決 勝

- A1 後藤 暢 (浮 羽) 1:02.2 (59.8)
- 2 加島 博 (白 杵) 1:03.4
- 3 猿渡 教昭 (山 鹿) 1:04.8
- B1 堂崎 治好 (瀬 戸 田) 1:03.0
- 2 中城 準二 (高 知 商) 1:04.0
- 3 堀内 良治 (伊 都) 1:04.0
- C1 清光 雄二 (戸 手) 1:02.8
- 2 古賀 學 (傳 習 館) 1:03.4
- 3 豊岡 良直 (關 學) 1:04.8

決 勝

- 1 後藤 暢 (浮 羽) 1:00.0
- 2 堂崎 治好 (瀬 戸 田) 1:02.0
- 3 古賀 學 (傳 習 館) 1:03.2
- 4 清水 雄二 (戸 手) 1:03.2
- 5 中城 準二 (高 知 商) 1:03.4
- 6 加島 博 (白 杵) 1:03.6

200 米自由形

準 決 勝

- A1 後藤 暢 (浮 羽) 2:21.4
- 2 猿渡 教昭 (山 鹿) 2:22.2
- 3 堂崎 治好 (瀬 戸 田) 2:25.0
- B1 清光 雄二 (戸 手) 2:21.4
- 2 堀内 良治 (伊 都) 2:23.0
- 3 牧野 輝之 (多 度 津) 2:24.2
- C1 加島 博 (白 杵) 2:21.8
- 2 古賀 學 (傳 習 館) 2:21.8
- 3 武崎 史行 (高 知 商) 2:22.0

決 勝

- 1 後藤 暢 (浮 羽) 2:14.2 (2:13.0)
- 2 古賀 學 (傳 習 館) 2:18.4
- 3 清光 雄二 (戸 手) 2:19.6
- 4 堀内 良治 (伊 都) 2:21.0
- 5 堂崎 治好 (瀬 戸 田) 2:21.0

6 武崎 史行 (高 知 商) 2:22.0

400 米自由形

準 決 勝

- A1 久保田 認 (白 杵) 5:01.6
- 2 平井 研吾 (觀 音 寺) 5:05.6
- 3 小島 幸晴 (和 歌 山 商) 5:07.0
- B1 横田 宣明 (傳 習 館) 5:02.0
- 2 菅 哲正 (佐 伯 鶴 城) 5:04.2
- 3 金谷 行男 (田 邊) 5:04.2
- C1 青木 行義 (鹿 本) 5:00.6
- 2 石橋 明 (傳 習 館) 5:00.8
- 3 大野 司 (伊 都) 5:03.0

決 勝

- 1 横田 宣明 (傳 習 館) 4:51.0
- 2 青木 行義 (鹿 本) 4:52.6
- 3 石橋 昭 (傳 習 館) 4:53.8
- 4 久保田 認 (白 杵) 4:56.4
- 5 大野 司 (伊 都) 5:02.4
- 6 菅 哲正 (佐 伯 鶴 城) 5:04.0

1500 米自由形

決 勝

- 1 石橋 明 (傳 習 館) 19:25.0
- 2 青木 行義 (鹿 本) 19:30.4
- 3 久保田 認 (白 杵) 19:33.4
- 4 大野 司 (伊 都) 19:34.6
- 5 横田 宣明 (傳 習 館) 20:08.8
- 6 金谷 雅弘 (田 邊) 20:13.0

50 米 背 泳

準 決 勝

- A1 黒佐 清 (佐 伯 鶴 城) 33.0
- 2 徳久 雅洋 (佐 賀) 34.2
- 3 中川 満 (大 手 前) 34.6
- B1 元村 昭夫 (鹿 本) 33.6
- 2 長谷 景治 (都 島 工) 34.0
- 3 白井 良明 (觀 音 寺 一) 35.0
- C1 高森 知之 (關 西) 33.8
- 2 岸本 脩 (關 學) 34.0
- 3 川野 英隆 (熊 本 商) 34.6

決 勝

- 1 黒佐 清 (佐 伯 鶴 城) 32.8

- 2 元村 昭夫 (鹿 本) 33.4
- 3 高森 知之 (關 西) 33.8
- 4 岸本 脩 (關 學) 34.0
- 5 長谷 景治 (都 島 工) 34.0
- 6 徳久 雅洋 (佐 賀) 34.2

100 米 背 泳

準 決 勝

- A1 元村 昭夫 (鹿 本) 1:12.8
- 2 山尾 弘 (奈 良) 1:15.6
- 3 徳久 雅洋 (佐 賀) 1:15.8
- 4 高森 知之 (關 西) 1:15.8
- B1 黒佐 清 (佐 伯 鶴 城) 1:13.4
- 2 川野 英隆 (熊 本 商) 1:14.4
- 3 長谷 景治 (都 島 工) 1:15.0
- 4 岸本 脩 (關 學) 1:16.2

決 勝

- 1 元村 昭夫 (鹿 本) 1:12.2
- 2 黒佐 清 (佐 伯 鶴 城) 1:12.6
- 3 川野 英隆 (熊 本 商) 1:14.2
- 4 長谷 景治 (都 島 工) 1:14.6
- 5 高森 知之 (關 西) 1:14.6
- 6 山尾 弘 (奈 良) 1:15.4

100 米 平 泳

準 決 勝

- A1 田中 守 (丹 原) 1:13.6
- 2 板井 道生 (白 杵) 1:13.6
- 3 松山 英男 (觀 音 寺 一) 1:15.6
- B1 松井小太郎 (宇 和 島) 1:15.0
- 2 池本 久志 (高 知 商) 1:16.8
- 3 中澤 潔 (國 泰 寺) 1:16.8
- C1 寺崎 博之 (三 瀨) 1:14.2
- 2 田村 福義 (高 知 商) 1:15.0
- 3 吉田 稔 (五 條) 1:15.4

決 勝

- 1 田中 守 (丹 原) 1:12.0
- 2 板井 道生 (白 杵) 1:13.6
- 3 寺崎 博之 (三 瀨) 1:14.4
- 4 田村 福義 (高 知 商) 1:15.0
- 5 松井小太郎 (宇 和 島) 1:15.2
- 6 吉田 稔 (五 條) 1:15.4

200米平泳

準決勝

- A 1 藤澤 健二 (阿 賀) 2:49.6
- 2 寺崎 博之 (三 瀨) 2:51.0
- 3 松井小太郎 (宇 和 島) 2:55.0
- B 1 田中 守 (丹 原) 2:48.0
- 2 戸上 雅夫 (三 瀨) 2:50.4
- 3 中村 研造 (郡 山) 2:55.0
- C 1 中澤 潔 (國 泰 寺) 2:50.0
- 2 板井 道生 (白 杵) 2:50.8
- 3 三谷康二郎 (高 知 商) 2:56.0

決勝

- 1 田中 守 (丹 原) 2:43.4
- 2 板井 道生 (白 杵) 2:47.8
- 3 藤澤 健二 (阿 賀) 2:47.8
- 4 戸上 雅夫 (三 瀨) 2:48.0
- 5 中澤 潔 (國 泰 寺) 2:49.4
- 6 松井小太郎 (宇 和 島) 2:51.6

200米リレー

決勝

- 1 西山・松山・奥田・岡田
(観音寺一) 1:53.4
- 2 池本・原・高田・中城
(高 知 商) 1:54.2

3 古賀・石橋・酒井・横田

(傳習館) 1:54.2

4 小倉・明日香・北岡・豊岡

(關 學) 1:55.4

5 田口・田原・久保田・加島

(白 杵) 1:55.4

6 瀧・野村・武林・黒佐

(佐伯鶴城) 1:56.6

800米リレー

決勝

1 酒井・石橋・古賀・横田

(傳習館) 9:29.6

2 中城・田所・原・武崎

(高 知 商) 9:37.4

3 川野・東・加島・久保田

(白 杵) 9:41.2

4 大野・青木・井端・堀内

(伊 都) 9:46.8

5 瀧・武林・黒佐・菅

(佐伯鶴城) 9:47.4

6 平井・松山・西山・奥田

(観音寺一) 9:53.6

得 点

- 1 (傳習館高) 40
- 2 (白 杵 高) 24
- 3 (鹿 本 高) 22
- 4 (高 知 高 商) 16
- 5 (佐伯鶴城高) 16
- 6 (浮 羽 高) 14
- 7 (丹 原 高) 14
- 8 (伊 都 高) 11
- 9 (観音寺一高) 8
- 10 (瀬戸田高) 7
- 10 (三 瀨 高) 7
- 10 (戸 手 高) 7

水 球 競 技

準決勝戦

- 福岡高 3 $\left\{ \begin{matrix} 2-1 \\ 1-1 \end{matrix} \right\}$ 2 西京高
- 済々黌高 15 $\left\{ \begin{matrix} 8-1 \\ 7-0 \end{matrix} \right\}$ 1 天王寺高

3位決定戦

- 西京高 12 $\left\{ \begin{matrix} 7-1 \\ 5-1 \end{matrix} \right\}$ 2 天王寺高

決勝戦

- 済々黌高 9 $\left\{ \begin{matrix} 7-2 \\ 2-1 \end{matrix} \right\}$ 3 福岡高

全日本ジュニア・レクリエーション大会

水上競技大会通信競技成績発表

本年はジュニア・レクリエーション大会 水上競技中央大会が開催不可能の爲め 加盟団体より都道府県大会の成績を 本部に御報告願ひ、その記録によつて各種目記録 10 位迄を選抜し 1 位 10 点以下 1 点宛減じ 10 位 1 点を与へ 得点最も多き学校を優勝として表彰することとした。

その結果次の通り、結果を得、9月24日 呉の国民体育大会 水上競技大会最終日に優勝校に対し、優勝トロフィーを授与した。

尙個人 10 位迄の者に対しては 賞状及び賞品を授与することになっている。詳細は次号に発表する。

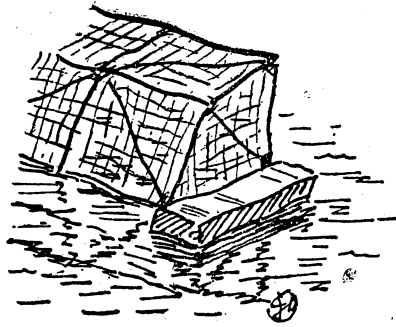
【男 子】

- 第 1 位 和田中学校 (千葉縣) 69 点

- 第 2 位 雄踏中学校 (静岡縣) 37 点
- 第 3 位 龍洋中学校 () 32 点
- 第 4 位 宇佐美中学校 () 29 点
- 第 5 位 郡山中学校 (奈良縣) 26 点
- 第 6 位 美々津中学校 (宮崎縣) 22 点

【女 子】

- 第 1 位 野原中学校 (奈良縣) 72 点
- 第 2 位 土佐第一中学校 (高知縣) 49 点
- 第 3 位 佐敷中学校 (熊本縣) 41 点
- 第 4 位 嘉島中学校 () 33 点
- 第 5 位 九度山中学校 (和歌山) 30 点
- 第 6 位 舞坂中学校 (静岡縣) 29 点 5



關東學生水球

リーグ戦を回顧して

藤 田 明

関東学生水球リーグ戦は、例年より約1ヶ月会期を繰り下げて開始され、正味6日間35試合のスケジュールを完了して7月2日其の幕を閉じた。最終日はケイト颱風の余波を食って荒天気味の悪コンディションであつたが、役員競技者の熱意と協力に依つて有終の美を飾つたのは喜ばしい。

全般的に見て水準が飛躍的に向上し、特に2部3部の諸校の競技能力が目立つて上昇したのは誠に力強く、戦争直前の黄金時代に近づいたことを思わせる。昨年迄は永年の慣習を踏襲して5月下旬から6月中旬にかけて挙行して居たためシーズンに入つてからの練習期間が短かく、痙攣を起したり浮いたりして試合進行を妨げた場合もまま見られたが、本年はルール改訂に依つて競技時間が倍加されたも関らず、どのチームも揃つて之をこなして居たのは、劃期的な進歩と言えよう。

従来2、3部のチーム中には、ゲームの運行はもとよりハンドリングも極めて未熟な競技者で編成されていたものもあつたが、本年は殆んど一掃されてどのゲームも興味深く観戦出来た。これは前記のシーズン繰下げに負うところが多いと共に、春のオリンピック準備合同練習に各校が眞剣な精進を傾けた好結果と見てよい。

1部では過去2年間第3位に甘んじていた慶応が一躍王座を奪還して万丈の気を吐いた。平井を日射病のためベンチに休ませながら豊富な持駒に物を言わせ、断然他と隔絶したチームバランスを有効且つ適切に駆使し得るコーチの得意や思ふ可しである。優勝を争つた早大との対戦では、先づすぐれたカバーリングと執拗なアタックで有利に戦いを進め、更にゴールゲッター小谷の好パートナー伊藤が、ゴール前の寸隙に左利き独特の猛威を發揮して会心の出来生えを示し相手の死命を制した。小谷が早稻田の新人田代の好マークに勢威を殺がれたにも関らず直ちに之にとつてかわる逸材を持つことは、他チー

ムの美望の的と言つてよい。又早稻田のエース安藤の俊敏な動きを完璧に近い迄に封じた田島の闘志と研究心には頭を下げずには居られない。

早稻田は6月上旬の早慶定期戦に敗れた後チームの改編に腐心した結果、見違える程の活力を吹き込むことに成功し一時は塾の心膽を寒からしめたが、窮余の一策に起用した浮游前衛の谷村が不調に終つたのは惜しまれる。バックワード必死の突進もゴール前の展開に欠けるところがあり、再三のチャンスを一逸して居たのは感心出来ない。得点能力の大半を荷負う安藤を常にシューティング・レインヂに置くことこそ、現在の早大にとつての鉄則ではあるまいか。

対立教戦に不作為とは言え、登録メンバー以外の者を出場せしめて没収試合を喫したのは大きな失態であつた。其の結果2勝2敗で日大と同点になり、得点率を比較した結果辛うじて第2位を保ち得たのは、早稻田が我国水球界の名門の一つであるだけに衷心惜しまれる。今後再びかかる汚点を印さないよう監督選手の細心の注意を要望して止まない。

ここ両3年斯界の名門早慶を下風に置いて水球に於ても学生界の覇者を誇つていた日大は、浜口を首班とする超弩級の大量卒業に、大半のメンバーを失つて寂寥を感じしめたが、流石に見事な立直りを見せて早慶に一泡吹かすところ迄行つたのは偉い。泳ぎもあり体力にも恵まれ、闘志も旺盛な好セブンで素質としては最も恵まれて居るので今後の成長を見守りたい。浜口が抜けたあとの攻撃力の回復が、焦眉の急であらう。

中大は慶応OB西谷神田両氏の指導を受けると共に早大と数回に亘る練習試合を敢行する等の眞摯な努力が報いられて、立派に地歩を確立したのは他の範と言つても過言ではない。法政、明治等由緒もあり、やればやり得る環境と人材を有する学校が、年々転落の一途を辿つて居るのに比べ、誠に対蹠的な

行き方で今後の成長が楽しめる。チームバランスに不足はないがヒリヒリと辛いところに欠ける憾みがあり今後この筋金を入れることが与えられた緊急課題だ。

立教は遂に2部陥落の憂目を甘受することとなつた。慶・早・日よりスケールが小さい上に精進に於ても中大に劣るのでは此の結果も止むを得まい。しかも今後余程禪を締め直さない限り1部復帰への道は遠い。2部の成城、成蹊には球歴の古い猛者が蟠居して居るからだ。遠くは田野先輩達の、近くは同校野球部の歩んだ道を思い出して欲しい。

2部では昨年転落した東大が優勝して1部に返り咲くこととなつた。水球を理解し且つ実践する点では流石に伝統の持味を活して居り、競技の進行にもそつがないが、水球の要素たる泳ぎに欠けているのは惜まれる。対成城戦では此の致命的欠陥を暴露して後半追いまくられたが、辛くも前半で得た5対1のリードを守り、1点差で逃げこむなど薄氷を踏む思いであつたらう。

成城、成蹊は共に忠実な動きをマスターした好チームだが、成城が泳ぎに強い丈け突進力に優り、3部から昇進した余勢を駆つて一躍2部を確保した。教育大、法政は他と比べて進歩の度が低く、3部優勝の学習院にはもとより、学芸大、工大、日体大にも脅威を受けずには居られまい。

3部優勝の学習院は断然たる強味を見せ、工大との一戦を除いては何れも10点以上の得点差を示し、今直ぐ2部で戦つても上位をねらえる実力を具備して居る。春の合同練習に最も熱心な態度を堅持した学校の一つであつた事を想起すれば、当然の帰結と言つて差支えない。

以上を総合すれば慶大、早大、日大のビッグスリーがAクラス。中大、立大、東大、成城大、成蹊大、学習院大がBクラス。残りがCクラスとなるが、此

の中でも明大と一橋大の古い歴史を持つ2校が一段劣勢にあるのは淋しいことだ。切に奮起を望んで止まない。又成城との一戦に電報一本で棄権を申し出で、相手に不本意の不戦勝を与へた法政は、向上と発展に飾られた今春のリーグ戦に瑕瑾をもたらしたもので、深い自責を感じなければなるまい。

技術的な点では一般にフオワードの決定力の欠除が目についた。バックシュートやループシュートは奇襲の利器で、之を濫用することは邪道と言うの外はない。好パスを送らんとする余り、無理な又無駄なキープを試みる風潮がはびこつて來ているのも戒心の要がある。バックワードのマーキングは長足の進歩を示し、特にフローティング・フオワードに対するゴールキーパーとの協力が定石化してきたのは大きな躍進だ。戦後ゴールキーパーの技術の進歩が特に遅かつたが、漸く好転しかかつて來たのは喜ばしい。ストッピング、セービングだけでなしに其に続くボールの処理が目立つて上手くなつた。ゴールキーパーの上達は、フオワードのシュート力の育成強化に直接大きな影響力を持つことを思えば、此の傾向は見事な結果と言つてよい。早大、慶大、中大、成蹊大、工大等何れも捨て難いゴールキーパーを擁しているが、特に早稲田の飯田は凡ゆる点で他に抜んで居る好プレーヤーと言えよう。今後の研鑽と精進次第では、先人の拓き得なかつた境地に到達することも期待せられ、大きな楽しみをいだかせ

る。ゲームが著しくフェア化したことは最高の収穫と見られるが、これにはレフェリーの苦心と研究があづかつて力がある。これに反してゴールジャッジのお粗末なことは全くお話にならない。試合進行中ボールサイドからコーチしたり、見苦しい声援を送る弊風と共に一掃したいと思ふのは、独り筆者のみ、はあるまい。

参加校

1部	日本大學	早稲田大學
	慶應義塾大學	立教大學
	中央大學	
2部	東京大學	東京教育大學
	法政大學	成蹊大學
	成城大學	
3部	明治大學	東京學藝大學

學習院大學 一橋大學
東京工業大學 日本体育大學

戦績

6月23日(土) 早大プール

明大 4 { $\begin{matrix} 2-5 \\ 2-5 \end{matrix} \}$ 10 日体大
審判 安藤

學藝大 16 { $\begin{matrix} 7-2 \\ 9-2 \end{matrix} \}$ 4 一橋大
審判 池田

東大 19 { $\begin{matrix} 11-0 \\ 8-0 \end{matrix} \}$ 0 法大
審判

成蹊大 7 { $\begin{matrix} 5-1 \\ 2-1 \end{matrix} \}$ 2 教育大
審判 藤岡

中大 1 { 0-2 / 1-5 } 7 日大
審判 勝村

慶大 10 { 4-1 / 6-0 } 1 立大
審判 藤岡

6月24日(日) 早大プール

明大 5 { 4-4 / 1-3 } 7 東工大
審判 池田

學藝大 13 { 5-5 / 8-3 } 8 日体大
審判

教育大 2 { 0-7 / 2-6 } 13 成城大
審判 藤岡

東大 7 { 5-3 / 2-1 } 4 成蹊大
審判 藤岡

東工大 3 { 1-3 / 2-5 } 8 學習大
審判

明大 7 { 3-2 / 4-1 } 3 一橋大
審判 豊田

立大 1 { 1-6 / 0-8 } 14 日大
審判 藤岡

中大 0 { 0-7 / 0-5 } 12 早大
審判 鴫田

6月27日(水) 慶大プール

明大 3 { 0-4 / 3-4 } 8 學藝大
審判 池田

學習大 22 { 9-1 / 13-1 } 2 日体大
審判 丸笹

一橋大 6 { 3-8 / 3-5 } 13 東工大
審判 加藤

6月30日(土) 早大プール

學習大 28 { 13-1 / 15-0 } 1 一橋大
審判 豊田

日体大 2 { 1-4 / 1-4 } 8 東工大
審判 丸笹

法大 3 { 0-8 / 3-3 } 11 成蹊大
審判 鴫田

東大 7 { 5-1 / 2-5 } 6 成蹊大
審判

慶大 10 { 5-4 / 5-3 } 7 日大
審判 和田

早大 9 { 5-1 / 4-0 } 1 立大
審判 神田

7月1日(日) 早大プール

學藝大 7 { 3-2 / 4-1 } 3 東工大
審判 丸笹

學習大 15 { 8-0 / 7-1 } 1 明大
審判 池田

日体大 9 { 5-2 / 4-1 } 3 一橋大
審判 丸笹

成蹊大 — 法大
成蹊大不戦勝

東大 12 { 6-0 / 6-3 } 3 教育大
審判

學藝大 1 { 1-4 / 0-8 } 12 學習大
審判 豊田

立大 2 { 0-4 / 2-2 } 6 中大
審判 神田

早大 1 { 0-1 / 1-2 } 3 慶大
審判 和田

7月2日(月) 早大プール

法大 3 { 1-2 / 2-1 } 3 教育大

法大 1 { 0-1 / 1-2 } 3 教育大
審判 豊田

慶大 16 { 6-0 / 10-0 } 0 中大
審判 藤岡

成蹊大 7 { 3-2 / 4-3 } 5 成蹊大
審判 神田

早大 5 { 2-1 / 3-2 } 3 日大
審判 和田

第1部

- 1 慶大
- 2 早大
- 3 日大
- 4 中大
- 5 立大

第2部

- 1 東大

第3部

- 1 學習院大

オリンピック候補選手決定

8月12日日本選手権大会終了後次の38名を決定

男子競泳

自由形

濱口 喜博(日本鋼管) 鈴木 弘(日大三高)
西 擴(明 大) 古橋廣之進(大同毛織)
田中 純夫(早 大) 後藤 暢(浮羽高)
田中 寧夫(早 大) 橋爪 四郎(A・I・U)
田造 勝美(早 大) 川口 義和(明 大)
石橋 明(傳習館高)

平 泳

梶川 孝義(早 大) 山本 正雄(日 大)
宇田久壽秀(富士製鉄) 平山 綽保(日 大)

背 泳

西野 泰正(日大出) 倉橋 範彦(浜松西高)
芦田 拓郎(早 大)

女子競泳

自由形

新子 富子(天理大) 山下 貞子(五條高)
田村美佐子(伊都高) 宮崎 亮子(五條高)
平 泳 青木 政代(伊都高)
背 泳 野口 幸子(相愛高)

男子飛込

毛利 勝一(日 大) 久保 欣治(早大出)
馬淵 良(日大三高)

女子飛込

坂口 修子(関西飛込少)

水 球

松本 稜(慶大出) 神田 明善(慶大出)
小谷 敏二(慶大出) 小谷 保二(慶大出)
奥田精一郎(早大出) 田島 直季(慶大)
平井 顯吉(慶大) 植中 耕一(慶大)
葉室 鉄夫(日大出) 田代 二生(早大)

10月24日第2回選考委員会を開き次の34名を追加決定

男子競泳

自由形

野間 隆彦(東 大) 吉村 健三(明 大)
山本 新吾(関 大) 谷 訥(早 高)
谷川禎次郎(日 大) 青山 幸郎(慶 大)
田中 武(立 大) 杉原 満弘(早 大)
香川 義英(中野高) 安岡 信雄(日 大)
川畑 彌(日 大) 北村 康雄(早 大)
浅野 満(中京商) 久保田 認(白杵高)
青木 行義(鹿本高) 高橋 勝(慶 大)

平 泳

田中 守(丹原高) 萩原 孝男(日 大)
水貝 利重(早 大)

背 泳

山本 速水(関学大) 黒佐 清(佐伯鶴城高)
中島 雅好(早 大)

女子競泳

自由形

大石 康子(天理大)

平 泳

坂本 和子(五條高)

背 泳

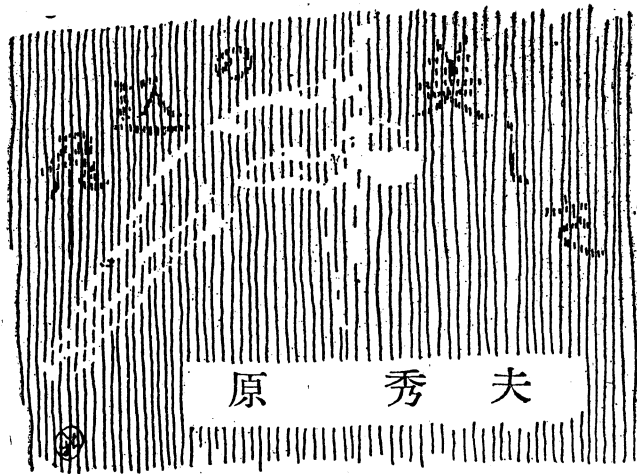
片岡 澄子(天理大)

男子飛込

馬場 豊(神戸高)

水 球

名取 正也(慶大出) 安藤 實(早 大)
藤野 孝一(慶大) 谷村英三郎(早 大)
五十木貞三郎(慶大出) 谷脇 登(日 大)
藤岡 達昇(早大出) 飯田俊太郎(早 大)
以上



今更「飛込の美しさ」などと更まると一寸不思議に思へるかも知れないが、実際に一般のスポーツ関係者が「飛込」について持つてゐる感覚が、時々少し違つてゐるなあと云ふ印象を此の1、2年の間に度々受けたので少し書いて見たい。先づ始めに、飛込が、スポーツ的でなく「ショー」的に見られ易いと云ふ点である。

之は競泳の様に少しでも早く泳いだ方が勝つ所謂「量」の競技に対して、飛込の優劣を決する最大の要素が「どちらが美しいか」と云ふ「質」の競技である点から当然である。処がこの当然である点が、より特徴づけられすぎて飛込を見る者も、又飛込を練習する者さへもが何等の間にか飛込の持つスポーツ的な「強い」面を忘れてしまふ傾向がある。私に云はせれば100米の競泳で58秒で1着になつてゴールインするのは、非常に美しいから評点を付ける

と九点になる。夏の夕の神宮プールのライトの下に豪快に水飛沫を挙げて他の泳者を引離して「ゴールイン」する。全く綺麗だ。9点以上をつける事に恐らく誰も異存はあるまい。処が成績は、1着〇〇君タイム〇〇秒と記録で量で発表されるので、見てゐる者の頭からは、何時の間にか美しさの要素が表面から隠れてしまふのである。

処が「飛込」では之と正反対である。

軽快な助走踏切に連れて10米の「2回半宙返り」が見事に飛ばれる、観てゐる者はみんな素晴らしいなあとと思ふ。勿論之では競技にならないから審判員が質を量に換算する間に8点ときめ点数を挙げるが、矢張り一般には、ああ美しかつたと云ふ質の印象が残つてその奥に隠れてゐる「力」の要素は殆んど忘れられてしまふ。処がこの隠れ見えない量をよく考へるとこれが実は大変なのである。10米の1日の練習回数を200回として梯子を登るだけで、2,000米それから空中に飛んで、入水すると4.5米の水底へもぐる。水圧と闘ひながら表面へ浮き上つて急いでオーバーフロー迄泳ぐ、プールの「へり」に手を掛ける、昇る、この様な練習を少くとも1年以上続けた選手でなくては「2回半宙返り」8点の点数は取れない。だから若し之の飛込選手の10米から踏切つた「高さ」「巾」を他の人々の飛込する其れに比較すると始めて其の足の非常な強さが分るのである。

スポーツの美しさは先づ第一番に「強く」なくてはならない。強く、泳が巧くて、速いから世界記

… 落穂 …

新種目「駢レース」

水連最高幹部のM氏とF氏は体も大きい駢も大きいとの評判である。私はこれが噂だけでない事をここに証明する。

時は国体呉の宿舍、両氏と私が玄関脇の10畳で床に入つたのは11時頃である。両氏とも1パイ開し召して中々の上機嫌である。名にしおう両氏であるから私は一刻も早く眠ろうと思つたがトンデモハツブン、F氏横になるが早いか駢のスタート正にフライング気味

である。スタートから中々好調で相当豪壯なものである。もういけなかつた瞬間髪を入れずM氏のスタート、こりや凄、吾々の想像をはるかに絶している。駢なんて感じのものでは到底ない。そのたびに唐紙がビリツビリツとふるえるのである。勿論往復であるF氏の方がピッチはやや早いとその豪壯さに於てM氏の敵ではない……かねてやるやるとは聞いていましたがこうまでやるとは知らなんだ……さつき誰かが繰返し言つていた言葉を思い出して私は苦笑したのである。

こうして私は世にも驚くべき怪音に脅えているうち2時頃である玄関を叩く音、続いてアチラ語で叫ぶ声がしばらく続いた、女中さんは馴つこどと見えて出てこない両氏の駢もピタと止んだ、玄関を蹴る音怒声は益々大きくなつてくる。私はこの静かなる機会?に夢路を辿つたらしいのである。私の夢は先日子供と見た猛獣映画の夢であつた。果しないジャングルや草原を私は歩いている、絶えず猛獣の咆哮が聞えてくるが、やがて獅子に出遇つて追いかけれ驚いて目を覚めた、玄関は既に静まり

録も出る。見ても素晴らしく美しいのだ。「飛込」だつて勿論之以外の何物でもない。だから美しい飛込は先づ強い飛込でなければならないと云ふ点を先づ理解して欲しい。そして一見「ショー的」要素だけの様に見える「飛込」が実は内に多分に「スポーツ的」な力を藏してゐる点を分つて見て戴き度い。「ショー的飛込」と「飛込競技」との異ひの第2は一言で云へば「飛込ショー」は無規則無秩序であるのに対して、飛込競技は人格的に、立派なスポーツマンが全世界共通に定められた F・I・N・A の飛込競技規則の下で、正しく技を競ふと云ふ事である。従つてこの点は「体操」と「軽業」の相違の場合と略同様と云へる。特に後へ廻る事が得意な人間に、特別なその事ばかりの訓練をし、後宙返りの仕易い様な身体に作り上げる。当人はそれを唯一の生活の糧として人間的な教養などはそつちのけにして一途に進むのである。そしてその人間を最も廻転のやり易い様な、環境と設備を与えてやらした場合、人間が空中で何回位廻れる様になるものか？、勿論之も非常に興味のある事ではあるが「スポーツ的なもの」「飛込競技」とは自ら異つてゐるわけである。

「飛込競技」はスポーツだから先づ前宙返の群、後宙返りの群、逆宙返りの群、等々 6 群に分れたものを全部やらねばならない。次に晴れた暑い日ならば身体の「ダルサ」を雨の寒い日ならば筋肉の「ケイレン」を乗り越えて立派に飛ばねばならない。

然も其れ以前にアマチュアとして当然守らねば

ならぬ。人格的、規則的な面がたくさんある。だから若し飛込競技で 8 点 9 点と云ふ高点を採らうとするならば、先づ最低次の要素を絶対に具えてゐる必要がある。

第1に、台の開始の位置に立つた時の、身体の美しさである。男なら 100 米を 13 秒位、砲丸を 11 米位は投げられるだろう様な脚と腕を持ち、然も其の身体が十分に泳ぎ込まれて好い意味の「ヘルクレス」型に張り切つてゐる姿である。

次に飛込が規則正しく然も充分の餘裕を持つて完了する。之迄で一応全てである様に思えるが次の飛込を考えると実はそうでない。底を蹴つて水から上る時に、なかなか重要な見せ場がある。少くとも最初に飛込台上に立つた時位の緊張と颯爽さを持つて水面上に顔を出し、水を切つてプール側へ泳ぎ着く胸を張つて自分の控へ位置に戻る。顔をふいたり、水着を直したりするのは、之以後でなくてはならない。何故なればこの一つの飛込後の印象がそのまま次の飛込に続くものだからである。競泳だつてさうだろう。一流の選手はプールに現れた時から、控へ室に戻る時迄が一つの名画だ、そして実に堂々としてゐる。だからその見事な泳ぎの結果に記録に人々が感激するのだ。「スポーツ」と「ショー」の異ひはこんな処にも多分に藏されてゐる。「ヘルシンキ」では飛込競技でも「日の丸」を之が飛込関係者の唯一、無二の道である。強く、男々しく進むべきだ。

両氏の躰が唐紙を震しているのみである。

私は昨晚汽車で睡眠不足である又うとうととする、さきの続きの夢を見る。もう精神は朦朧として夢と現実がごちゃごちゃになつてしまつた。私が眞の眠りについたのは夜明けの 6 時である。なぜなれば両氏が 6 時に目を覚ましたということだから……私をおこした女中さんは「よくお寝みで」と驚いていた、目を覚ましてもボンヤリ布団の上に座つてゐる私の耳に食事しながら話しているらしい M 氏の声が聞えて來た。「おいゆう

べは玄関がうるさくて眠れなかつたなあ」……よう云わんわ。

両氏が絶対に評判倒れてなかつた事を重ねてここに保證する。

(T.S.)

どつちが会長

田畑会長躰が高い点でも会長の貫祿充分との噂であるが、同じ部屋に寝ることになつた深谷理事、眠りはぐつたら大変と先に寝てしまつた。

田畑会長翌朝「ゆうべは寝ようと思つたら深谷君の躰が高くて眠

れなかつたよ」深谷理事口惜しがつて、今度一緒に寝る時には録音機を持つて來る。

お寒いのは

汽車の中、夜が更けると一寸冷える目を覚ました西本学生会長「おいヤツペ(清水康男氏)寒くなつた何かかけるものを貸せ」「ハイ」出されたのは何と帽子に西本学生会長、見事に光つた頭をつるりとなせて「馬鹿野郎ハッタオスゾ」

長 距 離 選 手 の 分 類

坂 本 亮 四 郎

第三回日米対抗競技は、意外とする程の大敗を喫し、水上日本のお家芸である長距離も橋爪選手の不調と伏兵紺野のために思はぬ苦杯を嘗めたが、陸上競技における北欧の長距離の如き地位にあるわが中長距離の歴史を更めて顧みればやはり世界に冠絶している。

質と量において既に 1500 米に 20 分を割る者 43 名、800 米に 10:20.0 以内 41 名又 400 米 4:56.0 以内 64 名を算し、この内半数以上は戦後のものが占めその充実した偉容はすばらしいものである。

この陣容を構成する個々の選手については、その泳法、体質等の相違によつて、距離の長くなる程得意とする者、中距離向きの者、或は各種目に均衡した力を有する選手等種々雑多であるが、これを仔細に分析検討して見ると大体において耐久型、均衡型、非耐久型（中距離型）及び均衡型の中で比較的耐久型に近い準均衡型とでも称すべきものの四つの型に区分できるようである。

次の表は前記タイムを標準として戦前戦後を通じてベストタイムにおいてそれ以上の実力を発揮した選手 51 名を選抜して、以下の方法によつて計算したものである

イ、400、800 及び 1500 米の各 100 米平均タイムを算出

ロ、400 の 100 米平均タイムに対する 800 及び 1500 の 100 米平均タイムの比率

耐 久 型

姓 名	400米	800米	1500米
橋爪 四郎	4:42.0	※ 9:40.0(97.2)	18:32.6(95.0)
東 昇	4:43.4	※ 9:46.6(96.6)	18:47.2(94.3)
天野 富勝	4:47.4	※ 9:54.2(96.7)	18:58.8(94.6)
北村久壽雄	4:49.6	※10:02.6(96.2)	19:08.0(94.6)
寺田 登	4:50.8	※10:00.5(96.9)	19:13.7(94.5)
川口 義和	4:51.0	※10:01.0(96.8)	19:12.4(94.7)
石橋 明	4:53.0	※10:05.2(96.8)	19:18.2(94.9)
本田惣一郎	4:54.8	10:14.4(96.0)	19:33.0(94.2)
川口 友平	4:54.8	※10:20.2(95.1)	19:37.6(94.4)

酒井 孝一	4:55.6	※10:15.0(96.1)	19:37.2(94.2)
片山 崇	4:55.8	10:12.0(96.7)	19:41.8(93.9)
越戸 優一	4:58.2	△10:19.0(96.3)	19:47.6(94.2)

準 均 衡 型

古橋廣之進	4:33.0	9:35.5(94.9)	18:19.0(93.2)
田中 純夫	4:47.2	10:11.6(93.9)	19:15.4(93.2)
田造 勝美	4:47.8	10:02.6(95.5)	19:08.2(94.0)
石原田 愿	4:48.0	10:03.2(95.4)	19:12.0(93.8)
川畑 彌	4:48.8	10:06.2(95.3)	19:24.2(93.0)
久保田 認	4:51.6	※10:16.0(94.7)	19:25.0(93.9)
青木 行義	4:52.6	※10:12.6(95.5)	19:27.8(94.0)
竹内 定夫	4:54.0	10:11.0(96.2)	19:39.8(93.4)
黒田 清略	4:55.4	※10:21.8(95.1)	19:40.8(93.8)
宇田 守榮	4:55.6	※10:15.8(96.0)	19:43.8(93.6)
浅野 俊夫	4:57.0	10:15.8(96.5)	20:00.4(92.8)
永見 達明	4:58.6	10:18.4(96.6)	19:59.4(93.4)

均 衡 型

田中 寧夫	4:40.4	※ 9:47.2(95.5)	18:59.6(92.3)
根上 博	4:45.2	※ 9:59.2(95.2)	19:13.2(92.7)
牧野 正藏	4:45.4	9:55.8(95.8)	19:14.1(92.7)
村山 修一	4:46.6	10:07.0(94.7)	19:27.2(92.4)
田中 英作	4:48.4	※10:05.8(95.2)	19:31.6(92.3)
津田 國男	4:49.8	10:11.0(94.8)	19:31.6(92.8)
北村 康雄	4:50.0	10:09.4(95.2)	19:36.4(92.4)
本山 昌平	4:50.4	※10:09.2(95.3)	19:35.6(92.3)
藤野 健三	4:51.0	10:09.6(95.5)	19:34.4(92.9)
本間 俊夫	4:51.0	10:10.4(95.3)	19:34.4(92.9)
鷹野 强	4:53.6	10:26.6(93.7)	19:48.4(92.6)
庄司 政雄	4:54.0	10:14.6(95.7)	19:58.4(92.0)

非 耐 久 型

安岡 信雄	4:45.4	10:11.8(93.3)	19:44.0(90.4)
鶴藤 俊平	4:45.5	10:04.6(94.4)	19:34.5(91.2)
浅野 満	4:47.2	×10:07.4(94.6)	19:53.8(90.2)
高橋 弘	4:48.0	10:05.2(95.2)	19:37.8(91.7)
岩合 傳	4:49.8	×10:20.2(93.5)	20:05.2(90.2)
杉浦 貞夫	4:50.4	10:11.0(95.1)	20:01.0(90.6)
横山 隆志	4:50.6	※10:24.2(93.1)	20:03.4(90.6)
高橋 勝	4:50.8	10:16.8(94.3)	20:20.2(89.4)
横田 宣明	4:51.0	10:19.6(93.9)	×20:05.2(90.5)

松岡 定義	4:51.4	10:13.2(95.0)	×20:20.4(89.5)
松山 正一	4:51.8	10:16.8(93.4)	19:53.8(91.7)
林 法生	4:52.0	10:12.4(95.4)	20:19.6(89.8)
石丸 宗介	4:53.2	10:19.0(94.7)	20:08.2(90.6)
濱田 芳夫	4:54.4	10:12.2(96.2)	20:11.4(91.1)
堀 勝美	4:54.8	10:20.2(95.1)	×20:11.7(91.4)

- 備考 1. ※……1500米スプリットタイムより5秒を減ず
 2. △……1500米推定スプリットタイムより5秒を減ず
 3. ×……非公式記録
 4. 括弧内は比率

	800 米		1500 米	
	%	%	%	%
耐久型	96	~ 97	94	~ 95
準均衡型	95	~ 96.5	93	~ 94
均衡型	94.8	~ 96	92	~ 93
非耐久型	93.3	~ 95.5	89.5	~ 92

上記の区分は始めから意識的に分類したものではなく1500の実力は同等であつても400となると相当の隔りのある者、又はその反対の立場にある選手間の関係を調査するため各選手の比率を計算して色々に編成を行つた末四つの型となつたのであるが、偶然にも1500の比率が92%未満未満、93%未満及び94%以上と簡単に区分したものと同一の結果となつた。

この表によつて気のついた点を以下断片的に記して見よう。

第一に目につくのは1500の途中800の記録が、800レースの記録よりも優秀なものが余りにも多く又それが大部分公認されていないことである。橋爪東、北村兄、寺田、久保田、越戸及び黒田等がそれであり、田中寧、天野、根上、田中純、酒井、宇田及び横山等は途中時間と大差がない。選手にも気の毒であり連盟としても甚だ不合理な措置である。天野の全盛時代に正式計時したことがあり、田中英作の800のベストタイムが示すように前例のあることであるから1500の途中800は是非とも正式計時を実施して頂きたい。

この事は筆者の年來の希望であつたが漸く本年の日本高校から実施の運びとなり、日本選手権にもこの措置が採られていたら尚よかつたのであるが、兎に角喜ばしいことで今後も続けて貰いたいものである。

耐久型の選手は概して1500に重点を置く者が多

く、距離と時間をかけないと調子が出ないのか距離が短くなるに従つて次第に精彩を欠く憾みがある。

800は兎に角400は総体に見劣りがする。この原因は400に対する研究不足の結果であらう。強敵とせり合つた場合も不利でダツシユの練習の必要があるようだ。

51名の精鋭が四型に割合平均して分類されているが、長距離選手としては均衡型が理想的で本格的なものと思はれる。

この表はベストタイムに拠つたため、中距離又は短距離に進出後その全盛期を迎へ、1500又は800に残した記録と400のそれとの間に期間的なズレを生じている者が非耐久型と均衡型に多い。横山、岩合村山及び津田等。

非耐久型の選手は既に長距離泳者としては寿命が來ているのであるから潔よく中距離に転出する方が得策であらう。

同じ型に屬し又タイム、比率ともに相似の選手が数組ある。

(寺田 (本 田 (石原田 (竹 内 (根 上
 (川口義 (酒 井 (田 造 (宇 田 (牧 野
 (本 山 (本 間 (横 山 (林
 (北村康 (藤 野 (岩 合 (松 岡

現役選手23名中他の種目に比して特に不均衡の目立つのは、橋爪の400、田中純、川口友、久保田鷹野の800、松岡、林、高橋勝の1500である。

橋爪の800、1500の比率は全員中最高で物凄いスタミナを藏しているが、これはいひ換えれば400が甚だ落ちるといふことである。800の耐久型の比率の中間96.5%から400のタイムを逆算すると4:39.8となり、又1500の中間のそれは4:40.4となる。1500の途中4:45.0をマークした彼として40.0を切れないのは不思議である。

田中純は暫く800を泳いでないが03.0位の実力はある筈である。

川口、久保田、鷹野は近年高校選手権に800がなくなつたので無理もないが1500の比率から計算すれば久保田08.0、鷹野14.0位となる。川口は既に峠を過ぎた感があるので割愛する。

林は1500に余り出現していないが20:00.0を少し切る位でないだらうか。松岡、高橋はともに中距離向きである。

躍進途上にある選手で今後型が移動しそうなのは北村康、庄司が準均衡型に、久保田、青木が耐久型

に変わるのではないだろうか。

最後に各型の比率の中間を探つて、これによつて各型の各種目の標準的なタイムを計算して見ると次の通りである。

800 米

	耐久型	準均衡型	均衡型	非耐久型
5:02.0	10:26.0	10:31.0	10:33.0	10:40.0
4:56.0	10:13.0	10:18.0	10:21.0	10:27.0
4:50.0	10:01.0	10:06.0	10:08.0	10:14.0
4:44.0	9:49.0	9:53.0	9:55.0	10:02.0
4:38.0	9:36.0	9:41.0	9:43.0	9:49.0
4:32.0	9:24.0	9:28.0	9:30.0	9:36.0
4:26.0	9:11.0	9:16.0	9:18.0	9:24.0

1500 米

5:02.0	19:58.0	20:11.0	20:24.0	20,49.0
4:56.0	19:35.0	19:47.0	20:00.0	20:24.0
4:50.0	19:11.0	19:23.0	19:36.0	19:59.0
4:44.0	18:47.0	18:59.0	19:11.0	19:34.0
4:38.0	18:23.0	18:35.0	18:47.0	19:09.0
4:32.0	17:59.0	18:11.0	18:24.0	18:45.0
4:26.0	17:36.0	17:47.0	17:58.0	18:20.0

以上は各選手のベストタイムによる計算であるから絶体的なものではないことは勿論である。各自の力は不動のものではなくその時の調子に左右されるのであるが、大体の傾向を判断する数字的な一方法として試算を発表して御批判を乞ふ次第である。

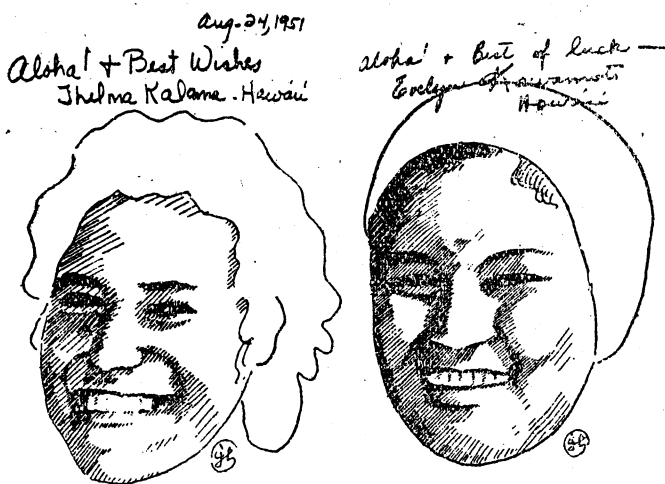
テルマ・カラマ の 来 訪

- 8月4日 羽田着 雅緻園泊、夜水連主催歓迎会出席(幸樂)
- 8月5日 特急「はと」で大阪え、浪花ホテル泊
- 8月6,7,8,9日 練習
- 8月10,11,12日 日本選手権水上競技大会に出場
- 8月13日 京都見物、京都水泳連盟の午餐会出席、大津にてエキジビション琵琶湖遊覧、大津市の歓迎会出席
- 8月14日 奈良見物、丹波市え
- 8月15日 大阪え、休養



左テルマ・カラマ 右エヴリン・川本嬢

- 8月16日 寶塚歌劇見物
- 8月17日 特急「つばめ」で熱海え、箱根泊
- 8月18日 帰京
- 8月19日 神宮プールにて練習、夜歌舞伎座見物
- 8月20日 日光見物
- 8月21日 帰京
- 8月22日 休養
- 8月23,24日 日本高等学校選手権水上競技大会に番外出場
- 8月25日 水連主催送別会出席(光臨閣)高松宮両殿下御出席
- 8月26日 羽田発



天理プール合宿記

小池禮三

1、目的 今度の合宿の目的は冬期、春期、2回の高校生強化合宿に参加した選手（大学に進学した者を除く）とそれに標準記録を超えた選手を加えて地方予選を経ることなく全日本選手権に参加する便宜を与えて此の機会に冬、春2回の合宿の効果と今度の合宿の成果を合せて選手権大会に総決算する意味で行つたものである。

2、時期 今度の高校生の夏期合宿練習の時期については日本選手権の前に行ふのとインターハイ終了後にゆつくりした気持で実施するのと二通り考えられたのであるが結局大きな目標のある前の方が良いとの見解に基づいてその通りに実施したのである。之れは現在の高校生が此の機会に強くなるオリンピック候補に撰ばれようとする意欲に燃えてゐる時だつたので時期としては一応成功だつた様に思ふ。

3、場所 場所としては選手権開催地たる大阪に近くそして充分使用出来るといふ意味で天理プールを選んだのであるが之れも天理から大阪まで約一時間余、プールは殆んど専用といつてもよい位充分使用出来たし又宿舍も天理教の好意で高安大教会の親切な御世話になることが出来、その他奈良縣水泳連盟や近鉄などにも便宜を計つて頂くことが出来此の程の合宿練習の条件としては満点だつた。

4、練習経過 練習経過としては全般的に見て調子の出方が非常に早く鈴木君などは合宿4日目位にすでに58秒で泳いだしその他の連中もこの頃から自分のベストを記録してゐる様なわけで選手権の時はどちらかと云へば下り目であつた様に思ふ。これには場所として唯一の缺点であつた水温、気温が非常に高く充分睡眠などがとれなかつたことも原因してゐたのではなからうかとも思つてゐる。それでも自由形は長距離短距離共比較的好調で選手権大会まで大体その調子を持ち続けることが出来た。背泳は記録的に今一步といふところを踏み切ることが出来なかつたが、選手権で倉橋君が10秒を切つたのは偉かつた。平泳は梶川君がシリのオデキで充分練習

出来なかつたのに37秒台はその体力の素晴らしいのに驚いた。板井君なども2分41,2秒で泳いでゐたが試合では練習記録を出すことが出来なかつたのは残念だつた。田中君は合宿前病気で練習が出来てゐなかつたので始めは皆んなについてゆけなかつたが、泳ぎ込むに従つて力を増して来て選手権では好成績を収めた。今度の練習経過で感じたことはみんなが合宿前に相当と泳ぎ込んでゐるので予定したより早く調子を出すといふことで此の様な機会があれば必ず自分のベストを出すことに気分が大いに作用するといふことだつた。最後に学校別の成績として安房高の連中が対抗試合や関東高校などの試合の連続のためかオーバーワーク気味で事故者が多かつたのは気の毒であつた。

5、其他

1. 地方予選などの関係で参加状態悪く、正式の合宿練習に入るのを延すことになつたのだが、出来る丈こうゆう催しにはスタートが大切故今後この様な事のない様にして欲しい。
3. 食事の点では相當注意した積りだつたが盛り切りめしは疲労気味の時でも慥性で平げるから思い切つて減らした方がよい様に思ふ。
3. 酷暑時の練習は練習も大切であるが、休養第一に心損ける必要上充分休める様にしたが如何せん毎日37、8度の温度は高かつた様だ。
4. 天理の町に赤痢患者が相当出て心配したが宿舍の方の嚴重な注意で事なきを得た。
尙前號と重複するが本合宿の要項を次に書き置こう。

1. 期 日 自昭和26年7月29日（日）
至 8月12日（日）
2. 場 所 奈良縣 天理プール
3. 集 合 日時—昭和26年7月29日 午後6時
場所—奈良縣丹波市町 天理プール
4. 指 導 員 日本水泳連盟 オリンピック・コーチング・スタッフ
委員長 清川正二（背泳担当）
委員 小池禮三（平泳）

- 〃 遊佐正憲 (自、短ク)
- 〃 牧野正藏 (自、長ク)
- 〃 原 秀夫 (マネージャー兼トレーナー)

5. 参加選手

A. 昭和26年7月現在に於て 高校又は中学校に在学せる選手にして 日本水泳連盟本部より推薦せる下記選手。

自由形

鈴木	弘	(日大三高)
後藤	暢	(浮羽高)
谷	訥	(早 高)
堂崎	治好	(瀬戸田高) (病欠)
庄司	嘉宏	(安房一高)
浅野	満	(中京商高)
川口	友平	(伊東高)
粕谷	保	(安房一高)
石橋	明	(傳習館)
横田	宣明	(傳習館)
香川	義英	(中野高)

平 泳

梶川	孝義	(早 高)
田中	守	(丹原高)

背 泳

倉橋	範彦	(浜西高)
大久保	憲二	(逗子開成)
黒佐	清	(佐伯一高)
近藤	久仁正	(中京商高)
關川	重久	(早 高)
和氣	壽彦	(慶 高)

B. 本年度公式競技会又は 公式記録会に於て 次の標準記録を突破し、該大会の統轄加盟団体より推薦せられ 水連本部より承認せられた選手。

自由形

庄司	政雄	(安房一高)
青木	行義	(鹿本高)
久保田	認	(臼杵高)

平 泳

北澤	軍治	(日比谷高)
板井	道生	(臼杵高)
黒川	孝吉	(安房一)
高柳	昌弘	(浜松西)
石井	弘	(安房一高)
中村	研造	(郡山高)

背 泳

元村	昭夫	(鹿本高)
川野	英隆	(熊本商高)
中村	学	(明治高)
山尾	弘	(奈良高)

標準記録

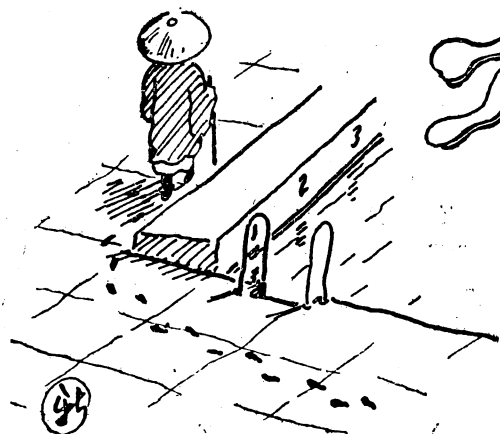
	50米 プール の場合	25米 プール の場合	
自由形	100米	62.8	61.2
	200米	2:19.8	2:16.6
	400米	4:58.0	4:52.4
	800米	10:30.0	10:17.2
	1500米	20:00.0	19:37.6
背 泳	50米	33.0	32.6
	100米	1:14.8	1:13.6
平 泳	100米	1:15.0	1:13.0
	200米	2:49.8	2:45.0

6. 持参品 健康診断書、筆記用具、水褌、タオル、トレーニングシャツ及パンツ、運動靴、寝巻、白米3升。

7. 費用 往復3等汽車賃 (含普通急行券) 学割使用分及び宿泊料は本連盟に於て負担する。

8. 合宿開始直ちに練習を開始し、8月10、11、12日大阪プールに於て行われる日本選手権水上競技大会には全員参加出場する。

以上



プール行脚

深谷 俊明

ので、全くヘルシンキのコンディションと同様に考えられるので、老社長は若人が、こゝ野澤温泉プールで練習して、彼地で數多の日章旗を掲ることを念願している。通般勤勞者大會には不慮の怪我のため、遺憾ながら來られなかつたが、遠く自宅から電話で細い點に至るまで指示され、大會が極めて円滑に氣持よく終了

長野から長野電鉄で、リンゴの善光寺平や千曲の清流を眺めながら1時間20分で終点木島着、同驛で近代的な大型バスに乗換えて行くこと50分で、「青い山脈」の彼方に忽然と湯煙り立つ中から、映画「若人の歌」に出てくる、白い野澤温泉観光ホテルと温泉プールが見えてくる。プールは長さ50m、幅22m、9コース、水深1.7m~2.0mで、我國代表的なプールの1つとして擧げられる第18號公認プールである。本プールの特色は水と温泉が豊富で、水泳競技の理想とする水温25°Cが常に調節できる我國唯一のプールであることである。過般の第2回全國勤勞者大會で氣温が26~33°Cであつたにかかわらず、2日間を通じて、水温は25°Cの恒温が保たれた。これは我國水泳競技会で記録的なことであつた。又プールに近接して立派なホテルがあつて、その地下室とプール、宿泊部屋とプール、ロビーとプール、食堂とプール、風呂場(温泉)とプール等總て有機的な連絡がとれ、設備の点では本プールの右に出るプールは見當らない。これは勤勞者大會の時本部役員が無條件に認めた處であつた。尙この地方はスキーツアーの土地柄だけあつて、山間にありながら運営方面は野尻湖游泳協會の後援を得て、立派に生まれつゝあり、やがて「スキーの野澤」が「スキーと水泳の野澤」に性格が變わることであらう。

しかしこのような巨額を投じた國際級プールが何故この地にできたかは、誰しも疑問視するところであらう。これは長野電鉄の夏期旅客誘致という點も考えられるが、志賀高原を開發した長野電鉄社長神津藤平氏が野澤温泉開發の壯志と企劃によるものである。神津社長は慶應義塾出身の高齡80歳の方で、福澤諭吉先生に直接薫陶をうけた方で先きに上林ホテルに25mプールを作つて、外人誘致に成功したので、野澤にプールをもつた観光ホテルを計画し、ハワイ、フィリッピン、上海あたりの外人誘置を目的とすると共に、來年オリンピックの行われるヘルシンキの夏は17°C程度であつて、プールは機械操作によつて水温25°Cが保たれることとなつているが、これは野澤地方の5、6月又は10月頃の氣温に類似し、本プールが25°Cにできる

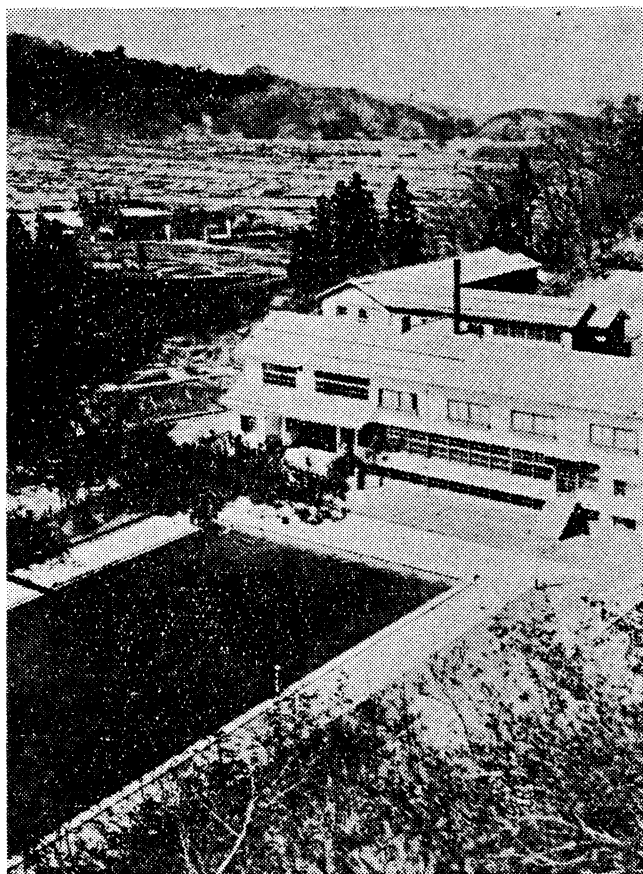
出來たのは、小坂、萩原兩氏を中心とする野尻湖游泳協會各位の力と共に神津社長の蔭の力によるものであつた。擧筆に當り、同社長の健康と本プールの多幸を祈つてやまない。

XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

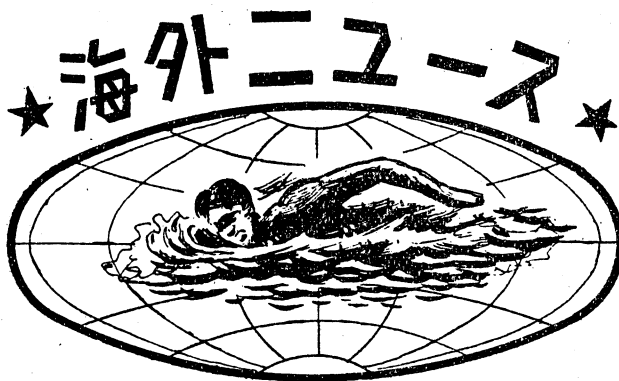
＝野澤温泉小唄＝
映るつゝじはナー
温泉プールヨー
競う若人水上日本の
育ての場所よ

ヤレサーサ
ユラユラユラリは湯の煙
チヤラチヤラチヤラリは水の音
ササチヤラリトナー

XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX



野澤温泉プール



辻 富士夫

紺野選手好調を示す

800 米に世界新記録

日本の水泳ファンになじみの深いヒロシ・紺野選手は、6月20日夜からホノルル（塩水長水路）で行われた仲間選手記念水上大会に出場、4日間に4つの全米新記録を出す好調を示した。

20日夜は200米自由形に2:08.8 21日の400米自由形は4:36.1 22日には800米自由形で9:37.2 23日には1500米自由形に18:25.6のいずれも全米新記録をマークした。1500米は一昨年古橋がロサンゼルスAAU選手権で出した18:19.0の世界記録につぐ好記録である。

更に7月6日夜ホノルル（塩水）で行われたハワイAAU 戸外水泳大会には400米自由形（長水路）に4:34.8の全米新記録を作った。従来全米記録は1942年ビル・スミスの作った4:39.6である。続いて翌7日夜800米自由形で9:30.7の世界記録をつくった。従来世界記録は1949年8月の全米大会でわが古橋選手がつくった9:35.5で、紺野はこれを4秒8短縮したわけである。またハワイ女子水泳界のホープ、エヴリン・川本嬢も5日夜の女子400米自由形で5:17.4の全米新記録を樹立した。

全米戸外水泳選手権大会

全米戸外水泳選手権大会は7月25日から4日間デトロイトの50米プールで今回は男女一緒に挙行した。キツパス氏から水連会長あて男子の結果を送ってきたのでとりあえず男子種目の成績を紹介しよう。

大会で注目される大記録は、コンノの1500 予選18:31.5 決勝18:46.3 800 9:39.9 ムーアの400 4:35.8、マックレーンの200 2:08.4、200 平泳のデ

イザイスの3:35.8であろうが100の自由形にしても背泳にしても高い水準を示している。

100 自由形のクリーヴランドは外電ではエキジビションのリレーの100で56秒4の好記録を出したと伝えられた。1500、800の長い距離では優秀な選手は2、3にとどまるが100になるとある程度高い力の選手の数が非常に多いのに驚かされる。100自由形の7位までが59分台であるということはアメリカのスプリンターの水準が高くいい選手の飛び出す素地が十分あると考えられる。100背泳でも同じことがいえる平泳のデイヴィス、自由形のアグニューはマーシャルとともに濠洲から留学している選手であることをつけ加えておこう。デイヴィスはロンドンオリンピックに参加しており、アグニューは一昨年濠洲でマーシャルにつぐ大選手とさわがれた新進である。アグニューはこの成績でみる限りあまり進歩していない。

△100米自由形

① R・クリーヴランド（無所属）	58.0(57.5)
② ゴラ（無所属）	59.2(58.8)
③ ローゼンサール（加州水俱）	59.5(58.8)
④ ヒル（無所属）	59.6(58.7)
⑤ ドノヴァン（ワスンシャックBC）	59.6(59.5)
⑥ マックレーン（ニューヘヴン水俱）	59.7(59.2)
⑦ ガイブ（イリノイAC）	59.7(58.7)
⑧ メイヤー（インディアナU）	60.0(59.3)

△200米自由形

① W・ムーア（ニューヘヴンSC）	2:08.4(2:09.4)
② マックレーン（ニューヘヴンSC）	2:09.2(2:11.3)
③ ジョーンズ（無所属）	2:13.0(2:13.5)
④ シエフ（ニューヘヴンSC）	2:12.7(2:13.1)
⑤ コール（加州SC）	2:13.3(2:13.7)
⑥ J・トーマス（チャペルヒルSC）	2:14.3(2:14.9)
⑦ ローゼンサール（加州SC）	2:15.6(2:16.2)
⑧ ウルフ（無所属）	2:20.0(2:14.9)

△400米自由形

① W・ムーア（ニューヘヴンSC）	4:35.8(4:40.2)
② コンノ（ヌーアヌY）	4:40.4(4:47.4)
③ マックレーン（ニューヘヴンSC）	4:42.9(4:48.6)
④ マーシャル（ニューヘヴンSC）	4:48.9(4:46.6)
⑤ アグニュー（無所属）	4:50.2(4:57.1)
⑥ ウールシー（ハワイSC）	4:50.5(4:55.3)
⑦ コール（加州SC）	4:51.4(4:54.1)
⑧ スミス（ニューヘヴンSC）	4:55.4(4:56.5)

△1500米自由形

- ① フォード・コンノ(ヌーアヌY) 18:46.3(18:31.5)
- ② マーシャル(ニューヘヴンSC) 19:26.6(19:10.5)
- ③ ロビンソン(YM & WHA, ピッツバーグ) 19:36.7(19:46.1)
- ④ グティエレ(メキシコ) 19:40.0(19:31.6)
- ⑤ アグニュー(無所属) 19:47.2(20:07.1)
- ⑥ ローダーバック(加州SC) 19:52.5(20:17.3)

△800米自由形

- ① フォード・コンノ(ヌーアヌY) 9:39.9(9:49.3)
- ② ムーア(ニューヘヴンSC) 9:53.5(9:52.7)
- ③ マーシャル(ニューヘヴンSC) 9:55.4(10:0.7)
- ④ アグニュー(無所属) 10:06.8(10:23.8)
- ⑤ ローダーバック(加州SC) 10:23.5(10:16.7)
- ⑥ キリグリانو(ニューヨークAC) 10:23.6(10:23.5)
- ⑦ ファエロ(メキシコSF) 10:28.0(10:28.1)
- ⑧ スミス(ニューヘヴンSC) 10:32.8(10:33.5)

△100米平泳

- ① ジョン・デイヴィス(ミシガン大) 1:08.4(1:10.1)
- ② ブローナー(プリンストン大) 1:09.3(1:08.3)
- ③ ホラン(オハイオ州大) 1:10.2(1:11.4)
- ④ スタスツオース(無所属) 1:10.8(1:10.8)
- ⑤ オカナー(ニューヘヴンSC) 1:10.9(1:10.4)
- ⑥ モス(無所属) 1:11.5(1:10.8)
- ⑦ サンギリー(キューバSF) 1:12.5(1:12.0)
- ⑧ スミス(ニューヘヴンSC) 1:13.0(1:12.8)

△200米平泳

- ① ジョン・デイヴィス(ミシガン大) 2:35.8(2:42.3)
- ② スタス・フオース(無所属) 2:37.7(2:42.9)
- ③ ブローナー(プリンストン大) 2:41.0(2:44.9)
- ④ ホラン(オハイオ州大) 2:41.7(2:42.1)
- ⑤ ミラー(ルイスビルY) 2:49.5(2:50.0)
- ⑥ スツールデレーハー(ニューヘヴンSC) 2:51.7(2:50.4)
- ⑦ アラタ(ノースカロライナ州大) 2:51.6(2:54.1)
- ⑧ オカナー(ニューヘヴンSC) 3:01.1(2:55.1)

△100米背泳

- ① ジェイムス・トーマス(チャペルヒルSC) 1:07.4(1:08.2)
- ② テイラー(オハイオ州大) 1:08.3(1:09.1)
- ③ ジョーンズ(ミシガン大) 1:08.7(1:09.1)
- ④ オイカワ(ヒロAC) 1:08.7(1:08.1)
- ⑤ スタック(ニューヘヴンSC) 1:08.9(1:10.2)

- ⑥ ソンナー(オハイオ州大) 1:08.8(1:09.7)
- ⑦ ウルフ(無所属) 1:09.1(1:10.1)
- ⑧ カーン(ミシガン大) 1:10.4(1:10.3)

△800米リレー

- ① ニューヘヴンSC(シエフ、マーシャル、マツクレン、ムーア) 8:51.0(8:40.0)
- ② 加州SC(マサリック、ロゼンサール、コール、ローダーバック) 9:16.4(10:0.0)
- ③ ニューヘヴンSC(B)(スタック、チエンバリン、フィッツシモン、スミス) 9:27.3(9:14.0)
- ④ コカコラSC(フエーア、コンゼリーア、ニーマン、ソーマン) 9:56.1(10:0.0)
- ⑤ キューバSF(シルヴェリオ、ラモス、ガルヴェット、不明) 10:01.7(10:00.0)
- ⑥ ノースカロライナ州大(マツツオン、アラタ、チャーソン、ソニア) 10:09.4(9:45.0)

△300米個人メドレー

- ① B・ジョーンズ(無所属) 3:52.3(3:58.8)
- ② トーマス(チャペルヒルSC) 3:57.9(3:58.8)
- ③ ウルフ(無所属) 4:01.5(4:07.1)
- ④ ブティエレ(メキシコSF) 4:03.4(4:03.0)
- ⑤ マツツオン(ノースカロライナ州大) 4:04.9(4:03.9)
- ⑥ ゴーボーイ(無所属) 4:12.5(4:10.3)
- ⑦ ジョンソン(アイオワ大) 4:15.5(4:12.9)
- ⑧ ベル(デトロイトパークス) 4:24.6(4:15.5)

△300米メドレーリレー

- ① ミシガン大(カーク、デイヴィス、ヒル) 3:16.8(3:21.8)
- ② オハイオ州大(テイラー、ホラン、ソンナー) 3:17.4(3:19.5)
- ③ ニューヘヴンSC(不明) 3:17.7(3:25.7)
- ④ キューバSF(ガルヴェズ、サンギリー、シルヴェリオ) 3:25.0(3:23.1)
- ⑥ ミシガン州大(不明) 3:25.6(3:25.3)
- ⑦ ルイズビルYMAC(レイノルズ、ミラーボリンヂャー) 3:29.6(3:29.0)
- ⑧ ノース、カロライナ州大(アラタ、マツツオン、ソニア) 3:32.0(3:30.7)

△3米飛板飛込

- ① B・クロトワーシイ(オハイオ州大) 197.35(252.15)
- ② ブラウニング(テキサス大) 194.43(234.0)
- ③ コフェー(無所属) 183.35(244.6)

- ④ シヤピロ (アセスAC) 176.75(232.5)
- ⑤ マリノ (オハイオ州大) 170.68(218.2)
- ⑥ ホンヂス (不明) 166.55(不明)
- ⑦ ギルダース (不明) 162.2(208.95)
- ⑧ マコーミツク (パサデナAC) 161.48(211.75)

△高 飛 込

- ① J・マコーミツク(パサデナAC) 160.26(253.55)
- ② J・キャピラ(メキシコSF) 159.20(247.35)
- ③ ルンツト(ロサンゼルスAC) 154.82(245.1)
- ④ シーフアー(ニューヨークAC) 154.68(250.4)
- ⑤ ペレア(メキシコSF) 152.23(247.5)
- ⑥ A・キャピラ(メキシコSF) 148.83(232.1)

マーシャル世界新

440碼 4分30秒

ミッドオーシャン水泳大会は引続き当地で行われてゐるが、8月8日夜の特別招待レースの440碼自由形でジョン・マーシャル(濠)は自己の持つ4:31.2の世界記録を更新4:30.0を出した。なほ2着はムーア(米)3着エツジウ(濠)だつた。

フランク・ガスリー記

オーストラリアの男女のベスト・テンでこれまでになく著しいことは14歳から15歳の若い選手が高い位置をしめていることだ。

若い選手が明らかな進歩を示していることは別として1948年のロンドン・オリンピック前からみると一般の水準は殆んど進歩していない。(アメリカの大学にいるマーシャル、デイヴィス、アグニューを除いてのことだが)オーストラリアの若い選手の進歩はコーチの指導で毎日泳ぐ距離を一層多くし長い期間の体の調整のプログラムを立てることに目ざめたからである。オーストラリアの特殊事情、これは④水泳が学校大学では組織されたスポーツでなく⑤競争がなく⑥室内、室外プールが不足しているのでコーチ達は第一に練習の時間をもち、その上こういう事情の下でスポーツに多くの時間を割くような十分な熱をもたせるのは学生、生徒をおいてほかにないことを認識しつつある。

学生でない、だれが昨冬、昨夏にかけバリー・ダークのようなプログラムを遂行しレコードを確りつづけることが出来だろう。今のところ15歳のダークだけがヘルシンキのオリンピック決勝に出場出来る唯一人の男子選手だが、彼の最良1500 19:25.1

は古橋、東、コンノ、マーシャル等の立てた世界水準からは遙かに遠い。

フランク・オニールは110ヤード自由形で60秒を割つただ一人の選手である。彼の最もいい記録は330ヤード個人メドレー4:01.4でこれは世界第三位に当ろうが、個人メドレーはオリンピック種目にはない。

16歳のバリー・ケレウエイと15歳のレックス・オーブリーはダークに次ぐ自由形のホープである。ケレウエイはまだ生徒の間から過去2、3シーズンにわたり着実に進歩してきている。彼は今銀行の事務員である。オーブリーはまだ生徒だがコーチのハリ・ヘイはオーストラリアの生んだ最良のスプリンターになろうとみている。

ラストは強くないが昨シーズン61秒を記録、ストロークはスムーズで無理がないからあと一年の調整と競争では60秒を破る見込が強い。まだ15歳のロン・シャープはシーズン最後を彼として最良の記録で飾つたが、オーストラリアのタイトルをクラブメイトのホーキンスにとられた。ジュニア選手権では62秒5を出し自由形の将来ある素質をみせた。このときダークはヘンリックスと共に62秒8で二位となつた。ヘンリックスも今シーズンの新人である。

男子平泳の水準は最高であつた。シャープとホーキンスは明年はオリンピックの水準に達するに違いない。ただ困つたことはベストテン10人中6人までがオーソドックスを用いた。オーストラリア選手権では18名がオーソドックスを4名がバタを用いたオリンピックの決勝では全部バタを使つた。国際的の權威すじで男子平泳はバタの方が早いことが認められていることは疑いをいれない。

ジョンデイヴィスは1947年オーソドックスを使つて2:58.0でオーストラリアの選手権をとり翌年バタに転じて2:45.9の新記録を出した。オーソドックスからバタに転じたからといつて自動的に記録が上昇するものでないことはいうまでもないが統計によると忍耐強くやれば90パーセント記録は上つている。

背泳の水準は最低で失望させる。

ジュディ・ジョイ、デイヴィスはオーストラリアのすぐれた女流選手だ。背泳と自由形のオーストラリアのタイトルを取つたその記録は世界的水準のものである。

明星は 17 歳のデニス・ノートンである。今年
 進歩せず落膽させたがこれは病気のため練習を中断
 した結果だ。440 ヤードと特に 880 ヤードは国際的
 だ。

オリンピック選手マックエイドは スプリンターの
 第 1 位だが シーズン始め盲腸の手術で練習期間が短
 くベストを出し得なかつた。

14 歳のヴァルマ・マンニングはスプリンターの第
 5 位だが 110 ヤード自由形でシーズンの初め 1:18.0
 から 1:12.5 に進歩した。

もう 1 人の新人ドロシー・グリーンも 100 米
 1:12.7 を記録した。

オーストラリア 1951 年度ベストテン

【男 子】

☆ 110 ヤード自由形

- ① 59.5 F.オニール(マンリーN.S.W)
ノースシドニー 2.27
- ② 1:01.0 R.オーブリー(パークスN.S.W)
ノースシドニー 2.27
- ③ 1:02.1 ミラー(オリンピックV.I.C)
メルボルン 2.24
- ④ 1:02.5 R.シャープ(パームビーチN.S.W)
ノースシドニー 3.31
- ⑤ 1:02.7 T.ピアド(YMCA, vic)
メルボルン 2.24
- ⑥ 1:02.7 C.コーブランド(デーホワイ
N.S.W) ノースシドニー 1.18
- ⑦ 1:02.8 J.ヘンリックス(キャバリタN.S.W)
ノースシドニー 3.31
- ⑧ 1:02.9 P.ヴァインズ(パームビーチN.S.W)
ノースシドニー 1.20
- ⑨ 1:02.9 G.テイラー(ボンデイN.S.W)
ノースシドニー 1.20

☆ 220 ヤード自由形

- ① 2:15.7 B.F.オニール(マンリーN.S.W)
ノースシドニー 1.17
- ② 2:17.7 B.ダーク(マンリーN.S.W)
ノースシドニー 1.18
- ③ 2:18.0 B.ケレウエー(パームビーチN.S.W)
ノースシドニー 2.17
- ④ 2:21.2 ミラー(オリンピックvic)
メルボルン 2.7

- ⑤ 2:22.0 T.ピアド(Y.M.C.A, vic)
メルボルン 2.17
- ⑥ 2:22.2 F.ジョルダン(バンクスタウン
N.S.W) ノースシドニー 1.17
- ⑦ 2:22.8 G.テイラー(ボンデイN.C.U)
ノースシドニー 1.17
- ⑧ 2:23.5 T.シモンズ(パームビーチN.S.W)
ノースシドニー 1:20
- ×⑨ 2:23.9 P.アマックスウエル(イプスウィッチ
Qld.) ヴァリー・ブリスベーン 2.5
- ⑩ 2:24.1 B.バリール(マンリーN.S.W)
ノースシドニー 1.17

☆ 440 ヤード自由形

- ① 4:51.8 B.ダーク(マンリーN.S.W)
ノースシドニー 1.13
- ② 4:52.5 B.ケレウエー(パームビーチN.S.W)
ノースシドニー 1.13
- ×③ 5:08.1 S.ウイルケス(M'chy, Old)
ヴァリー、ブリスベーン 2.9
- ④ 5:10.6 F.ジョルダン(バンクスタウン
ノースシドニー 1.13
- ⑤ 5:11.0 T.ピアド(YMCA., Vic)
メルボルン 2.19
- ⑥ 5:13.8 B.マハー(シドニーN.S.W)
ノースシドニー 1.19
- ⑦ 5:14.0 ミラー(オリンピック Vic)
メルボルン 2.7
- ⑧ 5:15.1 J.ヘンリックス(キャバリタN.S.W)
ノースシドニー 1.15
- ⑨ 5:18.2 R.ケーター(パームビーチN.S.W)
ノースシドニー 1.17
- ⑩ 5:12.9 T.シモンズ(パームビーチ N.S.W)
ノースシドニー 1.17

☆ 1650 ヤード自由形

- ① 19:25.1 B.ダーク(マンリーN.S.W)
ノースシドニー 1.20
- ② 20:19.5 B.ケレウエー(パームビーチN.S.W)
ノースシドニー 1.20
- ×③ 21:04.7 S.ウイルケス(M'chy, Old)
ヴァリー、ブリスベーン 2.3
- ④ 21:23.0 T.ピアド(YMCA, Vic)
メルボルン 2.22
- ⑤ 21:25.9 F.ジョルダン(バンクスタウン
N.S.W) ノースシドニー 1.20

- ⑥ 21:40.7 R・マシーソン(プレッシーウオーター
N.S.W) ノースシドニー 1.20
- ⑦ 22:09.2 D・ステイブルフォード(ローズ
ウオーター S.A) アデレイド 3.24
- ⑧ 22:15.9 W・ブラデイ(バンクスタウン
N.S.W) ノースシドニー 1.20
- ×⑨ 22:28.4 R・ウイルケス(M'chy, Old)
ザアリー、ブリスベーン 2.3
- ⑩ 22:33.6 W・バラット(オリンピックク S.A)
メルボルン 2.22

☆ 110 ヤード背泳

- ① 1:12.5 L・オキーフエ(パームビーチ)
ノースシドニー 1.13
- ② 1:12.6 F・オニール(マンリー N.S.W)
ノースシドニー 1.13
- ×③ 1:13.0 D・メイソン(ザアリー Old)
ザアリー、ブリスベーン 2.5
- ④ 1:13.4 B・バリ(マンリー N.S.W)
ノースシドニー 1.13
- ⑤ 1:14.8 B・ウィザース(YMCA, Vic)
メルボルン 2.17
- ⑤ 1:14.8 J・O・ギブソン(オリンピックク
Vic) メルボルン 2.7
- ⑦ 1:14.9 R・オーブリー(パークス N.S.W)
メルボルン 2.24
- ×⑧ 1:15.4 J・パーテル(ウエスタンデイズト
リット Old)ザアリー、ブリスベーン 2.5
- ⑨ 1:15.8 A・ゴツツ(フツツケレー Vic)
メルボルン 2.16
- ⑨ 1:15.8 R・ハリス(バツセンデイーン
W.A) メルボルン 2.17

☆ 220 ヤード平泳

- ① 2:47.4 R・シャープ(パームビーチ
N.S.W) ノースシドニー 1.17
- ② 2:49.5 D・ホーキンス(パームビーチ
N.S.W) ノースシドニー 1.17
- ×③ 2:57.6 W・リントザエルト(ザアリー
ザアリー、ブリスベーン 2.5
- ×④ 2:58.8 J・ドラン(M'chy, Old)
ザアリー、ブリスベーン 2.5
- ⑤ 3:02.8 J・クローリイ(ザアリー Old)
ザアリー、ブリスベーン 2.5
- ⑥ 3:03:4 E・グッドウイル(バンクスタウン
N.S.W) ノースシドニー 1:17

- ⑦ 3:04.2 R・ポウエル(メルボルン Vic)
メルボルン 2.7
- ⑧ 3:06.4 D・ゼンキンス(ノースブリッジ
N.S.W) ノースシドニー 1.14
- ⑧ 3:06.4 K・ハレット(シングルトン
N.S.W) ナランデラ 1.31
- ⑩ 3:07.1 W・ハゼルドン(YMCA, Vic)
メルボルン 2.5

【女 子】

☆ 110 ヤード自由形

- ① 1:09.0 M・マックエイド(オリンピックク
Vic) メルボルン 2.20
- ② 1:09.4 B・ヒックス(クレアモント W.A)
ノースシドニー 12.2(1950)
- ③ 1:11.0 K・ヘイマン(キョーグル N.S.W)
ノースシドニー 1.14
- ③ 1:11.0 J・ジョンソン(New-Pr., N.S.W)
ニューカツスル 3.15
- ⑤ 1:12.4 D・ノートン(Assoc オリンピック
S.A) メルボルン 2.20
- ⑥ 1:12.5 V・マンニング(バツセンデイーン
W.A) クローリイ 3.17
- ×⑦ 1:12.7 D・グリーン(ツーンバ Old)
ザアリー、ブリスベーン 2.7
- ⑧ 1:13.0 J・ギル(クレアモント W.A)
クローリイ 1.13
- ×⑨ 1:13.3 R・ウエツヂウッド(レアンダー
ザアリー、ブリスベーン 2.2
- ×⑩ 1:13.8 F・マウントニー(バンダバーク
Old) ザアリー、ブリスベーン 2.7

☆ 220 ヤード自由形

- ① 2:33.1 J・デイザイス(オリンピックク Vic)
メルボルン 2.20
- ② 2:35.9 D・ソートン(Assoc. オリンピック
S.A) メルボルン 2.24
- ③ 2:37.6 J・ジョンソン(New. Pr. N.S.W)
ノースシドニー 1.26
- ④ 2:39.6 B・ヒックス(クレアモント W.A.)
クローリイ 1.14
- ⑤ 2:39.8 M・マックエイド(オリンピックク
メルボルン 2.24
- ×⑥ 2:42.9 R・ウエツヂウッド(レアンダー
ザアリー、ブリスベーン 2.7

- ⑦ 2:43.6 K.ヘイマン(キョーグル N.S.W)
ノースシドニー 1.4
- ⑧ 2:43.8 D.フランツェン(レアンダー Old)
メルボルン 2.17
- ⑨ 2:44.0 E.グレスार्टン(ノースシドニー
N.S.W) ノースシドニー 1.4
- ×⑩ 2:48.0 F.マウントニー(バンダバーグ
Old) ヴァアリー、ブリスベーン 2.7

☆ 440 ヤード自由形

- ① 5:26.8 T.デイヘイス(オリンピック Vic)
メルボルン 2.17
- ② 5:27.8 D.ノートン(Assoc. オリンピック
S.A.) メルボルン 2.17
- ③ 5:35.4 T.ジョンソン(New. P., N.S.W.)
ノースシドニー 1.9
- ④ 5:45.6 B.ヒックス(クレアモント W.A.)
クローリー 3.2
- ⑤ 5:51.8 A.ナツシュ(バンクスタウン
N.S.W.) ノースシドニー 1.9
- ⑥ 5:54.8 E.ブレスार्टン(ノースシドニー
N.S.W.) 1.9
- ×⑦ 5:55.8 R.ウエツヂウッド(レアンダー
Old) ヴァアリー、ブリスベーン 2.5
- ⑧ 5:56.3 J.ギル(クレアモント W.A.)
クローリー 3.2
- ⑨ 6:08.0 G.スワロー(フツツクレイ Vic)
メルボルン 1.12
- ⑩ 6:09.0 T.レッグ(マーウイランバー
N.S.W) ノースシドニー 1.9

☆ 220 ヤード平泳

- ① 3:10.7 T.アレン(リッチモンド Vic)
メルボルン 2.19
- ×② 3:14.1 T.フェーア(イブスウイツチ Old)
ヴァアリー、ブリスベーン 2.2
- ×③ H.ライオンズ(ヴァアリー Old)
ヴァアリー、ブリスベーン 2.2
- ④ 3:17.0 B.ホスキング(マンリー N.S.W.)
メルボルン 2.19
- ⑤ 3:29.0 T.ジョンソン(New-Pr. N.S.W.)
サランデラ 1.19
- ⑥ 3:30.2 T.レッグ(マーウイランバー N.S.W.)
ノースシドニー 1.6
- ⑦ 3:33.0 K.スチュアート(レアンダー Old)
ヴァアリー、ブリスベーン 2.2
- ⑧ 3:33.2 G.アウシュツツ(パルモラル N.S.W.)
ノースシドニー 1.6
- ⑨ 3:33.9 M.セボ(B.P., W.A.)クローリー
- ⑩ 3:34.4 M.マツカロツク(タスマニア)
メルボルン 2.19

☆ 110 ヤード背泳

- ① 1:17.9 T.デイヴィス(オリンピック Vic)
メルボルン 2.20
- ② 1:18.8 M.パスカル(クレアモント W.A.)
メルボルン 2.20
- ×③ 1:21.0 T.ボル(レアンダー Old)
ヴァアリー、ブリスベーン 2.7
- ④ 1:23.2 N.マツチエツト(リスモア
N.S.W.) ノースシドニー 1.6
- ⑤ 1:23.8 P.ハル(NeW-Pr., N.S.W.)
ノースシドニー 1.4
- ⑥ 1:23.8 H.バインズ(スピット N.S.W.)
ノースシドニー 1.6
- ⑦ 1:25.5 T.エイツ(ヴァアリー Old)
ヴァアリー、ブリスベーン 1.9
- ⑧ 1:26.0 T.ウイリアムス(シドニー N.S.W.)
ノースシドニー 1:4
- ⑨ 1:26.2 D.ノートン(Assoc. オリンピック
S.A.) メルボルン 2.20
- ⑩ 1:26.2 R.イースターグルツク(マンリー
N.S.A.) ノースシドニー 1.3

200 米平泳と世界新記録

ドイツのハーバート・クライン選手は 6 月 9 日夜
ミュンヘンで行われた水泳大会の 200 米平泳で 2:27.3
の世界新記録を作った。これまでの世界記録は バ
ーデューアー(米)の 2:28.3 である。

女子混継泳に世界新記録

オランダ・ロッテルダム女子水泳チームは 6 月 9
日夜当地でイギリス選抜チームと対戦し、300 米メ
ドレーリレーで 3:19.4 の世界新記録を出した。

英佛海峡横断水泳

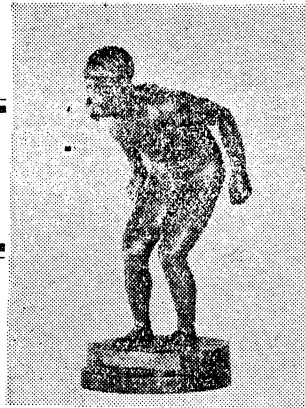
54 歳の老先生も泳破

今年度英佛海峡横断水泳のはしりは 7 月 28 日朝
3 時 28 分北佛カレーから イギリス・エジプト両国選
手 8 名が 2 団に分れてスタート。

このうちエジプトの学生 アグデル・ラチフ(22)と
イギリスの時計屋さんフィリップ・ライジング(41)
の 2 名が対岸ドーヴァーに無事泳ぎついた。

さらに翌 29 日には 54 歳になる エジンバラの
ハイ・スクールの理科の先生 ネットド・バーニー氏が
逆コース横断水泳に成功した。

昭和26年度各地



水上競技會記録

() 内の記録は予選に於ける記録

日大對全東海

愛知縣水泳連盟

5月24日 振甫プール(50米)公認
(氣温23° 水温23°)

男子之部

100米自由形

1	鈴木 弘	日 大	1:00.2
2	丸山 茂幸	〃	1:00.6
3	木本 彰	〃	1:03.0

200米自由形

1	鈴木 弘	日 大	2:13.6
2	徳重 里司	〃	2:23.8
3	服部 良	〃	2:24.4

400米自由形

1	川端 彌	日 大	4:48.8
2	浅野 満	東 海	4:56.0
3	本山 昌平	日 大	4:57.4

800米自由形

1	川端 彌	日 大	10:09.6
2	浅野 満	東 海	10:27.4
3	本山 昌平	日 大	10:41.6

50米背泳

1	倉橋 範彦	東 海	31.8
2	宮田 春雄	日 大	32.6
3	近藤久仁正	東 海	32.6

100米背泳

1	倉橋 範彦	東 海	1:12.6
2	宮田 春雄	日 大	1:12.8
3	町野 和男	〃	1:14.8

100米平泳

1	萩原 孝男	日 大	1:13.6
2	下坂 篤	〃	1:16.4
3	五味 茂雄	〃	1:16.6

200米平泳

1	山本 正雄	日 大	2:45.2
2	萩原 孝男	〃	2:47.2
3	毛利 洋一	〃	2:51.6

200米リレー

1	鈴木・丸山・徳重・木本	日 大	1:50.8
2	平田・倉橋・水野・浅野	東 海	1:53.8

300米メドレーリレー

1	清野・山本・丸山	日 大	3:31.4
2	倉橋・大橋・河村	東 海	3:40.4

得点

1	日 大	112
2	東 海	64

女子之部

100米自由形

1	安部佐和子	椛山大	1:19.8
2	森 あき子	金城大	1:20.6
3	井上 和子	淑徳高	1:26.6

400米自由形

1	安部佐和子	椛山大	6:07.6
2	森 あき子	金城大	6:26.8
3	社本圭以子	向陽高	7:02.4

100米背泳

1	川口 鎮子	淑徳高	1:40.2
2	加藤緋綱子	〃	1:41.2
3	川瀬 恒子	西陵高	1:46.0

200米平泳

1	余語 和子	椛山高	3:39.2
2	木梨 あさ	椛山大	3:39.8
3	野津 妙子	向陽高	3:49.0

岩手縣高等綜合体育

岩手水泳協会

6月2-3日 花巻温泉プール(25米)
未公認 (氣温28-9° 水温18°)

男子之部

100米自由形

1	五日市茂三	福 岡	1:05.9
2	藤原 洋二	盛 岡 一	1:08.6
3	鎌田 文雄	花 巻	1:09.1

200米自由形

1	五日市茂三	福 岡	2:34.9
2	柚澤 正光	高 松	2:37.4
3	福島 一男	久 慈	2:37.6

400米自由形

1	柚澤 正光	高 松	5:44.0
2	山口 隆一	〃	5:44.2
3	宮本 海昇	花 巻	5:49.3

800米自由形

1	山口 隆一	高 松	11:58.3
2	宮本 海昇	花 巻	12:12.1
3	長谷川祐三	盛 岡 三	12:15.3

50米背泳

1	村井 良和	岩 手	36.0
2	坂下 節郎	福 岡	37.9
3	西野 卯	〃	40.2

100米背泳

1	村井 良和	岩 手	1:21.6
2	坂下 節郎	福 岡	1:23.4
3	細越 力	宮 古	1:27.0

100米平泳

1	山崎 晋祐	盛 岡 一	1:28.4
2	泉館 英三	盛 岡 三	1:28.5
3	佐藤 勝久	久 慈	1:29.5

200米平泳

- 1 山崎 晋祐 盛岡一 3:12.4
- 2 佐藤 勝久 慈 3:14.1
- 3 石田 弘岩 手 3:17.9

800米リレー

- 1 秋濱・山口・谷藤・杣澤
高松 11:03.2
- 2 鎌田・照井・山口・宮本
花卷 11:03.2
- 3 川代・岡野・福島・扇久保
久慈 11:05.8

300米メドレーリレー

- 1 坂下・生内・五日市
福岡 4:00.5
- 2 村井・石田・藤村
岩手 4:03.0
- 3 杣澤・松岡・山口
高松 4:07.0

得点

- 1 福岡高 37点
- 2 高松高 35 //
- 3 盛岡一高 35 //
- 4 岩手高 33 //
- 5 花巻高 31 //

女子之部

50米自由形

- 1 菅 郁子 盛岡市立 41.1
- 2 齋藤 幸子 釜石 43.6
- 3 熊谷 幸子 盛岡市立 45.2

100米自由形

- 1 齋藤 幸子 釜石 1:39.9
- 2 宗宮 利恵 高田 1:47.2
- 3 熊谷 幸子 盛岡市立 1:47.7

200米自由形

- 1 小川 勝子 盛岡市立 3:22.8
- 2 白澤 幸子 " 3:48.2
- 3 齋藤 幸子 釜石 3:52.0

400米自由形

- 1 小川 勝子 盛岡市立 7:21.3
- 2 菅 郁子 " 7:34.1
- 3 白澤 幸子 " 8:16.9

50米背泳

- 1 小川 勝子 盛岡市立 45.3
- 2 村田 慶子 " 46.4
- 3 佐藤 静子 釜石 56.6

100米背泳

- 1 佐藤 静子 釜石 1:51.7
- 2 村田 慶子 盛岡市立 1:52.3
- 3 西條 康子 釜石 2:06.5

100米平泳

- 1 小田島順子 花巻 1:43.8
- 2 鳥居たつみ 盛岡市立 1:49.5
- 3 笹倉 梯子 高田 1:57.7

200米平泳

- 1 小田島順子 花巻 3:46.8
- 2 鳥居たつみ 盛岡市立 3:59.1
- 3 笹倉 梯子 高田 5:22.8

200米リレー

- 1 菅・熊谷・白澤・小川
盛岡市立 2:52.0
- 2 西條・齋藤・細川・佐藤
釜石 3:15.0

300米メドレーリレー

- 1 村田・鳥居・小川
盛岡市立 5:06.1
- 2 佐藤・細川・齋藤
釜石 5:35.7

得点

- 1 盛岡市立高 90
- 2 釜石高 47
- 3 花巻高 20
- 4 高田高 16

山口近県高校

山口縣水泳連盟

6月3日 山口縣設プール(50米)
未公認 (氣温23° 水温21.5°)

男子之部

100米自由形

- 1 四海 正勝 下關工 1:06.1
- 2 田原 克己 大田高 1:06.5
- 3 藤田 博司 濱田高 1:07.3

200米自由形

- 1 藤田 博司 濱田高 2:30.0
- 2 橋本 正志 岩國高 2:30.7
- 3 和田 論 太田高 2:35.4

400米自由形

- 1 田島 満 岩國高 5:25.8
- 2 橋本 正志 " 5:37.0
- 3 和田 論 太田高 5:38.5

800米自由形

- 1 田島 満 岩國高 11:14.4
- 2 坂根 孝 江津工 11:38.4
- 3 小森 昭洋 八幡高 11:38.5

100米背泳

- 1 藤井 正一 山口高 1:19.8
- 2 三宅 勉 江津高 1:22.6
- 3 坂 克彦 防府高 1:24.2

200米背泳

- 1 藤井 正一 山口高 2:55.5
- 2 服部 慧昭 濱田高 2:59.0
- 3 坂 克彦 防府高 3:02.8

100米平泳

- 1 宅野 忠行 津和野高 1:25.3
- 2 今井 國雄 下關東高 1:25.4
- 3 吉野 元信 山口高 1:29.5

200米平泳

- 1 今井 國雄 下關東高 3:07.0
- 2 宅野 忠行 津和野高 3:08.6
- 3 吉野 元信 山口高 3:15.7

200米リレー

- 1 田原・金田・林・和田
太田高 2:01.5
- 2 井川・中原・萩原・矢田部
安下庄高 2:03.7
- 3 窪田・古屋・岡藤・木本
山口高 2:04.7

800米リレー

- 1 田原・金田・林・和田
太田高 10:43.4
- 2 上田・橋本・梶原・田島
岩國高 10:50.4
- 3 柏木・岡崎・木本・藤井
山口高 10:56.4

女子之部

100米自由形

- 1 平田多満子 山口高 1:28.5
- 2 別府美也子 野田學 1:33.8
- 3 藤井 幸子 山口高 1:36.0

200米自由形

- 1 平田多満子 山口高 3:20.0
- 2 原田 節子 防府高 3:40.0
- 3 藤井 幸子 山口高 4:06.4

100米背泳

- 1 田中 祥子 野田學 1:51.0
- 2 原田 節子 防府高 1:59.5
- 3 古木ルミ子 野田學 2:22.0

200米平泳

- 1 池田 禎子 山口高 3:46.2
- 2 東 昌枝 野田學 4:00.7
- 3 吉本 妙子 防府高 4:19.4

200米リレー

- 1 田中・田中・山本・別府
野田學 2:50.4
- 2 橋本・吉本・北村・原田
防府高 3:08.6
- 3 池田・北村・藤井・平田
山口高 3:39.8

300米メドレーリレー

- 1 藤井・池田・平田
山口高 5:06.5
- 2 田中・東・藤井
野田學 5:15.0
- 3 原田・吉本・橋本
防府高 6:28.8

大分縣白杵支部高校

大分縣水泳協会

6月3日 白杵高プール(50米)
未公認 (氣温28° 水温25°)

100米自由形

- 1 田口 和郎 白 杵 1:05.0
- 2 瀧 整 鶴 城 1:07.7
- 3 加島 博 白 杵 1:08.2

200米自由形

- 1 瀧 整 鶴 城 2:27.5
- 2 田口 和郎 白 杵 2:29.0
- 3 加島 博 // 2:31.6

400米自由形

- 1 久保田 認 白 杵 5:05.8
- 2 川野 教 // 5:14.1
- 3 菅 哲政 鶴 城 5:15.6

800米自由形

- 1 久保田 認 白 杵 10:35.0
- 2 川野 教 // 10:51.2
- 3 菅 哲政 鶴 城 10:52.0

50米背泳

- 1 黒佐 清 鶴 城 33.5
- 2 野村 輝夫 // 35.2
- 3 小野 豊躬 白 杵 37.2

100米背泳

- 1 黒佐 清 鶴 城 1:14.5
- 2 野村 輝夫 // 1:18.0
- 3 進來 篤 白 杵 1:27.0

100米平泳

- 1 板井 道生 白 杵 1:15.4
- 2 金丸 輝壽 // 1:19.8
- 3 高橋 嘉彦 鶴 城 1:25.0

200米平泳

- 1 金丸 輝壽 白 杵 2:56.4
- 2 板井 道生 // 2:58.0
- 3 木許 雄殖 鶴 城 3:05.0

400米リレー

- 1 川野・田島・加島・久保田
白 杵 4:22.0
- 2 瀧・高橋・菅・黒佐
鶴 城 4:27.1
- 3 光本・廣瀬・吉良・浦口
海 部 5:30.2

800米リレー

- 1 田口・加島・川野・久保田
白 杵 9:51.0
- 2 菅・武林・瀧・黒佐
鶴 城 10:01.0
- 3 中西・吉良・若林・浦口
海 部 12:26.0

得点

- 1 與杵高 96
- 2 鶴城高 80
- 3 海部高 31

西日本高校

福岡縣水泳連盟

6月9-10日 大谷プール(50米)公認
(氣温22° 20° 水温23° 20°)

男子之部

100米自由形

- 1 後藤 暢 浮 羽 1:01.4
- 2 猿渡 敬昭 山 鹿 1:04.6
- 3 黒佐 清 佐 伯 1:04.6

400米自由形

- 1 後藤 暢 浮 羽 4:57.8
- 2 青木 行義 鹿 本 4:59.4
- 3 横田 宣明 傳 習 5:03.8

800米自由形

- 1 青木 行義 鹿 本 10:33.6
- 2 久保田 認 白 杵 10:37.4
- 3 石橋 明 傳 習 10:41.6

100米背泳

- 1 川野 英隆 熊 商 1:14.8
- 2 黒佐 清 佐 伯 1:14.8
(1:14.6)
- 3 徳久 雅洋 佐 賀 1:18.0
(1:17.8)

200米平泳

- 1 大石 龍一 明 善 3:01.0
- 2 寺崎 博之 三 瀨 3:01.2
- 3 板井 道生 白 杵 3:01.6

200米リレー

- 1 古賀・石橋・酒井・横田
傳 習 1:57.0
- 2 田口・田原・金丸・加島
白 杵 1:59.0
- 3 田中・北・原・坂井
三 瀨 1:59.2

300米メドレーリレー

- 1 生津・寺崎・坂井
三 瀨 3:41.0
- 2 黒佐・高橋・瀧
佐 伯 3:43.4
- 3 川野・正木・姫田
熊 商 3:45.8

女子之部

100米自由形

- 1 森下美奈子 尙 綱 1:17.8
- 2 成清 静子 傳 習 1:22.2
- 3 後藤 昌子 朝 倉 1:25.0

400米自由形

- 1 森下美奈子 尙 綱 6:22.0
- 2 成清 静子 傳 習 6:44.4
- 3 松浦すて子 妻 6:45.8

100米背泳

- 1 前原ともえ 筑 紫 1:30.8
- 2 稻葉チヅエ 白 杵 1:32.2
- 3 吉原 光子 戸 中央 1:39.4

200米平泳

- 1 黒田多鶴子 傳 習 3:39.8
- 2 長野日出子 筑 紫 3:46.6
- 3 池松 博子 // 3:48.4

200米リレー

- 1 田中・田吹・田中・成清
傳習 2:34.4
- 2 内林・永野・大塚・太田
筑紫 2:38.2
- 3 小川・井上・井上・松浦
妻 2:43.0

300米メドレーリレー

- 1 前原・長野・永野
筑紫 4:44.8
- 2 田中・黒田・成清
傳習 4:50.2
- 3 木川・井上・井上
妻 5:20.4

得点

男子		女子	
1	佐伯鶴成	大分	24
2	傳習館	福岡	22
3	白杵	大分	18
4	三瀨	福岡	16
5	熊本商	熊本	15
女子		男子	
1	傳習館	福岡	34
2	筑紫女子	〃	28
3	尙綱	熊本	20
4	妻	宮崎	16
5	福岡中央	福岡	6

愛知憲法記念

愛知水泳連盟

6月10日 一宮高校プール(50米)

未公認

男子之部

100米自由形

- 1 足立 圭司 一宮 1:07.2
- 2 平田 恪二 中商 1:08.4
- 3 梶浦 昇 〃 1:09.2

200米自由形

- 1 浅野 満 中商 2:20.6
(2:19.2)
- 2 梶浦 昇 〃 2:34.8
- 3 足立 圭司 一宮 2:37.2

800米自由形

- 1 浅野 満 中商 10:31.0
(10:07.2)

- 2 大森 怜 中京 11:26.2
- 3 由井 正則 東邦 11:56.8
(11:50.6)

100米背泳

- 1 近藤久仁正 中商 1:18.8
(1:18.4)
- 2 菅沼 勉 豊橋東 1:22.2
- 3 大野 正 小牧 1:23.8

200米背泳

- 1 近藤久仁正 中商 2:52.4
(2:52.0)
- 2 高木 隆 〃 2:55.8
(2:55.0)
- 3 山本 修平 豊橋東 3:03.8
(3:01.2)

200米平泳

- 1 大橋 秀之 津島 2:59.8
(2:58.8)
- 2 近藤 昇治 向陽 3:01.6
- 3 廣 達夫 中商 3:01.6

400米平泳

- 1 大橋 秀之 津島 6:16.8
- 2 廣 達夫 中商 6:17.8
- 3 伊藤 漸 津島 6:36.6
(6:31.2)

200米リレー

- 1 平田・大森・梶浦・浅野
中商 1:59.2
- 2 服部・加藤・角田・佐藤
津島 2:03.0
- 3 澤田・今村・眞能・足立
一宮 2:03.2

800米リレー

- 1 梶浦・大森・鈴木・浅野
中商 10:07.8
- 2 三輪・鈴木・柳・河村
小牧 10:55.2
- 3 佐藤・渡邊・加藤・服部
津島 10:58.2

300米メドレーリレー

- 1 近藤・廣・浅野
中商 3:41.4
- 2 藤松・大橋・佐藤
津島 4:01.0
- 3 田中・加藤・由井
東邦 4:04.8

得点

1	中商高	81
2	津島高	29
3	小牧高	24
4	豊橋東高	23
5	一宮高	14

女子之部

50米自由形

- 1 中鶴美智子 淑徳 38.8
- 2 内田美佐子 椋山 39.0
(37.6)
- 3 井上 和子 淑徳 40.4
(38.2)

100米自由形

- 1 内田美佐子 椋山 1:27.4
- 2 井上 和子 淑徳 1:29.2
- 3 社本圭以子 向陽 1:30.8

400米自由形

- 1 社本圭以子 向陽 7:07.8
- 2 中鶴美智子 淑徳 7:10.8

50米背泳

- 1 川瀬 恒子 西陵 45.8
- 2 加藤緋縞子 淑徳 46.6
- 3 川口 鎮子 〃 46.6

100米背泳

- 1 加藤緋縞子 淑徳 1:42.6
- 2 猪飼 和子 〃 1:46.4
- 3 川瀬 恒子 西陵 1:46.6

100米平泳

- 1 余語 和枝 椋山 1:44.0
- 2 野津 妙子 向陽 1:49.2
- 3 伊藤 泰子 椋山 1:53.0

200米平泳

- 1 余語 和枝 椋山 3:40.4
- 2 野津 妙子 向陽 3:54.8
- 3 伊藤 泰子 椋山 4:00.8

400米リレー

- 1 水谷・川口・井上・中鶴
淑徳 6:23.0
- 2 石川・山田・浅野・社本
向陽 6:41.0
- 3 小椋・伊藤・余語・内田
椋山 7:12.2

300米メドレーリレー

- 1 山田・野津・石川
向陽 5:09.2

- 2 猪飼・水谷・井上
淑 徳 5:14.8
- 3 柴田・内田・余語
楯 山 5:30.0

得 点

- 1 淑 徳 高 56
- 2 楯 山 高 46
- 3 向 陽 高 46
- 4 西 陵 高 17
- 5 明 和 高 3
- 6 市岡崎高 3

憲法記念都民大會

東京都水泳協会

6月16-17日 東伏見プール(50米)
公認

(気温23° 28° 水温19° 20°)

中學男子之部

50米自由形

- 1 越智 榮一 日大三 31.8
(31.2)
- 2 増田 日大一 32.2
- 3 尾崎 忠雄 成 蹊 33.4

100米自由形

- 1 中村 立 教 1:13.2
- 2 坂本彌一郎 慶 應 1:15.0
- 3 越智 榮一 日大三 1:15.2
(1:14.8)

200米自由形

- 1 山田 立 教 2:48.4
- 2 肥沼 昌永 小金井 2:49.2
- 3 五十嵐 智 山 2:50.0

50米背泳

- 1 坂上 景明 成 蹊 40.2
- 2 別所 泰夫 " 42:2
(41.6)
- 3 尾根山忠義 文京一 43.4

100米背泳

- 1 別所 泰夫 成 蹊 1:31.0
(1:30.0)
- 2 尾根山忠義 文京一 1:35.2
- 3 上田 日大三 1:35.8

100米平泳

- 1 國澤 清 上 野 1:28.4

- 2 川谷内 立 教 1:28.8
- 3 永井 俊夫 早 中 1:31.4

200米平泳

- 1 國澤 清 上 野 3:17.0
- 2 遠藤 源一 日大三 3:17.2
- 3 川谷内 立 教 3:17.8

200米リレー

- 1 水谷・中村・野村・山田
立 教 2:12.8
- 2 加藤・酒井・島田・増田
日大一 2:15.8
- 3 坂上・杉田・吉野・尾崎
成 蹊 2:16.0

300米メドレーリレー

- 1 別所・坂上・尾崎
成 蹊 4:17.6
- 2 上田・遠藤・越智
日大三 4:23.0
- 3 船橋・太田・齋藤
東大附 4:26.0

高校男子之部

100米自由形

- 1 鈴木 弘 日大三 1:00.4
- 2 谷 訪 早 高 1:00.8
- 3 香川 義英 中 野 1:03.4
(1:02.6)

400米自由形

- 1 鈴木 弘 日大三 4:58.6
- 2 香川 義英 中 野 5:04.0
- 3 谷 訪 早 高 5:09.2

800米自由形

- 1 森 文太郎 中 野 10:47.2
- 2 仙葉 智章 成 蹊 11:38.4
- 3 今井 正繼 " 11:38.4

50米背泳

- 1 關川 重久 早 高 34.2
(34.0)
- 2 和氣 壽彦 慶 應 34.4
- 3 谷岡 武 藏 36.8
(36.2)

100米背泳

- 1 和氣 壽彦 慶 應 1:15.6
- 2 關川 重久 早 高 1:15.6
- 3 吉野 誠一 成 蹊 1:21.8

100米平泳

- 1 北澤 軍治 日比谷 1:16.2

- 2 青山 孝郎 成 蹊 1:18.2
- 3 佐藤 守弘 九 段 1:18.8

200米平泳

- 1 佐藤 圭司 慶 應 2:59.2
- 2 松永 辰一 " 3:00.0
- 3 豊州 勝石 " 3:02.0

800米リレー

- 1 荒川・佐藤・和氣・田熊
慶 應 10:27.4
- 2 岩波・關川・富澤・谷
早 高 10:31.0
- 3 今井・小島・深井・仙葉
成 蹊 10:37.2

300米メドレーリレー

- 1 和氣・松永・荒川
慶 應 3:42.4
- 2 關川・吉澤・谷
早 高 3:45.6
- 3 吉野・青山・今井
成 蹊 3:50.6

一般男子之部

50米自由形

- 1 佐々木 猛 中 央 27.6
(27.4)
- 2 中崎 善夫 合 東 28.8
(28.4)
- 3 川島 央雄 大 島 28.8

100米自由形

- 1 佐々木 猛 中 央 1:02.0
- 2 中崎 善夫 合 東 1:03.8
- 3 東 昇 中 央 1:03.8
(1:03.2)

50米背泳

- 1 榎谷 周二 中 央 33.8
- 2 河端 重勝 文 京 37.4
- 3 土屋 北 38.2

100米背泳

- 1 榎谷 周二 中 央 1:15.8
- 2 河端 重勝 文 京 1:24.8
- 3 廣瀬 照夫 南多摩 1:29.0

50米平泳

- 1 宇田久壽秀 中 央 33.2
- 2 島本 恭治 南多摩 37.4
(36.8)
- 3 山本 誠 荒 川 38.0

100米平泳

1	宇田久壽秀	中央	1:14.8
2	中村 太一	澁谷	1:29.8
3	島本 恭治	南多摩	1:30.2

200米リレー

1	佐々木・榎谷・宇田・東	中央	1:56.4
2	松岡・山崎・待野・中崎	台東	2:02.2
3	鈴木・荒野・川島・金田	北多摩	2:07.4

300米メドレーリレー

1	榎谷・宇田・佐々木	中央	1:35.6
2	廣瀬・島本・池上	南多摩	1:44.2
3	松田・佐藤・中崎	台東	1:49.8

中學女子之部

50米自由形

1	和田	八王子五	42.2
2	谷口	"	42.2 (41.8)
3	引地	瀬田	43.2

100米自由形

1	和田	八王子五	1:43.6
2	篠崎	"	1:44.0
3	須藤	成徳	1:52.2

50米背泳

1	須藤	成徳	46.6
2	櫻井	"	46.8
3	大野	八王子五	56.0

100米背泳

1	須藤	成徳	1:44.4
2	櫻井	"	1:46.0
3	大野	八王子五	2:07:0

50米平泳

1	新井	八王子五	49.0
2	河井	"	51.6
3	石井	"	53.0

100米平泳

1	新井	八王子五	1:51.4
2	引地	瀬田	1:54.0
3	河井	八王子五	1:58.4

200米リレー

1	谷口・篠崎・新井・和田		
---	-------------	--	--

八王子五	2:58.4
2 櫻井・須藤・米山・須藤	
成徳	3:09.0
3 横山・大竹・沼尾・引地	
瀬田	3:35.0

150米メドレーリレー

1 須藤・保科・櫻井	
成徳	2:22.8
2 大野・新井・谷口	
八王子五	2:26.0

高校女子之部

50米自由形

1 神保なほみ	城南	36.2
2 園井千恵子	成徳	38.2
3 二宮 正子	白鷗	38.6

100米自由形

1 神保なほみ	城南	1:28.4
2 二宮 正子	白鷗	1:31.2
3 園井千恵子	成徳	1:33.4

50米背泳

1 小椋とみ子	成徳	39.8
2 小椋とし子	"	40.2
3 室田	鷺宮	57.2

100米背泳

1 小椋とみ子	成徳	1:26.2
2 小椋とし子	"	1:28.2

100米平泳

1 土橋八重子	南多摩	1:41.8
2 立花 文子	成城	1:42.4
3 板倉	墨田川	1:53.4

200米平泳

1 土橋八重子	南多摩	3:39.4
2 立花 文子	成城	3:40.8
3 八並 紀子	鷺宮	4:10.8

200米リレー

1 園井・三瓶・笠井・丸田	
成徳	6:40.4

300米メドレーリレー

1 小椋・園井・丸田	
成徳	5:00.0

一般女子之部

50米自由形

1 塚本千賀子	南多摩	35.6
2 保見 紀子	中央	36.2
3 峰屋 信子	台東	39.0

100米自由形

1 塚本千賀子	南多摩	1:21.6
2 保見 紀子	中央	1:22.2
3 峰屋 信子	台東	1:28.8

50米平泳

1 大野 敦子	南多摩	43.6
2 佐藤 道子	中央	48.4
3 三枝 桃子	北	48.8

100米平泳

1 大野 敦子	南多摩	1:33.0
2 佐藤 道子	中央	1:44.6
3 三枝 桃子	北	1:46.0

濱名灣高校

濱名灣游泳協会

6月17日 濱松市營元城プール

(50米) 公認

(氣温28° 水温23°)

100米自由形

1 新井 宣夫	沼商	1:05.2
2 上堀 靜	盤農	1:06.8
3 服部 一三	津島	1:07.0

200米自由形

1 神谷 俊司	盤農	2:26.6
2 大場 護	袋井	2:29.2
3 上堀 靜	盤農	2:29.6

400米自由形

1 浅野 滿	中京	4:55.8
2 山下 勝次	濱北	5:12.0
3 足立 達	盤農	5:15.8 (5:12.8)

800米自由形

1 浅野 滿	中京	10:32.0
2 山下 勝次	濱北	10:44.8
3 足立 達	盤農	11:00.4

100米背泳

1 倉橋 範彦	濱西	1:11.8
2 野末 俊夫	濱北	1:17.0
3 近藤久仁正	中京	1:17.8

200米背泳

1 倉橋 範彦	濱西	2:40.0
2 野末 俊夫	濱北	2:47.8
3 近藤久仁正	中京	2:49.4

200米平泳

1 大橋 秀之	津島	2:53.0
---------	----	--------

- 2 高柳 昌弘 濱 西 2:56.0
3 弘中 誠治 袋 井 2:58.4

400米平泳

- 1 大橋 秀之 津 島 6:15.4
2 廣 達夫 中 京 6:18.0
3 弘中 誠治 袋 井 6:19.2

200米リレー

- 1 平田・大森・梶浦・浅野
中 京 1:55.8
2 杉森・太田・鈴木・倉橋
濱 西 1:57.2
3 山内・石津・金子・竹内
濱 商 2:01.2

800米リレー

- 1 神谷・山下・足立・上堀
盤 農 10:00.2
2 梶浦・鈴木・大森・浅野
中 京 10:03.6
3 杉森・倉橋・太田・鈴木
濱 西 10:28.4

300米メトラーリレー

- 1 倉橋・高柳・鈴木
濱 西 3:38.6
2 野末・永井・山下
濱 北 3:46.8
3 近藤・廣・浅野
中 京 3:47.4

得 点

- 1 中京高 55
2 盤農高 50
3 濱西高 39
4 濱北高 29
5 津島高 24

石川縣記録會

石川縣水泳協会

6月17日 松任プール(50米)公認

(氣温21.5° 水温22.5°)

男子之部

100米自由形

- 1 森田 一雄 縣 廳 1:09.3
2 蚊戸 章一 北國銀行 1:10.2
3 大橋 俊信 縣 廳 1:11.0

200米自由形

- 1 森田 一雄 縣 廳 3:38.2
2 向井 保 泉丘高 3:43.4
3 前田 孝男 二水高 3:43.8

400米自由形

- 1 向川 保 泉丘高 5:46.5
2 森田 一雄 縣 廳 5:55.0
3 秋山 進 二水高 6:04.8

800米自由形

- 1 向川 保 泉丘高 12:07.8
2 秋山 進 二水高 12:43.0
3 森田 一雄 縣 廳 12:49.2

50米背泳

- 1 井上 正一 輪島水協 34.0
2 楠 敏明 七尾夕 36.8
3 市川 清 泉丘高 38.2

100米背泳

- 1 大橋 俊信 縣 廳 1:19.2
2 井上 正一 輪島水協 1:24.3
3 市川 清 泉丘高 1:11.0

100米平泳

- 1 木村 俊隆 金 大 1:21.0
2 宮川 貞夫 市工高 1:24.8
3 和澤 信夫 石川水協 1:28.6

200米平泳

- 1 宮川 貞夫 市工高 3:07.8
2 木村 俊隆 金 大 3:13.0
3 木原 宗俊 泉丘高 3:17.0

200米リレー

- 1 前田・吉島・秋山・谷尾
二水高 2:05.6
2 青山・山口・楠・大森
七尾夕 2:05.9
3 疋島・山下・倉部・藤井
羽昨高 2:10.2

800米リレー

- 1 前田・秋山・光谷・谷尾
二水高 11:25.8
2 向川・島田・市川・掛野
泉丘高 11:36.8
3 西・丹崎・端名・宮崎
金 大 11:47.0

300米メドレーリレー

- 1 大橋・会津・森田
縣 廳 4:02.0
2 春成・木村・西
金 大 4:07.4

3 吉島・瀧上・前田

二水高 4:09.0

女子之部

50米自由形

- 1 長谷川喜和子 泉丘高 41.4
2 岡田 榮子 七尾高 42.6
3 土田 淑子 泉丘高 56.0

50米背泳

1 岡田 榮子 七尾高 53.0

50米平泳

- 1 越崎つや子 石川水協 50.0
2 田中他榮子 二水高 50.8
3 山田 倭子 泉丘高 51.0

100米平泳

- 1 越崎つや子 石川水協 1:48.6
2 山田 倭子 泉丘高 1:49.6
3 土田 淑子 // 2:01.4

200米リレー

- 1 山田・高光・土田・長谷川
泉丘高 3:20.6

200米メドレーリレー

- 1 山田・土田・長谷川
泉丘高 5:53.6

日大對全九州

福岡縣水泳連盟

6月17日 大谷プール(50米)公認

(氣温24° 水温22°)

100米自由形

- 1 後藤 暢 九 州 1:01.0
2 丸山 茂幸 日 大 1:01.2
3 谷川禎次郎 // 1:02.0

200米自由形

- 1 後藤 暢 九 州 2:15.4
2 丸山 茂幸 日 大 2:15.6
3 谷川禎次郎 // 2:17.0

400米自由形

- 1 川畑 彌 日 大 4:51.8
2 本山 昌平 // 4:56.4
3 青木 行義 九 州 5:02.4

800米自由形

- 1 川畑 彌 日 大 10:13.8
2 青木 行義 九 州 10:32.4
3 久保田 認 // 10:34.8

50米背泳

1	黒佐 年明	九 州	32.4
2	上村 稔	日 大	33.2
3	黒佐 清	九 州	33.4

100米背泳

1	上村 稔	日 大	1:12.0
2	宮田 春雄	〃	1:12.2
3	黒佐 年明	九 州	1:12.6

100米平泳

1	萩原 孝男	日 大	1:13.6
2	板井 道生	九 州	1:13.8
3	山本 正雄	日 大	1:15.0

200米平泳

1	山本 正雄	日 大	2:43.4
2	毛利 洋一	〃	2:51.0
3	下坂 篤	〃	2:52.2

200米リレー

1	谷川・丸山・木本・小杉	日 大	1:50.0
2	大隈・大田黒・坂本・黒佐	九 州	1:51.6

300米メドレーリレー

1	黒佐・板井・後藤	九 州	3:26.2
2	宮田・萩原・谷川	日 大	3:26.6

安房一高對伊東高

伊豆駿河灣游泳協会

6月17日 伊東高プール(25米)
未公認
(気温35° 水温20.5°)

100米自由形

1	木村 正	伊 東	1:02.2
2	井原 孜	伊 東	1:02.4
3	庄司 嘉宏	安 房	1:02.8

200米自由形

1	井原 孜	伊 東	2:18.6
2	庄司 嘉宏	安 房	2:20.2
3	木村 正	伊 東	2:21.6

400米自由形

1	庄司 政雄	安 房	4:48.2
2	川口 友平	伊 東	5:04.4
3	粕谷 保	安 房	5:04.4

800米自由形

1	庄司 政雄	安 房	10:03.4
2	粕谷 保	安 房	10:40.0
3	川口 友平	伊 東	10:42.0

50米背泳

1	佐藤 忠	安 房	35.4
2	野山 守	安 房	35.8
3	小松 茂	伊 東	36.2

100米背泳

1	野山 守	安 房	1:17.0
2	佐藤 忠	安 房	1:18.0
3	小松 茂	伊 東	1:18.2

100米平泳

1	石井 弘	安 房	1:15.6
2	黒川 孝吉	安 房	1:18.0
3	後藤 明	伊 東	1:23.0

200米平泳

1	石井 弘	安 房	2:52.0
2	黒川 孝吉	安 房	2:52.4
3	後藤 明	伊 東	3:08.4

200米リレー

1	井原・柴田・鈴木・木村	伊 東	1:52.8
2	庄司・粕谷・藤平・庄司	安 房	1:55.8

800米リレー

1	木村・井原・鈴木・川口	伊 東	9:26.8
2	庄司・粕谷・藤平・庄司	安 房	9:36.8

300米メドレーリレー

1	小松・後藤・木村	伊 東	3:36.4
2	野山・黒川・庄司	安 房	3:39.6

得 点

1	安房第一高	32
2	伊東高	25

大阪学生選手権

大阪水泳協会

6月24日 寶塚プール(50米) 公認

50米自由形

1	小中彦司郎	関 大	28.6
2	上村 郁夫	阪 大	28.8

3	櫻井 五郎	関 大	29.0
---	-------	-----	------

100米自由形

1	山本 新吾	関 大	1:01.2
2	上村 郁夫	阪 大	1:06.8
3	天野	関 大	1:07.0

400米自由形

1	大井 侃一	関 大	5:27.0
2	南	〃	5:48.2
3	橋本	近 大	5:48.2

800米自由形

1	高井 税	関 大	11:08.0
2	田中 利一	〃	11:24.6
3	竹本	近 大	11:40.2

50米背泳

1	宮内	阪 大	35.6
2	上田 正治	関 大	37.0
3	森安 正	阪 大	37.2

100米背泳

1	上田 正治	関 大	1:20.0
2	宮内	阪 大	1:20.2
3	森安 正	〃	1:23.2

100米平泳

1	小林幸次郎	関 大	1:19.2
2	駒村 秀雄	市 大	1:19.8
3	中村 完三	関 大	1:23.8

200米平泳

1	中村 完三	関 大	3:02.2
2	岡野 信三	〃	3:06.0
3	駒村 秀雄	市 大	3:06.8

200米リレー

1		関 大	1:54.2
2		阪 大	2:00.8
3		近 大	2:07.0

800米リレー

1	高井・田中・小山・山本	関 大	9:45.6
2		學 大	11:05.2
3		近 大	11:56.6

300米メドレーリレー

1	上田・安田・天野	関 大	3:53.6
2		阪 大	3:59.8
3		學 大	4:03.0

得 点

1	關西大學	117
2	大阪大學	59
3	近畿大學	44
4	大阪市立大學	41
5	學藝大學	24

八幡製鐵對全大分

大分縣水泳協会

6月24日 大分市営プール(50米)
公認

(氣温28° 水温24°)

100米自由形

- 1 坂本 幸盛 八幡 1:02.8
- 2 太田黒八郎 " 1:04.0
- 3 田口 和郎 大分 1:05.4

200米自由形

- 1 坂本 幸盛 八幡 2:21.8
- 2 平城 哲夫 " 2:26.2
- 3 加島 博 大分 2:28.0

400米自由形

- 1 久保田 認 大分 5:00.4
- 2 菅 哲政 " 5:10.0
- 3 川野 教 " 5:14.0

800米自由形

- 1 久保田 認 大分 10:28.0
- 2 菅 哲政 " 10:39.0
- 3 川野 教 " 10:46.2

50米背泳

- 1 黒佐 年明 八幡 32.2
- 2 竹本 剛 " 33.3
- 3 黒佐 清 大分 34.0

100米背泳

- 1 黒佐 年明 八幡 1:13.0
- 2 黒佐 清 大分 1:13.8
- 3 野村 輝夫 " 1:16.0

100米平泳

- 1 板井 道生 大分 1:13.6
- 2 原田 悦治 八幡 1:17.4
- 3 安部 福次 " 1:19.6

200米平泳

- 1 板井 道生 大分 2:51.0
- 2 原田 悦治 八幡 2:53.2
- 3 福江 與一 " 2:53.4

200米リレー

- 1 太田黒・坂本・清田・黒佐
八幡 1:51.0
- 2 黒佐・田口・瀧・加島
大分 1:55.2

300米メドレーリレー

- 1 黒佐・原田・坂本
八幡 3:29.0

2 黒佐・板井・加島

大分 3:29.4

得点

- 1 八幡製鐵 103
- 2 全大分 93

東京・横濱・八王子・伊東

女子四都市對抗

伊豆駿河灣水泳協会

6月24日 伊東高プール(25米)
未公認

(氣温28° 水温25°)

50米自由形

- 1 新井 恵子 八王子 37.0
- 2 神保なおみ 東京 37.2
- 3 北澤 敏子 伊東 37.2

100米自由形

- 1 保見 紀子 東京 1:22.4
- 2 高橋美恵子 八王子 1:22.4
- 3 北澤 敏子 伊東 1:22.8
- 4 新井 恵子 八王子 1:27.4

200米自由形

- 1 塚本千賀子 八王子 2:53.4
- 2 保見 紀子 東京 3:00.8
- 3 鈴木 慶子 伊東 3:10.4
- 4 山中 宏子 横濱 3:20.4

400米自由形

- 1 塚本千賀子 八王子 6:10.0
- 2 鈴木 慶子 伊東 6:39.4
- 3 二宮 正子 東京 6:53.6
- 4 山中 宏子 横濱 6:57.4

50米背泳

- 1 小椋とし子 東京 40.2
- 2 小椋とみ子 " 41.0
- 3 三浦 秀 八王子 41.8
- 4 石井喜美子 伊東 43.8

100米背泳

- 1 小椋とし子 東京 1:26.2
- 2 小椋とみ子 " 1:27.6
- 3 三浦 ヒデ 八王子 1:29.0
- 4 石井喜美子 伊東 1:35.4

100米平泳

- 1 大野 敦子 八王子 1:33.4
- 2 太田はるみ 横濱 1:38.4
- 3 立花 文子 東京 1:39.2

4 鳥居 文子 伊東 1:42.2

200米平泳

- 1 大野 敦子 八王子 3:14.2
- 2 土橋八重子 " 3:34.4
- 3 太田はるみ 横濱 3:36.2
- 4 立花 文子 東京 3:37.6

200米リレー

- 1 小椋・神保・二宮・保見
東京 2:26.6
- 2 塚本・高橋・新井・三浦
八王子 2:28.2
- 3 鈴木・井原・石井・北澤
伊東 2:34.0
- 4 古谷・太田・加藤・山中
横濱 2:50.0

300米メドレーリレー

- 1 三浦・大野・塚本
八王子 4:18.6
- 2 小椋・立花・保見
東京 4:28.2
- 3 石井・井原・北澤
伊東 4:36.8
- 4 平尾・川島・加藤
横濱 4:50.2

得点

- 1 東京 75
- 2 八王子 71
- 3 伊東 40
- 4 横濱 28

静岡中部高校

静岡水泳協会

6月24日 静岡商業プール(25米)
未公認

(氣温22° 水温19°)

100米自由形

- 1 伊豆川竹松 清商 1:06.4
- 2 竹下 宣志 島商 1:07.6
- 3 丸池 善朗 清商 1:10.2

200米自由形

- 1 望月 董 清商 2:40.0
- 2 伊豆川竹松 " 2:44.8
- 3 丸池 善朗 " 2:47.4

400米自由形

- 1 大川 皓司 清商 5:46.8

2 牧田 正治 清 商 5:47.8
 3 望月 董 // 5:53.0

800米自由形

1 牧田 正治 清 商 12:03.2
 2 大川 皓司 // 12:03.8
 3 前田 欣也 // 12:26.6

50米背泳

1 青木 壽男 清 商 36.8
 2 堺 試一 // 37.4
 3 澤野 弘 清 東高 38.6

100米背泳

1 青木 壽男 清 商 1:19.8
 2 堺 試一 // 1:21.4
 3 澤野 弘 清 東高 1:28.2

100米平泳

1 中山 利一 靜 商 1:24.6
 2 齋藤 武 清 商 1:27.4
 3 河村伊佐男 // 1:29.6

200米平泳

1 朝原 正躬 靜 商 3:12.4
 2 齋藤 武 清 商 3:12.4
 3 八木 陽司 // 3:14.6

200米リレー

1 丸池・牧田・望月・伊豆川
 清 商 2:05.4
 2 西上・山本・竹下・竹下
 島田商 2:06.0
 3 三竹・小柳・萩原・野中
 城 内 高 2:08.6

800米リレー

1 杉田・杉山・奥島・前川
 靜 商 11:26.8
 2 松野・大村・萩原・川口
 清 商 11:37.4
 3 萩原・小柳・小島・篠原
 城 内 高 11:50.0

300米メドレーリレー

1 青木・齋藤・伊豆川
 清 商 A 3:54.2
 2 堺・中山・前川
 靜 商 A 4:02.6
 3 澤野・山下・桑原
 清 東 高 4:11.4

得点

1 清水商高 107
 2 静岡商高 67
 3 清水東高 24

4 城 内 高 14
 5 島田商高 10
 6 静岡市高 2

京 都 学 生

京都水泳協会

6月24日 同志社大プール(25米)
 未公認

100米自由形

1 片山 拓三 立 命 1:03.2
 2 山本 衛 // 1:04.6
 3 菅 定一 京 大 1:05.2

200米自由形

1 二宮 節彦 同 大 2:19.8
 2 山本 衛 立 命 2:20.8
 3 大熊 嶸 同 大 2:28.5

400米自由形

1 松根 勉 同 大 5:07.2
 2 二宮 節夫 // 5:12.4
 3 中村 元史 立 命 5:16.8

800米自由形

1 松根 勉 同 大 10:49.2
 2 塩野 安章 // 10:58.0
 3 久保 武生 立 命 11:16.2

50米背泳

1 曾根 嘉夫 同 大 33.8
 2 水津禮三郎 // 34.8
 3 百合嘉四郎 立 命 35.0

100米背泳

1 曾根 嘉夫 同 大 1:15.2
 2 水津禮三郎 // 1:15.6
 3 百合嘉四郎 立 命 1:17.4

100米平泳

1 三浦英吉郎 立 命 1:14.2
 2 鍛冶 友康 同 大 1:17.2
 3 岩下 正氣 // 1:19.6

200米平泳

1 三浦英吉郎 立 命 2:54.0
 2 鍛冶 友康 同 大 2:57.2
 3 中村 之治 立 命 3:03.6

200米リレー

1 三浦・山本・百合・片山
 立 命 1:54.4
 2 二宮・小川・大熊・松根
 同 大 1:55.2

3 菅・浮田・生野・小林
 京 大 1:58.8

800米リレー

1 二宮・杉本・塩野・松根
 同 大 9:37.2
 2 中村・片山・百合・山本
 立 命 9:54.0

湖 東 高 校 中 学

琵琶湖水泳協会

6月24日 滋賀大プール(50米)未公認
 (気温25° 水温22°)

高 男 之 部

100米自由形

1 松 林 彦 根 1:11.2
 2 廣 田 八 日 市 1:13.5
 3 濱 川 彦 根 1:14.2

200米自由形

1 箕 田 長 濱 2:38.4
 2 松 林 彦 根 2:45.8
 3 三 森 // 2:48.0

400米自由形

1 箕 田 長 濱 5:56.3
 2 三 森 彦 根 5:59.6
 3 山 田 八 日 市 6:25.0

100米背泳

1 堀 部 彦 根 1:26.4
 2 田 井 中 // 1:26.8
 3 野々目 八 日 市 1:32.8

100米平泳

1 原 彦 根 1:21.8
 2 前 野 // 1:28.2
 3 西 川 八 幡 1:31.0

200米平泳

1 原 彦 根 3:03.4
 2 西 山 // 3:12.5
 3 西 川 八 幡 3:18.2

200米リレー

1 村松・田井中・三森・濱川
 彦 根 2:07.6
 2 山田・吉崎・大菅・廣田
 八 日 市 2:09.2
 3 菅原・北川・箕田・吉田
 長 濱 2:09.4

800米リレー

- 1 大橋・野々目・吉崎・山田
八日市 11:38.4
- 2 吉田・菅原・木下・箕田
長濱 11:51.8
- 3 堀部・原・三森・松林
彦根 11:52.0

300米メドレーリレー

- 1 勝沼・原・松林
彦根 4:05.0
- 2 野々目・馬場・廣田
八日市 4:19.0
- 3 伊庭・西川・井上
八幡

高女之部

50米自由形

- 1 中西 彦根 53.6

100米自由形

- 1 西村 彦根 1:47.8

200米自由形

- 1 栗生 彦根 4:05.0
- 2 西村 // 4:07.4
- 3 石川 八日市 4:17.8

50米背泳

- 1 山下 彦根 48.3

100米背泳

- 1 山下 彦根 1:47.0

100米平泳

- 1 根岸 彦根 1:40.6
- 2 藤原 愛知川 1:51.8
- 3 若林 八日市 1:52.5

200米平泳

- 1 根岸 彦根 3:40.8
- 2 若林 八日市 4:03.8
- 3 藤原 愛知川 4:05.0

200米リレー

- 1 山下・中西・根岸・西村
彦根 3:11.8

300米メドレーリレー

- 1 山下・根岸・西村
彦根

中男之部

50米自由形

- 1 木村 聖徳 38.2
- 2 森 // 38.4

- 3 磯貝 彦根 39.3

200米自由形

- 1 藤原 聖徳 2:55.0
- 2 城 // 3:10.8
- 3 北村 彦根 3:15.5

400米自由形

- 1 藤原 聖徳 6:18.1
- 2 城 // 6:48.6
- 3 北村 彦根 7:09.8

50米背泳

- 1 若林 彦根 44.6
- 2 中川 聖徳 48.8
- 3 田中 // 53.0

100米背泳

- 1 若林 彦根 1:40.2
- 2 中川 聖徳 1:50.0
- 3 田中 // 1:57.2

100米平泳

- 1 河邑 聖徳 1:33.0
- 2 松林 彦根

200米リレー

- 1 城・森・坪田・藤原
聖徳 2:26.5
- 2 北村・川崎・北村・磯貝
彦根 2:35.0

中女之部

50米自由形

- 1 武永 彦根 51.3
- 2 吉田 // 54.8

100米自由形

- 1 尾本 彦根 2:06.6
- 2 武永 // 2:58.0

50米背泳

- 1 西村 彦根 55.8
- 2 尾本 // 1:01.0

50米平泳

- 1 根岸 彦根 1:06.3

三重縣体育

三重水泳連盟

6月24日 三重大學農學部プール(25米)

未公認

(氣温29° 水温20°)

中學男子之部

100米自由形

- 1 大柳 義雄 橋北 1:19.7
- 2 村田 修 // 1:21.0
- 3 藤松 旭 橋内 1:26.2

200米自由形

- 1 村田 修 橋北 3:04.4
- 2 大柳 義雄 // 3:05.6
- 3 北尾 靖博 橋内 3:24.6

100米背泳

- 1 森 正之 橋北 1:58.6
- 2 津坂 等 // 2:01.8

100米平泳

- 1 高倉 重雄 橋北 1:38.8
- 2 青木 甫 // 1:44.5
- 3 大柳 義雄 // 1:45.0

200米リレー

- 1 大郷・高倉・長谷川・村田
橋北 A 2:36.2
橋北 B 2:53.0

300米メドレーリレー

- 1 森・高倉・大柳
橋北 4:47.0
- 2 橋内 6:02.0

一般男子之部

100米自由形

- 1 岩間 冬青 北Δ口 1:07.6
- 2 川村 孝助 三泗 1:10.0
- 3 西尾 雅夫 度會 1:11.5

200米自由形

- 1 森 正進 藝濃 2:30.5
- 2 井爪光一郎 志摩 2:36.9
- 3 小川 三夫 北Δ口 2:40.8

400米自由形

- 1 森 正進 藝濃 5:26.1
- 2 小川 光夫 北Δ口 5:43.0
- 3 井爪光一郎 志摩 5:51.2

100米背泳

- 1 村田 守一 志 1:19.0
- 2 森井 章 山田 1:24.9
- 3 伊藤 幸治 志摩 1:30.4

200米平泳

- 1 松尾 行浩 志摩 3:12.9
- 2 木村 正芳 三泗 3:13.8
- 3 山中 貞雄 // 3:15.2

200米リレー

- 1 濱田・上池・奥村・岩間
北ム口 2:03.4
- 2 磯部 2:08.8
- 3 四日市 2:10.4

300米メドレーリレー

- 1 出口・松尾・井爪
志摩 4:06.4
- 2 四日市 4:24.2
- 3 四日市工 4:29.0

一般女子之部

50米自由形

- 1 谷水 研子 磯部 1:01.8

100米平泳

- 1 谷水 研子 磯部 2:28.2

五大都市体育

神奈川縣水泳連盟

7月1日 野毛山プール(50米)公認
(気温23° 水温22°)

男子之部

50米自由形

- 1 上田 義人 大阪 28.2
- 2 峯島 久吉 横濱 28.4
- 3 福富純一郎 大阪 28.4

100米自由形

- 1 柳本 隆 大阪 1:05.4
- 2 谷合 繁男 // 1:05.4
- 3 水野 亘 名古屋 1:07.0

400米自由形

- 1 濱田 芳夫 大阪 5:21.4
- 2 武藤 薫 名古屋 5:21.6
- 3 箱部 照夫 大阪 5:40.2

50米背泳

- 1 伊岐見 勝 名古屋 35.4
- 2 山本 勳 京都 35.6
- 3 妙中 要造 大阪 35.8

100米背泳

- 1 伊岐見 勝 名古屋 1:18.0
- 2 川島 義一 京都 1:19.0
- 3 上山 敏男 大阪 1:20.2

100米平泳

- 1 五十君七彦 名古屋 1:18.8

- 2 葉室 鐵夫 大阪 1:20.0

- 3 鈴木 重一 横濱 1:22.4

200米平泳

- 1 葉室 鐵夫 大阪 3:00.8
- 2 五十君七彦 名古屋 3:02.2
- 3 小島 豊一 京都 3:05.0

200米リレー

- 1 谷合・柳本・福富・上田
大阪 1:54.2
- 2 水野・橋本・倉地・杉田
名古屋 1:54.6
- 3 富樫・鯉登・夏目・峯島
横濱 1:57.2

800米リレー

- 1 柳本・山中・野崎・濱田
大阪 10:21.0
- 2 武藤・浅野・志村・富田
名古屋 10:23.2
- 3 荒木・大石・西岡・井口
神戸 10:45.4

300米メドレーリレー

- 1 伊岐見・五十君・水野
名古屋 3:42.0
- 2 上山・葉室・谷合
大阪 3:45.0
- 3 鈴木・岸・鉛口
神戸 3:52.0

得点

- 1 大阪 77
- 2 名古屋 61
- 3 神戸 28
- 4 京都 28
- 5 横濱 23

女子之部

50米自由形

- 1 井上 美代 名古屋 37.4
- 2 石田 道子 京都 38.8
- 3 林 徳榮 // 39.4

100米自由形

- 1 山中 宏子 横濱 1:28.4
- 2 山本 英子 京都 1:29.4
- 3 塚原 康子 // 1:30.0

200米自由形

- 1 山中 宏子 横濱 3:17.4
- 2 石田 道子 京都 3:21.6
- 3 山本 英子 // 3:22.0

50米背泳

- 1 佐藤喜美子 京都 41.6
- 2 祖久江 榮子 名古屋 48.6
- 3 大江 弘子 京都 49.8

100米背泳

- 1 佐藤喜美子 京都 1:30.4
- 2 大江 弘子 // 1:47.6
- 3 小笠原節子 大阪 1:54.4

100米平泳

- 1 菅 操子 神戸 1:44.8
- 2 九鬼十女子 横濱 1:45.0
- 3 中谷富貴子 大阪 1:46.0

200米平泳

- 1 菅 操子 神戸 3:43.4
- 2 中谷富貴子 大阪 3:46.4
- 3 黒瀬 寛子 京都 3:48.8

200米リレー

- 1 塚原・石田・林・谷口
京都 2:34.8
- 2 井上・祖久江・廣・竹村
名古屋 2:46.4
- 3 原・西川・辻本・上田
大阪 2:49.0

300米メドレーリレー

- 1 佐藤・黒瀬・石田
京都 4:47.0
- 2 小笠原・中谷・上田
大阪 5:12.0
- 3 祖久江・神谷・井上
名古屋 5:23.4

得点

- 1 京都 70
- 2 大阪 43
- 3 名古屋 26
- 4 神戸 26
- 5 横濱 21

東海中学校

濱名灣水泳協会

7月1日 濱松市營元城
プール(50米)公認
(気温24.5° 水温22.5°)

男子之部

100米自由形

- 1 古田 研一 龍洋 1:12.2

2 楠野 惠弘 雄 踏 1:15.2
 3 片山 晴雄 新 居 1:15.8

200米自由形

1 古田 研一 龍 洋 2:38.0
 2 松本 洋 鷺 津 2:44.2
 3 畑野 保司 村 櫛 2:46.0
 (2:44.6)

400米自由形

1 加藤 正美 雄 踏 5:43.2
 2 山岡 勤 龍 洋 5:50.8
 (5:48.4)
 3 松浦喜久郎 新 居 5:51.0
 (5:49.2)

800米自由形

1 山岡 勤 龍 洋 11:52.6
 (11:39.8)
 2 松浦喜久郎 新 居 12:03.6
 3 加藤 正美 雄 踏 12:11.2
 (12:00.0)

50米背泳

1 渥美德太郎 雄 踏 38.6
 (38.2)
 2 中村 隆一 西 部 39.2
 (38.4)
 3 鈴木 宏昌 新 居 39.6

100米背泳

1 渥美德太郎 雄 踏 1:24.2
 (1:23.4)
 2 鈴木 宏昌 新 居 1:25.0
 3 中村 隆一 西 部 1:26.8
 (1:25.4)

100米平泳

1 鈴木 秀夫 龍 洋 1:29.4
 2 佐藤 信康 鷺 津 1:31.0
 (1:30.4)
 3 伊達 英則 西 部 1:31.2
 (1:29.8)

200米平泳

1 鈴木 秀夫 龍 洋 3:12.6
 2 佐藤 信康 鷺 津 3:19.8
 (3:18.6)
 3 伊達 英則 西 部 3:21.6
 (3:16.0)

400米リレー

1 山岡・高橋・伊與田・古田
 龍 洋 4:56.0

2 楠野・渥美・古橋・加藤
 雄 踏 4:58.2

3 山本・片山・徳増・杉浦
 新 居 5:07.0

得点

1 龍 洋 68
 2 雄 踏 52
 3 新 居 29
 4 西 部 26
 5 鷺 津 20

女子之部

50米自由形

1 鈴木 和子 舞 坂 38.8
 2 田中とし子 村 櫛 44.8
 3 菊地モモ子 鷺 津 45.6

100米自由形

1 鈴木 和子 舞 坂 1:30.4
 2 田内志那子 鷺 津 1:48.2
 3 田中とし子 村 櫛 1:48.4

200米自由形

1 中川ゆみ子 東 部 4:25.2

50米背泳

1 新井 里子 舞 坂 44.0
 2 藤原 久子 鷺 津 52.0
 3 藤田美代子 村 櫛 56.4

100米背泳

1 新井 里子 舞 坂 1:39.6
 2 菊地モモ子 鷺 津 1:52.2
 3 藤原 久子 " 1:57.8

100米平泳

1 木村 春美 舞 坂 1:49.6
 2 藤井 竹乃 " 1:52.4
 3 杉田つぎ子 村 櫛 2:08.4

200米平泳

1 木村 春美 舞 坂 3:53.4
 2 藤井 竹乃 " 4:10.8
 3 鈴木 岑子 村 櫛 4:20.6

400米リレー

1 新井・藤井・木村・鈴木
 舞 坂 6:53.6
 2 田内・山本・菊地・藤原
 鷺 津 7:30.2

300米メドレーリレー

1 新井・木村・鈴木
 舞 坂 4:56.0

2 藤原・山本・田内
 鷺 津 5:49.0

3 藤田・鈴木・田中
 村 櫛 6:00.0

得点

1 舞 坂 66
 2 鷺 津 42
 3 村 櫛 33
 4 東 部 15

九州各縣對抗

熊本縣水泳協會

7月1日 熊本高プール(50米)未公認
 (氣温30° 水温23°)

男子之部

100米自由形

1 後藤 暢 福 岡 1:01.3
 2 坂本 幸盛 " 1:02.9
 3 猿渡 敬昭 熊 本 1:04.7
 (1:04.4)
 4 姫田 初男 " 1:05.0
 5 加島 博 大 分 1:06.0

200米自由形

1 後藤 暢 福 岡 2:21.8
 2 増田 進 熊 本 2:24.2
 (2:23.8)
 3 坂本 幸盛 福 岡 2:25.0
 4 瀧 整 大 分 2:27.4
 5 川野 教 " 2:28.0
 (2:27.6)

400米自由形

1 青木 行義 熊 本 5:00.5
 2 石都 明 福 岡 5:01.0
 3 横田 宣明 " 5:02.4
 4 川野 教 大 分 5:10.2
 5 久保田 認 " 5:13.6

1500米自由形

1 青木 行義 熊 本 19:52.0
 2 石橋 明 福 岡 19:57.1
 3 久保田 認 大 分 20:47.0
 4 横田 宣明 福 岡 20:48.2
 5 菅 哲政 大 分 20:50.3

50米背泳

1 黒佐 年明 福 岡 33.1

2	黒佐 清	大分	33.8
3	河野 通宏	鹿兒島	34.2
4	竹本 剛	福岡	35.0
5	川野 英隆	熊本	35.2

女子之部

100米自由形

1	森下美奈子	熊本	1:17.4
2	成清 静子	福岡	1:20.6
3	後藤 昌子	〃	1:22.2
4	村田 照子	熊本	1:24.1
5	井上 和子	宮崎	1:26.5

400米自由形

1	森下美奈子	熊本	6:17.5
2	吉田 せつ	〃	6:25.0
3	稲井 淳子	福岡	6:27.3
4	成清 静子	〃	6:35.5
5	松浦ステ子	宮崎	6:47.7

100米背泳

1	稲葉ちづ子	大分	1:34.0
2	米田 菊枝	福岡	1:40.3
3	程島 祥子	長崎	1:40.4
4	柿原 歌子	熊本	1:41.0
5	蒲瀬トキ子	福岡	1:46.7

200米平泳

1	秋田ちづ子	福岡	3:20.6
2	黒田多鶴子	〃	3:35.0
3	矢野 啓子	熊本	3:45.4
4	井下 郁子	宮崎	3:49.2

200米リレー

1	米田・後藤・成清・稲井	福岡	2:26.6
2	村田・村崎・吉田・森下	熊本	2:27.6
3	松浦・竹本・黒田・井上	宮崎	2:39.4

300米メドレーリレー

1	米田・秋田・後藤	福岡	4:36.0
2	柿原・矢野・森下	熊本	4:45.2
3	黒田・安田・竹本	宮崎	5:10.4

得点

男子	
1	福岡 86
2	熊本 58
3	大分 55
4	鹿兒島 14
5	宮崎 5
6	長崎 1

女子

1	福岡	岡崎	49
2	熊本	宮崎	40
3	大分	長崎	19
4	熊本	宮崎	7
5	熊本	宮崎	5

岩手縣四高對抗

岩手縣水泳協會

7月1日 九戸水協假設プール(25米)

未公認

(氣温25° 水温17°)

50米自由形

1	下堀十三男	一高	30.6
2	扇久保光男	久高	32.0
3	菅 義夫	福高	33.3

100米自由形

1	五日市茂三	福高	1:06.8
2	下堀十三男	一高	1:08.2
3	扇久保光男	久高	1:10.0

200米自由形

1	五日市茂三	福高	2:34.2
2	福島 一男	久高	2:39.5
3	川代 進一	〃	2:47.6

400米自由形

1	福島 一男	久高	5:54.6
2	高瀬 一行	福高	6:01.6
3	川代 進一	久高	6:01.8

50米背泳

1	坂下 節雄	福高	38.2
2	根城 完實	八高	38.5
3	西野 卯	福高	39.8

100米背泳

1	坂下 節雄	福高	1:24.0
2	根城 完實	八高	1:30.0
3	西野 卯	福高	1:32.0

100米平泳

1	佐藤 勝久	久高	1:26.4
2	岡野 朝男	〃	1:26.4
3	大澤 雅弘	一高	1:27.4

200米平泳

1	佐藤 勝久	久高	3:08.2
2	川村己代治	一高	3:15.5
3	黒澤 忠助	久高	3:19.5

400米リレー

- 1 大阪・五戸・金山・佐々木
八高 4:58.8
- 2 中野・川代・福島・扇久保
久高 4:59.0
- 3 菅・田口・高瀬・五日市
福高 5:10.3

300米メドレーリレー

- 1 坂下・生内・五日市
福高 4:02.2
- 2 鈴木・大澤・下堀
一高 4:17.9
- 3 平谷・黒澤・扇久保
久高 4:32.1

得点

- ① 福岡高 55
- ② 久慈高 51
- ③ 一戸高 29
- ④ 八戸高 21

西湖地区記録會

琵琶湖水泳協会

7月1日 東洋レイヨンプール(25米)
未公認
(気温26° 水温23°)

高男之部

100米自由形

- 1 西田 清祐 草津 1:08.0
- 2 森村 幸光 甲賀 1:10.0
- 3 高木 聖徳 大津 1:11.6

200米自由形

- 1 西田 清祐 草津 2:33.0
- 2 日下 静利 大津 2:34.0
- 3 西村 庄也 // 2:41.0

400米自由形

- 1 日下 静利 大津 5:35.0
- 2 西田 静人 // 5:37.0
- 3 東 伸郎 // 5:52.0

1500米自由形

- 1 西田 静人 大津 23:02.0
- 2 林 眞佐弘 // 23:31.4
- 3 中村 隆 甲賀 24:07.8

50米背泳

- 1 中島 清之 大津 38.0

- 2 富元 啓介 // 39.4
- 3 中藪 洋 甲賀 39.8

100米背泳

- 1 中島 清之 大津 1:23.0
- 2 富元 啓介 // 1:28.8
- 3 木下 明 // 1:30.2

100米平泳

- 1 竹内 徴 草津 1:21.8
- 2 松原 淳文 甲賀 1:25.0
- 3 田中 昌夫 大津 1:26.0

200米平泳

- 1 竹内 徴 草津 3:00.6
- 2 松原 淳文 甲賀 3:06.2
- 3 田中 昌夫 大津 3:10.2

200米リレー

- 1 西村・高木・日下・中島
大津 A 2:00.8
- 2 森村・中村・笹井・吉澤
甲賀 2:09.4
- 3 中神・山元・林・西田
草津 2:11.8

800米リレー

- 1 東・高木・西田・日下
大津 A 10:42.2
- 2 吉澤・笹井・中村・森村
甲賀 11:17.2
- 3 竹内・山元・中神・西田
草津 11:26.6

300米メドレーリレー

- 1 中島・田中・西村
大津 A 3:57.4
- 2 中藪・坂原・森村
甲賀 4:07.0
- 3 木下・吉越・東
大津 C 4:09.0

中男之部

100米自由形

- 1 角倉 忠之 粟津 1:18.6
- 2 門多 宣夫 // 1:19.0
- 3 高坂 勇 打出 1:30.8

200米自由形

- 1 吳 甲根 粟津 2:50.7
- 2 中村 喜八 打出 3:08.6
- 3 城 英雄 聖徳 3:11.2

400米自由形

- 1 藤原 明 聖徳 5:58.0

- 2 城 英雄 // 6:41.8
- 3 谷 誠一 粟津 6:53.0

800米自由形

- 1 藤原 明 聖徳 12:24.8
- 2 濱田 良造 粟津 13:41.4
- 3 久保 鎮雄 // 14:22.6

50米背泳

- 1 松田 憲治 打出 45.4
- 2 山本 次郎 粟津 46.0
- 3 中山 文雄 // 47.8

100米背泳

- 1 山本 次郎 粟津 1:40.0
- 2 中山 文雄 // 1:47.8
- 3 太田 耕吉 打出 1:51.2

100米平泳

- 1 河邑 博 聖徳 1:34.2
- 2 案浦 英雄 粟津 1:35.0
- 3 池田 晴美 打出 1:36.0

200米平泳

- 1 河邑 博 聖徳 3:28.4
- 2 川村 憲生 粟津 3:29.0
- 3 向 喜八郎 聖徳 3:36.2

400米リレー

- 1 門多・谷・河村・吳
粟津 A 5:16.8
- 2 中林・松田・西出・野間
打出 A 5:26.8
- 3 久保・木内・小山・角倉
粟津 B 5:55.6

300米メドレーリレー

- 1 山本・案浦・門多
粟津 A 4:31.2
- 2 松田・原田・野間
打出 A 4:41.0
- 3 中山・川村・吳
粟津 B 4:43.2

中女之部

50米自由形

- 1 吉田三津江 粟津 38.6
- 2 上西 茂子 // 44.0
- 3 松田久美子 // 46.2

100米自由形

- 1 吉田三津江 粟津 1:29.8
- 2 上西 茂子 // 1:37.0
- 3 松田久美子 // 1:43.8

200米自由形

1	吉田美津江	栗津	3:28.0
2	上西茂子	〃	3:48.2
3	松田久美子	〃	4:01.6

50米背泳

1	村上恭子	栗津	56.8
2	神野民子	〃	1:04.8
3	綾部操	〃	1:08.0

100米背泳

1	村上恭子	栗津	2:14.4
---	------	----	--------

100米平泳

1	瀬古ひろ子	栗津	1:48.2
2	野口輝代	〃	1:51.0
3	西川恭子	〃	2:14.2

200米平泳

1	瀬古ひろ子	栗津	3:52.8
2	野口輝代	〃	3:56.6
3	大岩保子	〃	4:44.4

200米リレー

1	上西・神野・松田・吉田	栗津	3:00.0
---	-------------	----	--------

300米メドレーリレー

1	神野・瀬古・吉田	栗津 A	5:35.4
2	村上・松岡・上西	〃 B	6:06.6
3	綾部・大岩・松田	〃 C	6:26.8

横濱学生

神奈川縣水泳連盟

7月6日 野毛山プール(50米)公認
(気温21° 水温21°)

50米自由形

1	中野英治	神大	30.8
2	西田富義	國大	31.2
3	森本明	關大	31.6

100米自由形

1	竹内英明	國大	1:08.0
2	山下保	神大	1:09.6
3	森本勝	關大	1:14.0

400米自由形

1	竹内光夫	國大	5:59.6
2	富田四郎	關大	6:03.8
3	石川正男	國大	6:07.2

800米自由形

1	中野英治	神大	12:15.8
2	富田四郎	關大	13:10.8
3	下島茂	國大	13:17.6

50米背泳

1	吉川章	關大	37.2
2	國富晃	國大	37.8
3	濱田拓	關大	38.4

100米背泳

1	吉川章	關大	1:25.0
2	濱田拓	〃	1:26.0
3	國富晃	國大	1:28.2

100米平泳

1	布施宥	關大	1:23.6
2	杉崎治男	〃	1:29.6
3	泉原敏夫	國大	1:34.4

200米平泳

1	布施宥	關大	3:09.4
2	杉崎治男	〃	3:21.0
3	山本暉	國大	3:25.6

200米リレー

1	森本・小泉・吉川・杉崎	關大	2:01.8
2	國富・西田・竹内・山口	國大	2:02.2
3	齋藤・長尾・中野・山下	神大	2:03.2

800米リレー

1	國富・下島・石川・竹内	國大	11:15.8
2	中野・竹本・長尾・山下	神大	11:33.6
3	大谷・岩崎・布施・富田	關大	11:42.2

関西選手権

關西支部

7月7-8日 大阪プール(50米)公認

(気温26° 水温20°
23.5° 26°)

競泳男子

50米自由形

1	竹内尙	大丸	27.8
2	長谷川健	洛北高	28.0

3	山中定道	日本生命	29.0 (28.4)
---	------	------	----------------

4	片山拓三	立命大	29.2 (28.4)
---	------	-----	----------------

5	望月知彰	日本生命	29.4 (29.0)
---	------	------	----------------

6	沖階吉	關學大	29.4 (29.0)
---	-----	-----	----------------

100米自由形

1	山本新吾	芦泳会	1:00.8
2	岩合傳	大丸	1:03.0 (1:02.8)

3	堀内良治	伊都高	1:04.2 (1:03.8)
---	------	-----	--------------------

4	小仲彦司郎	芦泳会	1:04.4
5	黒田等	關學大	1:04.6 (1:03.4)

6	樋口清治	〃	1:06.4 (1:03.4)
---	------	---	--------------------

200米自由形

1	山本新吾	芦泳会	2:18.8
2	岩合傳	大丸	2:22.6
3	山本衛	立命大	2:23.8

4	堀内良治	伊都高	2:24.0
5	樋口清治	關學大	2:24.8

6	二宮節夫	D S C	2:25.0
---	------	-------	--------

400米自由形

1	大野司	伊都高	5:04.2
2	小島幸晴	和商高	5:09.2 (5:08.4)

3	高井裕	芦泳会	5:13.6
4	二宮節夫	D S C	5:13.8

5	井端康夫	伊都高	5:18.0 (5:14.4)
---	------	-----	--------------------

6	西岡宏二	關學大	5:21.2
---	------	-----	--------

800米自由形

1	大野司	伊都高	10:35.8
2	小島幸晴	和商高	10:40.0
3	井端康夫	伊都高	11:04.4 (10:56.8)

4	高井裕	芦泳会	11:14.8
5	塩野安章	D S C	11:15.2

6	瀧永人	天理水協	11:20.2
---	-----	------	---------

50米背泳

1	山本速水	關學大	32.8
2	野上修	〃	33.4

3	長谷景治	都島工高	33.6 (33.2)
---	------	------	----------------

4 濱岡 昭八 大 丸	35.2
	(33.6)
5 三輪 悦造 桐 蔭 高	35.2
	(35.0)
6 白倉要之亮 日本生命	35.4
	(35.0)

100米背泳

1 山本 速水 關學大	1:14.8
2 長谷 景治 都島工高	1:15.2
3 野上 修 關學大	1:16.4
	(1:14.8)
4 濱岡 昭八 大 丸	1:16.8
	(1:15.2)
5 指尾 進治 伊 都 高	1:17.4
	(1:16.8)
6 三輪 悦郎 桐 蔭 高	1:17.6
	(1:16.8)

100米平泳

1 三浦英吉郎 立 命 大	1:16.6
2 鍛冶 友康 D S C	1:16.8
3 中村 研造 郡 山 高	1:16.8
4 川瀬 光和 關學大	1:17.0
	(1:16.2)
5 手塚 政一 關學高	1:17.6
	(1:16.8)
6 吉田 稔 五 條 高	1:17.8

200米平泳

1 中村 研造 郡 山 高	2:53.8
2 南 利昌 芦 泳 会	2:57.4
3 手塚 政一 關學高	3:00.0
	(2:59.8)
4 鍛冶 友康 D S C	3:02.0
5 吉田 稔 五 條 高	3:02.0
6 玉置 弘 伊都OB	4:02.4

女 子

50米自由形

1 新子 富子 天理水協	32.4
2 大石 康子 "	32.8
3 坂口 文子 五 條 高	33.6
	(33.2)
4 河原 澄子 朱 雀 高	36.2
	(35.4)
5 木村 檔 相 愛 高	37.2
	(36.6)
6 加藤八洲子 "	37.8
	(37.0)

100米自由形

1 新子 富子 天理水協	1:12.0
	(1:11.8)
2*田村美佐子 伊 都 高	1:14.8
3 宮部シズエ 野 原 中	1:17.6
4 大石 康子 天理水協	1:17.8
	(1:16.6)
5 坂口 文子 五 條 高	1:18.2
	(1:17.2)
6 北芝美恵子 "	1:22.0

200米自由形

1 田村美佐子 伊 都 高	2:44.0
2 山下 貞子 五 條 高	2:44.4
3 宮崎 亮子 "	2:48.6
	(2:49.8)
4 宮部シズエ 野 原 中	2:52.0
	(2:50.6)
5 青木 暉子 天理水協	2:55.4
6 北芝美恵子 五 條 高	3:00.6

400米自由形

1 山下 貞子 五 條 高	5:52.6
2 宮崎 亮子 "	5:53.6
3 青木 暉子 天理水協	6:11.6
4 瀧口三恵子 桐 蔭 高	6:42.8
5 橋本美代子 相 愛 高	6:52.2

50米背泳

1 野口 幸子 相 愛 高	38.8
	(38.4)
2 佐竹富美子 東 洋 レ	40.4
3 森前みどり 伊 都 高	40.4
	(40.2)
4 片岡 澄子 天理水協	40.6
	(39.6)
5 加納 照子 鴨 沂 高	41.0
	(40.2)
6 多田 悦子 五 條 高	42.2
	(41.0)

100米背泳

1 野口 幸子 相 愛 高	1:23.6
	日本新
2 片岡 澄子 天理水協	1:25.8
3 森前みどり 伊 都 高	1:26.0
4 多田 悦子 五 條 高	1:30.0
	(1:28.8)
5 加納 照子 鴨 沂 高	1:31.2

100米平泳

1 阪本 和子 五 條 高	1:33.8
---------------	--------

2 青木 政代 伊 都 高	1:34.6
3 井豆 信子 五 條 高	1:35.6
4 小川 康子 桐 蔭 高	1:36.6
5 北岡 充子 朱 雀 高	1:39.0
6 浦畑チズ子 伊 都 高	1:39.4

200米平泳

1 青木 政代 伊 都 高	3:17.6
2 阪本 和子 五 條 高	3:24.4
	(3:23.2)
3 井豆 信子 "	3:26.6
	(3:26.0)
4 小川 康子 桐 蔭 高	3:27.6
5 浦畑チズ子 伊 都 高	3:34.0
	(3:31.4)
6 北岡 充子 朱 雀 高	3:46.0
	(3:42.2)

水 球

決勝

京都クラブ 15 $\left(\begin{smallmatrix} 8-0 \\ 7-2 \end{smallmatrix}\right)$ 2 清泳会

飛 込 男 子

3米飛板

1 久保 欣治 稻 泳 会	112.64
2 長江伊久之助 "	105.42
3 富永 又二 弦 泳 会	104.91

1米飛板

1 富永 又二 弧 泳 会	110:80
2 伊藤 偵之 大阪大學	108:50
3 長江伊久之助 稻 泳 会	106.13

高 飛 込

1 久保 欣治 稻 泳 会	80.55
2 伊藤 偵之 大阪大學	53.79
3 井上 久治 大阪交通局	45.24

女 子

3米飛板

1 坂口 修子 K T C	80.44
---------------	-------

高 飛 込

1 坂口 修子 K T C	35.08
---------------	-------

東日本医歯薬

關東學生部会

7月8日 中央大學プール(50米) 公認

100米自由形

1 小幡	東邦大	1:14.2
2 森	慶應醫學	1:16.2
3 鳥谷	星薬大	1:18.2

200米自由形

1 小西	日本歯大	2:45.0
2 森	慶應醫學	2:59.0
3 小幡	東邦大	3:02.2

400米自由形

1 小西	日本歯大	5:57.6
2 寺島	日大歯科	6:23.8
3 荒川	慶應醫學	6:30.0

800米自由形

1 荒川	慶應醫學	13:41.8
2 寺島	日大歯科	13:46.0
3 隠岐	日本医大	14:12.0

50米背泳

1 出口	日大歯科	33.8
2 眞下	"	38.0
3 水城	東京歯大	42.0

100米背泳

1 出口	日大歯科	1:18.4
2 水城	東京歯大	1:31.6
3 眞下	日大歯科	1:36.8

100米平泳

1 松崎	日本医大	1:30.4
2 福島	日本歯大	1:30.8
3 長松	星薬大	1:37.8

200米平泳

1 福島	日本歯科	3:25.8
2 鈴木	慶應醫學	3:28.7
3 長松	星薬大	3:36.0

200米リレー

1 福島・森山・白崎・小西	日本歯大	2:11.8
2 眞下・曾甫・安田・出口	日大歯科	2:14.0
3 村田・永松・鳥谷・山田	星薬大	2:14.0

300米メドレーリレー

1 森・鈴木・荒川	慶應醫學	4:22.8
-----------	------	--------

2 出口・坂本・寺島	日大歯科	4:29.7
3 小西・福島・秋山	日本歯大	4:30.6

得点

①	慶應醫學部	50
②	日本歯大	48
③	日大歯科	46
④	日本医大	23
⑤	東邦大	20

大分縣予選

大分縣水泳協会

7月8日 白杵高プール(50米) 未公認
(氣温24° 水温24°)

100米自由形

1 加島博	白杵	1:05.0
2 瀧整	鶴城	1:06.2

200米自由形

1 菅哲政	鶴城	2:24.8
2 川野教	白杵	2:25.5
3 瀧整	鶴城	2:31.4

400米自由形

1 久保田認	白杵	4:56.3
2 菅哲政	鶴城	5:09.8
3 東	白杵	5:24.6

1500米自由形

1 久保田認	白杵	19:43.4
(800米途中計時 10:21.0)		
2 川野教	白杵	20:49.0
3 東	"	22:18.8

50米背泳

1 黒佐清	鶴城	34.0
2 野村輝夫	"	35.0
3 進來淳	白杵	38.0

100米背泳

1 野村輝夫	鶴城	1:16.6
2 佐藤哲男	白市役	1:17.8
3 進來淳	白杵	1:19.0

100米平泳

1 金丸輝壽	白杵	1:21.5
2 安東昭郎	"	1:27.8
3 毛利俊一	"	1:28.0

200米平泳

1 板井道夫	白杵	3:00.2
--------	----	--------

2 金丸輝壽	"	3:09.4
3 毛利俊一	"	3:13.5

女子之部

100米平泳

1 稻葉チズエ	白杵	1:32.8
---------	----	--------

岩手縣南高校

岩手縣水泳協会

7月8日 釣山公園プール(25米)

未公認

(氣温25° 水温23°)

100米自由形

1 菅原哲	一關第二	1:19.5
2 藤巻雄一	胆澤	1:20.0
3 山濱武夫	和賀	1:21.0

200米自由形

1 藤巻雄一	胆澤	3:04.8
2 山瀬武夫	和賀	3:10.1
3 宮田光治	"	3:20.0

400米自由形

1 山口武	一關第一	6:21.0
2 菅原哲	一關第二	6:27.2
3 千葉昭作	和賀	6:28.5

800米自由形

1 佐々木幸三	和賀	14:01.5
2 山口武	一關第一	14:02.8
3 千葉昭作	和賀	14:47.7

50米背泳

1 小野寺芳昭	一關第一	40.0
2 藤原陸郎	一關第二	42.1
3 橋本清	和賀	45.2

100米背泳

1 小野寺芳昭	一關第一	1:28.5
2 藤原陸郎	一關第二	1:32.5
3 橋本清	和賀	1:42.0

100米平泳

1 佐藤文一	胆澤	1:29.8
2 石川努	一關第二	1:31.0
3 七田芳弘	"	1:42.2

200米平泳

1 七田芳弘	一關第二	3:41.8
2 佐藤文一	胆澤	3:47.4
3 松野雄喜	和賀	3:49.0

400米リレー

- 1 福島・千葉・菅原・菅原
一關第二 5:35.4
- 2 大石・高橋・菅原・宮田
和賀 5:40.5
- 3 千葉・千葉・小野寺・山口
一關第一 5:47.4

300米メドレーリレー

- 1 藤原・七田・菅原
一關第二 4:17.8
- 2 小野寺・佐藤・山口
一關第一 4:19.0
- 3 橋本・佐藤・山瀬
和賀 4:48.5

得点

①	一關二高	65
②	和賀高	60
③	一關一高	52
④	胆澤高	33

関東高校茨城縣予選

茨城縣水泳連盟

7月8日 水戸市西原町プール(25米)

未公認

(気温25° 水温22.5°)

100米自由形

- 1 庄司 武夫 茨城 1:10.4
- 2 沼田 務 水戸一 1:11.0
- 3 小野 茂 茨城 1:11.1

200米自由形

- 1 庄司 武夫 茨城 2:41.2
- 2 沼田 務 水戸一 2:42.6
- 3 中島 義一 土浦一 2:50.1

400米自由形

- 1 白戸 莊司 茨城 5:52.6
- 2 島田 實 // 6:07.5
- 3 小野瀬雅己 湊一 6:13.0

800米自由形

- 1 白戸 莊可 茨城 11:59.0
- 2 永井 孝久 // 12:28.0
- 3 稻葉 早苗 龍ヶ崎 12:28.5

100米背泳

- 1 大内 昭二 湊一 1:23.5
- 2 武田 武士 水戸一 1:26.8
- 3 小笠原雄輔 // 1:28.4

200米背泳

- 1 大内 昭二 湊一 3:06.2
- 2 加藤 信義 // 3:12.9
- 3 武田 武士 水戸一 3:17.1

100米平泳

- 1 柴田 耕一 龍ヶ崎 1:26.0
- 2 石川喜三郎 日立一 1:28.8
- 3 山本 美夫 水戸一 1:29.6

200米平泳

- 1 山本 美夫 水戸一 3:13.0
- 2 高木 昭 // 3:13.0
- 3 來栖 晃 茨城 3:15.0

800米リレー

- 1 小野・星野・島田・庄司
茨城 11:01.7
- 2 小笠原・飯島・増子・沼田
水戸一 11:26.8
- 3 鈴木・植竹・稻葉・笠原
龍ヶ崎 11:59.5

300米メドレーリレー

- 1 川上・高木・庄司
茨城 4:12.6
- 2 大内・那須・龜谷
湊一 4:14.3
- 3 竹田・大澤・鯨淵
水戸一 4:19.5

得点

①	茨城高	75
②	水戸一高	53
③	湊一高	33
④	龍ヶ崎高	30
⑤	日立一高	10

東日本理工科系

関東學生部会

7月8日 東工大プール(25米)未公認

100米自由形

- 1 関野 武 1:10.4
- 2 寺岡 工 1:10.4
- 3 谷口 // 1:17.2

200米自由形

- 1 寺岡 工 2:49.2
- 2 関野 武 2:50.0
- 3 谷口 工 3:04.8

400米自由形

- 1 岡田 工 5:49.8
- 2 端山 // 6:24.4
- 3 峰岸 武 6:35.4

800米自由形

- 1 岡田 工 12:36.2
- 2 端山 // 13:42.0
- 3 塚田 // 14:18.6

50米背泳

- 1 藤原 工 39.8
- 2 沼倉 // 41.8
- 3 村多 // 43.0

100米背泳

- 1 沼倉 工 1:32.4
- 2 藤原 // 1:37.4
- 3 村多 // 1:39.2

100米平泳

- 1 佐野 武 1:26.2
- 2 志田 // 1:28.0
- 3 山本 工 1:29.6

200米平泳

- 1 佐野 武 3:16.6
- 2 山本 工 3:21.4
- 3 大川 // 3:24.8

200米リレー

- 1 寺岡・谷口・端山・岡田
工 2:06.4
- 2 峰岸・黒澤・松尾・関野
武 2:13.6
- 3 内山・坂本・富谷・佐藤
理 2:38.6

300米メドレーリレー

- 1 武蔵工大 4:15.0
- 2 東京工大 4:25.6
- 3 理科大 5:18.8
- 4 電機大 5:49.4

勤勞者福井予選

福井縣水泳連盟

7月12日 三秀プール(50米)公認

(気温24° 水温19°)

男子之部

50米自由形

- 1 窪田 盛男 信越化學 33.8

2	山崎 次夫	東洋紡績	34.6
3	青木 孝男	信越化學	34.8
100米自由形			
1	木村 徹	信越化學	1:08.6
2	山崎 次夫	東洋紡績	1:24.2
3	森田 範雄	勝山兄弟	1:29.2
200米自由形			
1	中西 利之	東洋紡績	2:54.2
2	藤村 幸男	勝山兄弟	3:04.8
3	熊谷 隆慶	東洋紡績	3:05.8
400米自由形			
1	高橋 伸治	三和銀行	6:13.8
2	中西 利之	東洋紡績	6:38.4
3	藤村 幸男	勝山兄弟	6:45.8
50米背泳			
1	奥城 治夫	縣 廳	39.2
2	毛野 浩	東洋紡績	42.5
3	上道 輝司	信越化學	43.0

100米背泳			
1	高橋 伸治	三和銀行	
2	奥城 治夫	縣 廳	
3	毛野 浩	東洋紡績	
100米平泳			
1	和多田修一	東洋紡績	1:42.2
2	大門 巖	〃	1:42.2
3	上道 輝司	信越化學	1:42.4
200米平泳			
1	土江 昭吉	東洋紡績	3:45.4
2	和多田修一	〃	3:46.2
3	森下 忠男	大和紡績	4:00.2
200米リレー			
1	久保田・上道・青木・木村	信越化學	2:13.8
2	中西・百垣・山崎・熊谷	東洋紡績	2:14.1
3	吉越・加藤・村田・辻川	勝山兄弟	2:27.6
300米メドレーリレー			
1		東洋紡績	4:38.6
2		勝山兄弟	5:40.6

女子之部

50米自由形			
1	黒田 孝子	勝山兄弟	45.2
2	松浦三千代	〃	56.0
3	角野よしえ	東洋紡績	1:01.9

50米背泳			
1	中村 幸子	勝山兄弟	1:03.4
2	北澤 禮子	東洋紡績	1:05.8
3	塚田美代子	勝山兄弟	1:10.4
100米平泳			
1	荒井 弘子	勝山兄弟	2:17.4
2	原 絹子	東洋紡績	2:27.0
3	塚田美代子	勝山兄弟	2:48.2
150米メドレーリレー			
1		勝山兄弟	2:50.4
2		東洋紡績	3:19.2

中國五大学学生

山口縣水泳連盟

7月14日 山口大學教育學部プール
(50米) 未公認
(氣温22.5°)

100米自由形			
1	眞島 恒裕	島 根	1:10.6
2	高屋 憲治	岡 山	1:11.2
3	谷口宏次郎	〃	1:11.3
200米自由形			
1	谷口宏次郎	岡 山	2:49.0
2	高尾 憲治	〃	2:49.8
3	坂根 光彦	島 根	2:56.1
400米自由形			
1	西向 幸雄	鳥 取	5:58.8
2	石合 省三	岡 山	6:06.8
3	鈴木 四郎	島 根	6:16.0
800米自由形			
1	西向 幸雄	鳥 取	12:42.2
2	鈴木 四郎	島 根	12:52.1
3	石合 省三	岡 山	13:00.2
50米背泳			
1	中村 彰佐	山 口	36.6
2	池藤 有親	廣 島	38.8
3	原田 精三	〃	38.8
100米背泳			
1	中村 彰佐	山 口	1:21.2
2	池藤 有親	廣 島	1:24.4
3	原田 精三	〃	1:26.4
100米平泳			
1	中村 憲治	鳥 取	1:25.6
2	川上 忠	岡 山	1:32.2
3	岩崎 滿	山 口	1:33.8

200米平泳			
1	中村 憲治	鳥 取	3:10.8
2	川上 忠	岡 山	3:24.0
3	長道 正	山 口	3:26.0
200米リレー			
1	石合・竹中・高尾・谷口	岡 山	2:03.0
2	原田・池藤・林・山崎	廣 島	2:06.1
3	石黒・西向・西尾・竹内	鳥 取	2:08.0
300米メドレーリレー			
1	石黒・西尾・山岡	鳥 取	4:05.8
2	中村・岡崎・柳本	山 口	4:08.4
3	近藤・川上・谷口	岡 山	4:12.0

中央大学対立命館大学

関東學生部会

7月15日 中央大プール(50米) 公認
(氣温21° 水温22°)

100米自由形			
1	石井 明	中 大	1:04.4
2	山本 衛	立 命	1:04.8
3	川越 英明	中 大	1:05.0
200米自由形			
1	石井 明	中 大	2:23.6
2	山本 衛	立 命	2:23.8
3	川越 英明	中 大	2:28.2
400米自由形			
1	森口 昇	中 大	5:09.0
2	佐藤 幸男	〃	5:10.8
3	向川 勇	〃	5:21.4
800米自由形			
1	佐藤 幸男	中 大	10:44.6
2	森口 昇	〃	10:45.0
3	向川 勇	〃	11:22.0
50米背泳			
1	百合嘉四郎	立 命	35.4
2	末松 隆雄	中 大	36.2
3	岡本 剛治	〃	36.8
100米背泳			
1	百合嘉四郎	立 命	1:17.2

2	末松 隆雄	中 大	1:18.0
3	岡本 剛治	〃	1:19.8

100米平泳

1	竹内 允	中 大	1:12.2
2	三浦英吉郎	立 命	1:17.0
3	杉本 昭夫	中 大	1:17.4

200米平泳

1	竹内 允	中 大	2:52.0
2	杉本 昭夫	〃	3:00.2
3	石崎 英雄	〃	3:01.6

200米リレー

1	山田・川越・白和・石井	中 大	1:54.8
2	山本・百合・三浦・片山	立 命	1:56.2

300米メドレーリレー

1	末松・竹内・石井	中 大	3:33.8
2	百合・三浦・片山	立 命	3:40.2

水 球

中 大 9 ($\frac{4-1}{5-1}$) 2 立 命

得 点

①	中央 大學	119
②	立命館 大學	62

東 部 國 公 立 大 学

関 東 學 生 部 会

7月15日 野毛山プール(50米) 公認

100米自由形

1	大森 義正	東 大	1:03.2
2	竹内 英男	横 國	1:09.4
3	西 善彌	金 澤	1:10.6

200米自由形

1	大森 義正	東 大	2:36.8
2	竹内 英男	横 國	2:42.0
3	西 善彌	金 澤	2:47.6

400米自由形

1	松島 裕	學 藝	5:45.6
2	津田 正矩	東 大	5:52.2
3	牧江 春夫	〃	6:09.4

800米自由形

1	松島 裕	學 藝	12:08.0
---	------	-----	---------

2	津田 正矩	東 大	12:33.4
3	端名 清	金 澤	13:04.4

50米背泳

1	益田 宗	東 大	36.2
2	川島 福夫	學 藝	37.2
3	國富 晃	横 國	38.0

100米背泳

1	益田 宗	東 大	1:20.8
2	川島 福夫	學 藝	1:24.2
3	内藤信一郎	茨 城	1:26.6

100米平泳

1	澤 卓也	一 橋	1:23.4
2	木村 俊隆	金 澤	1:24.8
3	坂上 仁	學 藝	1:27.4

200米平泳

1	澤 卓也	一 橋	3:04.4
2	坂上 仁	學 藝	3:12.0
3	清水 廣康	〃	3:12.2

200米リレー

1	森・津田・水澤・大森	東京大學	2:01.0
2	北野・端名・丹崎・西	金澤大學	2:04.0
3	國富・山口・竹内・西田	横濱國大	2:04.4

800米リレー

1	津田・牧江・益田・大森	東京大學	11:00.4
2		金澤大學	11:29.0
3		横濱國大	11:29.6

勤 勞 者 神 奈 川 縣 予 選

神奈川縣水泳連盟

7月15日 野毛山プール(50米) 公認
(氣温21° 水温20°)

一 般 男 子 之 部

50米自由形

1	佐 藤 元	ケプー	30.0
2	大 崎 東	芝	30.0
3	高 田 造	船	31.0

100米自由形

1	鯉 登	日 鋼	1:07.6
2	佐 藤 元	ケプー	1:10.2
3	和 泉	日 鋼	1:16.8

200米自由形

1	市 川	日 電	2:45.0
2	横 山	日 鋼	2:48.8
3	石 川	昭 電	2:54.9

400米自由形

1	鯉 登	日 鋼	5:52.6
2	市 川	日 電	5:52.8
3	横 山	日 鋼	6:07.0

50米背泳

1	勉 澤	日 鋼	37.2
2	澤 地	昭 電	37.4
3	長 谷 川	日 鋼	39.8

100米背泳

1	勉 澤	日 鋼	1:24.8
2	澤 地	昭 電	1:27.0
3	一 柳	日 鋼	1:33.8

100米平泳

1	小 林	日 鋼	1:26.0
2	矢 野	日 電	1:29.8
3	三 浦	日 鋼	1:30.2

200米平泳

1	小 林	日 鋼	3:15.0
2	三 浦	〃	3:16.2
3	矢 野	日 電	3:24.2

200米リレー

1	和泉・勉澤・横山・鯉登	日 鋼	2:05.0
2	前田・根本・松本・大崎	東 芝	2:06.4
3	奥島・石川・安藤・澤地	昭 電	2:09.2

300米メドレーリレー

1	勉澤・小林・鯉登	日 鋼	4:19.0
2	澤地・坂口・安藤	昭 電	4:58.0

35才以上男子

100米自由形

1	富 樫	昭 電	1:21.2
2	小 崎	〃	1:25.0

100米背泳

1	富 田	日 鋼	1:29.2
---	-----	-----	--------

100米平泳

1	牛 内	日 鋼	1:44.6
2	北 尾	地方共済	1:51.8

一般女子之部

50米自由形

1 山中 縣 廳 39.2

100米自由形

1 山中 縣 廳 1:30.0

勤勞者大會愛知予選

愛知水泳連盟

7月15日 振甫プール(50米)公認

(氣温24.4° 水温19.5°)

一般男子之部

50米自由形

1 水野 亘 明電舎 28.8

2 西山 宗二 第一法規 30.8

3 新井 幸雄 蒲郡ホテル 31.0

100米自由形

1 水野 亘 明電舎 1:07.6

2 日比野誠照 名 鐵 1:15.8

3 中村 正身 三菱電機 1:19.4

400米自由形

1 武藤 薫 明電舎 5:31.0

2 安藤 朝夫 日興毛織 5:59.8

3 村瀬 弘 自動織機 6:19.4

50米背泳

1 岡島 武夫 中部マツダ 36.0

2 澤田 清敏 清水商店 37.6

3 服部 愛知地方事 37.8

100米背泳

1 岡島 武夫 中部マツダ 1:26.6

2 澤田 清敏 清水商店 1:28.0

3 服部 愛知地方事 1:28.2

100米平泳

1 高木 照夫 平野製作 1:32.0

2 石川 敏夫 中日重工 1:33.6

3 下村 宏 野村商店 1:34.4

200米平泳

1 小原 弘之 明電舎 3:27.2

2 下村 宏 野村商店 3:28.2

3 石川 敏夫 中日重工 3:31.8

200米リレー

1 武藤・富田・渡邊・水野
明電舎 2:04.2

2 石黒・赤木・水谷・石田

名市役所 2:07.0

3 青江・村瀬・太田・山本

自動織機 2:16.0

300米メドレーリレー

1 水谷・大野・石黒

名市役所 4:29.4

2 原・山口・日比野

名 鐵 4:55.2

3 柳澤・鈴木・渡邊

日清紡 5:29.0

得 点

① 明電舎 58

② 中日重工 18

③ 名古屋市役所 15

④ 中部マツダ 15

⑤ 名古屋鐵道局 12

35才以上

100米自由形

1 鈴木 啓介 愛知林産 1:17.2

2 今村 正治 名古屋殖産 1:32.2

100米平泳

1 伊藤 隆 名教水泳 1:38.6

女子之部

50米自由形

1 祖父江榮子 名教水泳 42.0

2 廣 照子 " 45.6

50米背泳

1 祖父江榮子 名教水泳 50.0

2 廣 照子 " 56.2

100米平泳

1 本田みち子 名教水泳 1:53.6

2 柳瀬 逸子 日本陶器 2:01.0

3 松野 良子 " 2:21.0

150米メドレーリレー

1 祖父江・廣・本田

名教水泳 2:26.0

2 松野・牧野・市野

日本陶器 3:20.0

得 点

① 名教水泳 40

② 日本陶器 14

勤勞者山形縣予選

山形縣水泳連盟

7月15日 山形大教育學部プール(25米)

未公認

(氣温19.9° 水温20.8°)

50米自由形

1 小泉 肇一 米澤パン 29.9

2 米谷 實 寒阿營林 31.2

3 伴 次夫 縣 廳 34.6

100米自由形

1 米谷 實 寒阿營林 1:12.0

2 佐野 昌弘 縣 廳 1:14.5

3 池野 良治 東北電力 1:23.4

200米自由形

1 吉田信太郎 山形油脂 2:53.4

2 佐野 昌弘 縣 廳 3:00.4

3 小泉 讓二 米澤染色 3:07.3

400米自由形

1 吉田信太郎 山形油脂 5:59.4

2 米谷 實 寒阿營林 6:15.8

3 小泉 讓二 米澤染色 6:58.1

50米背泳

1 鈴木 辰雄 山形刑務 49.0

2 吉田信太郎 山形油脂 49.4

3 渡邊 昭次 縣 廳 50.0

100米背泳

1 渡邊 昭次 縣 廳 1:47.8

2 鈴木 健 山形刑務 1:52.0

3 菅原 二郎 縣 廳 1:59.8

100米平泳

1 吉村 敏夫 縣 廳 1:39.4

2 秋元 直喜 " 1:40.9

3 川口 正 原田製作 1:46.0

200米平泳

1 川口 正 原田製作 3:48.0

2 秋元 直喜 縣 廳 3:51.0

3 柴橋昨日生 山形刑務 3:54.6

200米リレー

1 鳥・村山・伴・佐野
縣 廳 A 2:15.5

2 和賀・塚野・木原・鈴木
山形刑務 2:23.8

3 峯田・菅原・服部・井田
縣 廳 B 2:31.0

300米メドレーリレー

- 1 峰田・秋元・加藤 縣廳A 4:58.3
- 2 渡邊・吉村・鳥 // B 5:00.1
- 3 垂石・調所・三浦 原田製作 5:37.6

35才以上

100米自由形

- 1 木原 靜雄 山形刑務 1:39.9

50米背泳

- 1 峯田 仁藏 縣 廳 42.0

勤勞者群馬予選

群馬縣水泳連盟

7月15日 高崎市營城南プール
(50米) 未公認

(氣温 21° 水温 19.5°)

一般男子之部

50米自由形

- 1 高橋 定雄 横濱ゴム 30.2
- 2 寺島 義雄 日本火災 30.8
- 3 坪野 良一 阪東運輸 34.4

100米自由形

- 1 寺島 義雄 日本火災 1:11.4
- 2 吉田 孝一 横濱ゴム 1:16.0
- 3 坪野 良一 阪東運輸 1:16.2

200米自由形

- 1 五十嵐 宏 早三織物 2:57.4
- 2 高橋 定雄 横濱ゴム 3:36.0
- 3 金子 幸 日本ニツケル 3:59.5

400米自由形

- 1 五十嵐 宏 早三織物 6:22.0
- 2 成瀬 辰三 関東製鋼 7:14.5

50米背泳

- 1 内田 潤 専賣局 40.0
- 2 山崎 達二 日本火災 46.0
- 3 有海 一雄 富士機器 48.9

100米背泳

- 1 内田 潤 専賣局 1:45.4

2 山田 保三 地方職員

100米平泳

- 1 塚越 誠也 鐘紡新町 1:34.4
- 2 武井 和市 桐信組 1:40.0
- 3 松村 俊夫 東洋防水 1:41.2

200米平泳

- 1 塚越 誠也 鐘紡新町 3:33.2
- 2 武井 和市 桐信組 3:44.0
- 3 松村 俊夫 東洋防水 3:54.6

200米リレー

- 1 坂東・笠原・吉田・高橋
横濱ゴム 2:16.0
- 2 有海・山田・倉部・渡邊
富士機器 2:25.0
- 3 木村・飯島・若林・小島
鐘紡新町 2:37.0

300米メドレーリレー

- 1 高橋・笠原・吉田
横濱ゴム 5:03.8
- 2 塚越・西山・小島
鐘紡新町 5:07.0
- 3 有海・渡邊・倉部
富士機器 5:07.0

35才以上

100米自由形

- 1 前川 重樹 縣 廳 1:21.6
- 2 住谷 定吉 国立病院 2:03.4

100米背泳

- 1 前川 重樹 縣 廳 1:38.4

100米平泳

- 1 渡邊 一治 富士機器 1:19.2
- 2 高橋 治作 関東電気 1:53.8
- 3 後藤 鶴壽 // 1:56.0

女子之部

50米自由形

- 1 田子美加子 須 賀 55.2
- 2 森 八重子 鐘紡新町 1:21.7
- 3 佐野 雪江 // 1:37.0

100米平泳

- 1 田子美加子 須 賀 2:23.0

日本選手権三河地区予選

豊橋水泳協会

7月15日 狭間プール (25米)
未公認

(氣温 24° 水温 22°)

100米自由形

- 1 南 佳恵 岡 高 1:06.0
- 2 山口 光司 時習館 1:11.0
- 3 鈴木 公男 愛知大 1:11.2

200米自由形

- 1 松岡 信義 三水会 2:16.2
- 2 南 佳恵 岡 高 2:30.0
- 3 河合 守久 東 高 2:43.8

400米自由形

- 1 松岡 信義 三水会 4:57.0
- 2 中西 理雄 // 5:01.2
- 3 佐々木 章 東 高 5:58.0

1500米自由形

- 1 中西 理雄 三水会 20:50.0
- 2 鈴木 雅充 青陵中 24:31.8
- 3 山口 光司 時習館 24:42.2

50米背泳

- 1 田中 令吉 三水会 34.0
- 2 白井 孝 // 34.2
- 3 山本 修平 東 高 36.6

100米背泳

- 1 田中 令吉 三水会 1:13.0
- 2 白井 孝 // 1:19.2
- 3 山本 枚平 東 高 1:22.6

100米平泳

- 1 清水 敏夫 三水会 1:13.8
- 2 林 正夫 愛學大 1:24.0
- 3 村上 善八 時習館 1:24.8

200米平泳

- 1 清水 敏夫 三水会 2:59.0
- 2 村上 善八 時習館 3:06.2
- 3 松井 公郎 // 3:11.2



期日 8月11日(土)午前10時
場所 大阪市北區絹笠町堂ビル内 清交社
出席者

加盟団体

- 北海道水泳連盟 根上 博
- 岩手水泳協会 瀬川 政雄 本村 憲
- 福島縣水泳連盟 橋 登 齋藤重千代
- 茨城縣水泳連盟 吉田 勝平
- 栃木縣水泳協会 中山 利生 田中 武男
- 埼玉縣水泳連盟 荻原 光臣 阿部 鎮
- 千葉縣水泳連盟 長谷川俊雄
- 神奈川縣水泳連盟 藤田 三郎
- 東京都水泳協会 大野 元美 大海渡清三郎
- 松本水泳協会 高島 朗
- 伊豆駿河灣游泳協會 羽山 孝二
- 濱名灣游泳協會 白山源三郎
- 豊橋水泳協会 松澤 一鶴 志村 義久
- 愛知水泳連盟 勝村 肇
- 岐阜縣水泳連盟 小林 高志 横山 傳
- 石川縣水泳協会 井原 一夫
- 福井縣水泳連盟 牧野 敏一 野田 一雄
- 三重水泳連盟 鈴木 清藏 本多 光雄
- 京都水泳協会 鈴木 篤良 笥 精一郎
- 大阪水泳協会 清川 正二 天野菊三郎
- 奈良縣水泳連盟 兒玉 清雄 飯田彌之助
- 和歌山縣水泳連盟 志村 義久 淺野 俊雄
- 杉田 芳郎
- 大熊 嶸
- 中田 周三 柴原 恒雄
- 松田 武治
- 垂髮 猛雄 松岡 千明
- 小出 靖彦 松岡 繁夫
- 藤木 三郎 松本 治平
- 笠原 俊男
- 入谷唯一郎 仁田順三郎
- 森 好雄
- 永田 萬藏 神崎 保雄
- 重松 利生
- 小山 幸雄 慈幸 嘉一

- 兵庫縣水泳連盟 石田 恒信 桑原 敏雄
- 琵琶湖水泳協会 小山賢之助
- 岡山縣水泳連盟 岡山 四郎 辻 花子
- 鳥取縣水泳連盟 森井 幸雄
- 廣島縣水泳連盟 富山 鶴藏
- 山口縣水泳連盟 鎌田 壽夫 川手 一彦
- 香川縣水泳協会 笠岡 一夫 沖本 一眞
- 愛媛縣水泳連盟 松澤 一鶴
- 高知縣水泳連盟 川崎 重男 遊佐 正憲
- 徳島縣水泳連盟 中山 健介
- 福岡縣水泳連盟 松本 隆重 田口 實
- 大分縣水泳協会 大槻 信夫 岡田 正一
- 熊本縣水泳協会 安東昭二郎
- 宮崎縣水泳連盟 飯田 壽平
- 水連本部 仁斗 正
- 田畑 政治 藤田 明
- 原 秀夫 藤井正太郎 杉本 傳
- 關屋 悌藏 中尾 保 牧野 正藏
- 飯島 富子
- 水連關西支部 高石 勝男 宮崎 康二
- 學生部會 西本 龍三 清川 正二
- 小池 禮三 江崎 秋夫 大石 勝
- 金田 千秋 益田昭一郎 島田 博
- 下田 一郎

委任狀提出団体

- 山形縣水泳連盟 新潟縣水泳協会 野尻湖游泳協會
- 静岡水泳協會 富山縣水泳協会

欠席団体

- 秋田縣水泳連盟 宮城水泳協会 群馬縣水泳連盟
- 山梨水泳連盟 島根縣水泳連盟 長崎縣水上競技連盟
- 佐賀縣水泳連盟 鹿兒島縣水泳協会

議事

1. 報告事項

(1) 米国女子選手招聘の件 (藤田専務理事)

女子競泳を振興するため ハワイ在住の米国女子選手テルマ・カラマ、エベリン・カワモトの2選手及びシャペロンとして 川本夫人を招聘することとした旨を報告した。

尙招聘費用は 本年度日本選手権大会開催地元の大阪市の支辨に依つたもので、2選手は8月4日來朝同大会に特別参加した上 日本高校選手権大会にもエキジビションとして出場し 8月26日 帰国の予定である旨を併せ報告し之を諒承した。

(2) 春季競泳強化合宿練習の件 (清川ヘッドコーチ)

昭和26年4月24日より5月3日迄東大室内プール及びY.M.C.Aで高校及び大学低学年の選抜選手及び今春学窓を出た古橋以下の 社会人フレッシユマン49名を参加せしめ 清川・小池・遊佐・牧野・原のオリムピツク・コーチング・スタッフ 指導の下に強化合宿を行い、多大の成果を収めた。尙今回は本合宿練習に引き続いて 直ちに屋外プールで練習出来るやう 特に配意した旨を報告した。

(3) 第2回全国勤労者中央大会の件 (藤田専務理事)

8月4・5両日 野沢温泉プールで競泳を 又名古屋 振甫プールで飛込を 挙行し 共に盛況であつたことを報告した。

特に競泳は昨年比へ 質量共に格段の向上を示すと共に今回創始された 男子35歳以上及び女子の競技に於ても 予想を遙かに 上廻る内容であつた事を併せ報告した。

尙本大会は 当初野沢温泉プールで 両競技を 総合 挙行する予定であつた処 費用の関係で 遂に飛込プールに着工出来ず 上記の通り 分割の止むなきに至つた 経緯を報告し之を諒承した。

(4) 東部西部高校大会準備状況の件 (神奈川県水泳連盟、奈良縣水泳連盟)

藤田専務理事より 東部高等学校大会は 当初浜松プールで開催に決定を見た処 其の後地方選挙の結果 市長更迭等の事情に依り 遂に飛込プールに着工出来ず 理事会で協議の結果 横浜市野毛山プールに会場を変更するの止むなきに至つた経緯を報告し 之を諒承した

続いて 東部大会、西部大会の 主管団体たる 頭記両

連盟より 宿舍、交通 其他緊要事項に関する細部の報告を行つた。

(5) 日本高校選手権大会準備状況の件 (藤田専務理事)

明治神宮プール所管の 連合軍当局と折衝の結果 8月23・24の両日開催に 決定したこと 並びに 宿舍 斡旋希望の向には 其の用意のあることを報告した。

尙本大会に來朝中の 米国女子選手を エキジビションとして 特別参加せしめ 女子高校競泳の 好刺戟劑たらしめることとした旨を併せ報告した。

(6) 第6回国民体育大会準備状況の件 (廣島縣水泳連盟)

競技施設に就ては 特に万全を期し 既設以外に25米の練習プールの構築を 急ぎ、九分方施工済で 会期に間に合せると共に、選手控室・脱衣場・浴場・便所等の 附屬設備も 完備を 急いで 居る旨を報告した。

又 宿舍、交通等も 地元の 熱意に依り 前年以上に 期待出来る 状況にあり、 宿泊費は 選手 (監督 総務等 附添役員を含む) 450円、 大会役員 750円に 決定した 旨併せ報告し之を諒承した。

(7) ジュニア・レクリエーション大会通信競技の件 (藤田専務理事)

本年は 諸般の事情に依り、中央大会が 開催不能に 決定したため、先に 送附済の 大会要項に 基き、通信 競技を行い、団体及び個人を 表彰することとし、男女優勝団体に トロフキーを 又個人10位迄に 賞品を 贈呈することを 決定した。尙本大会々長 文部大臣に 対し 賞状の 交附方を 交渉中である 旨併せ報告した。

(8) 全国指導者検定委員協議会の件 (松沢普及部長)

水泳指導者養成の 緊要性に 鑑み 指導者検定組織の 普編化を図るため 本年から 各加盟団体毎に 検定委員候補者の 選出を 願い 検定基準に関する 協議会を開いて 参加の 適格者に 其の資格を 附与して 検定陣の 劃期的 拡充と 検定の 地方委譲を 断行した 旨を報告した。

(9) 施設委員会改組の件 (松沢普及部長)

建設・測定・公認の 拡充整備の外 時計の 整調等 広い分野に 渉る組織の 改編に 乗り出すと共に 地方、中央委員を 再組することを 報告し之を 諒承した。

尙改組は 可及的速かに 行うこととし 其の時期、人選を 普及部長に一任した。

(10) 優勝旗等寄贈の件 (藤田専務理事)

本連盟主催並びに 特に密接な 関係ある 大競技会に 対し 左の通り 優勝旗或いは トロフキーを 贈り 奨励に

資することとした旨を報告した。尙早慶戦及び日立明三大学戦は其の発生の過程、本連盟に対する功績等を特に考慮し、理事会に於て慎重審議の上決定した旨を併せ説明し之を諒承した。

1、早慶対抗水上競技大会

(競泳) 優勝旗
(飛込) 優勝杯
(水球) 優勝トロフキー

1、日立明三大学対抗水上競技大会

優勝旗

1、東部高等学校選手権水上競技大会

(競泳) 優勝旗
(水球) 優勝トロフキー

1、西部高等学校選手権水上競技大会

(競泳) 優勝旗
(水球) 優勝トロフキー

1、日本高等学校選手権校

(男子) 永久トロフキー
(和田勇氏寄贈)
(女子) 同上
()

1、ジュニア・レクリエーション通信競技 優勝校

(男子) 永久トロフキー
(和田勇氏寄贈)
(女子) 同上
()

(11) 丸ビル事務所開設の件(藤田専務理事)

前回代議員会で決定済の丸ビル事務所開設の件は漸く此の程丸ビル722区に約18坪の借受契約を終り、目下整備中であり、電話(和田倉4885番)も架設が決定したので、9月1日から新事務所を開設する旨を報告した。尙岸記念体育会館内の事務所は其の儘存続するが、諸会議は総て新事務所で行う旨を併せ報告し特に加盟団体の利用方を懇請した。

2. 協議事項

(1) 第七回国民体育大会水泳会場の件

栃木県(栃木県総合運動場プール)及び福島県(会津若松市営プール)を調査団 藤田専務理事、松沢普及部長、深谷施設委員長が実地踏査した結果、前者は既に緩速濾過地が完成、且つ関東高校大会を7月下旬開催した際の水温は27度乃至28度で低温の懸念は解消し今後は水の清澄度が若干問題となる程度で

あるのに反し、後者は諸般の事情で福島市総合運動場プールの建設に未着手のため、今回竣工した若松市営プールを以て代替したいとの希望であつたが、此のプールには飛込プール及び附属設備が設置されて居らない調査事情を理事会に報告し、理事会で慎重審議の上前者に決定した経緯を述べ此の理事会案を諮つた。

栃木県水連、福島県水連から各々熱烈な誘致希望が陳べられ又岩手水協は第7回国体東北開催の建前で福島支持の意見を開陳されたが、福島岩手を除き全員理事会案を採択し、本件は栃木県総合運動場プールに決定を見た。

(2) 第8回国民体育大会水泳会場の件

第八回国体は一応四国8県分散開催に内定を見、藤田専務理事が過般体協清瀬調査団に加つて視察した結果、施設・運営・過去の実績・他種目の振合等の諸条件を勘案して高知を最有力候補と考える旨を報告し、又高知・愛媛・香川の3加盟団体から夫々熱心な誘致希望が表明されたが、決定には多少時間的余裕もあり更に各県の眞意打診の要もあるので、本年度国体終了後調査員を派遣し、其の結果を理事会に報告、理事会に於て協議決定することに決つた

(3) オリンピック準備に関する件

オリンピック派遣人員に就ては、(イ)国際水準の実力を有する者を選ぶ、(ロ)人格的に優秀な者を選ぶ、(ハ)内外の諸情勢を勘案するの所謂体協3原則に依つて審議を進めて居り、第一次案305名を第二次案で120名程度(今後の推移に依り150名迄追加することがある)に査定し、水泳は左の36名を一応認められた旨を藤田専務理事から報告した。

(選手)	男子競泳	17名
	女子	5名
	男子飛込	1名
	女子	1名
	計	24名
(役員)	総監督	1名
	会議要員	1名
	マネージャー	1名
	シヤペロン	1名
	男子競泳コーチ	4名
	ク トレーナー	1名
	女子競泳コーチ	1名
	飛込コーチ	1名
	水球見學員	1名
	計	12名

但し水球に就ても今後国際水準の實力を認定された場合は追加も不可能でなく、女子競泳・飛込に就ても實力次第では多少増員が期待出来るので、各種目共日本選手権大会直後と本年のシーズン終了後の2回に亘つてオリンピック候補選手を詮衝して各々強化に力めたい方針である。旨を併せ説明し之を諒承した。

オリンピック派遣に就ては国内強化費の外外国に於ける事前練習費に多額の経費を要するので、募金其他の方法を採ることを図り其の措置を会長、専務理事に一任することを決議すると共に、オリンピック準備に関する諸施策並びに役員の人選に就ても会長に一任することを再確認した。

尙オリンピック派遣人員に就ては、其の後関係各方面から減員希望が表明せられ、特に役員の減少に就て強硬意見が吐かれて居るので、之等に対する措置も挙げて会長に一任する事を図り之を諒承した。

(4) 青森縣水泳連盟加盟の件

青森縣水泳連盟(会長中村亀四郎氏、野辺地町P.T.A会長)の加盟申請に就て審議し、役員・組織・規約・水泳活動等何れも適格と認め加盟を承認することを決議した。

青森を最後に全国各都道府縣に加盟団体が設立された旨を報告し併せて水泳活動の不活潑な団体の猛省を促した。

- 12日(火) 醫、齒、藥大会打合せ会
- 14日(木) 常務理事会、女子クラブ会合
- 15日(金) 学生水球委員会、理工科大学大会打合せ
- 16日(土) 東京憲法記念水泳大会(東伏見)
- 17日(日) 同上
- 21日(木) 理事会
- 23日(金) 關東學生水球リーグ戦始まる(東伏見)
- 28日(木) 常務理事会、普及委員会、飛込委員会
- 29日(金) 都水協理事会、女子クラブ会合、測定委員会
- 30日(土) 東日本理工科大学大会メンバー交換会
- 7月 2日(月) 国公立大会打合せ会
- 3日(火) 東日本醫、齒、藥大会メンバー交換会
- 4日(水) 学生水球委員会
- 5日(木) 理事会、水球委員会、飛込委員会、女子クラブ会合
- 6日(金) 評議員会(四谷さがき)都水協理事会
- 12日(木) 常務理事会、飛込委員会、学生水球委員会
- 13日(金) 關東學生總務委員会、都水協理事会
- 18日(木) 理事会、飛込委員会
- 25日(水) 水球委員会
- 26日(土) 常務理事会、飛込委員会

□□□□□□□□ 9月下旬に出すつもりで
 □□□□□□□□ **あとがき** □□ た所、8,9月とも連盟が一番
 □□□□□□□□ 忙しい時なので原稿が思う様に集らず、とうとう11月になってしまいました。編集の勝手にお許し下さい。オリンピックの前年は何かにつけて重大な年ですが、その重大な年に本連盟育ての親ともいふべき末弘先生が逝去されました。先生がわが連盟に盡された功績は今更申上げるまでもないことです。只管先生の御冥福を祈つて止まない次第であります。さて本号には、新人坂本、吉田の両氏に御執筆願いました。共に古くから水上競技に多大の関心を持たれる熱心な方です。今後も時々お願いしたいと思つています。次号は日本学生、国体、それに20傑と各地競技会記録等でまとめたいと考えています。何とかして年内に出したいものです。(共道)

連 盟 日 誌

- 6月 3日(日) 和田勇氏夫妻ロスアンゼルスに歸る。
評議員小林榮三氏逝去
- 4日(月) 第23回早慶対抗水上競技大会開かる(神宮)
- 5日(火) 普及部検定講習番委員会
- 7日(木) 理事会
- 8日(金) 都水協理事会、四都市対抗打合せ会
- 9日(土) 全国水泳指導者検定委員協議会(東大)
- 10日(日) 同上
- 11日(月) 第16回日・立・明三大學対抗水上競技大会(神宮)

日本水泳連盟
機 關 雜 誌

水 泳

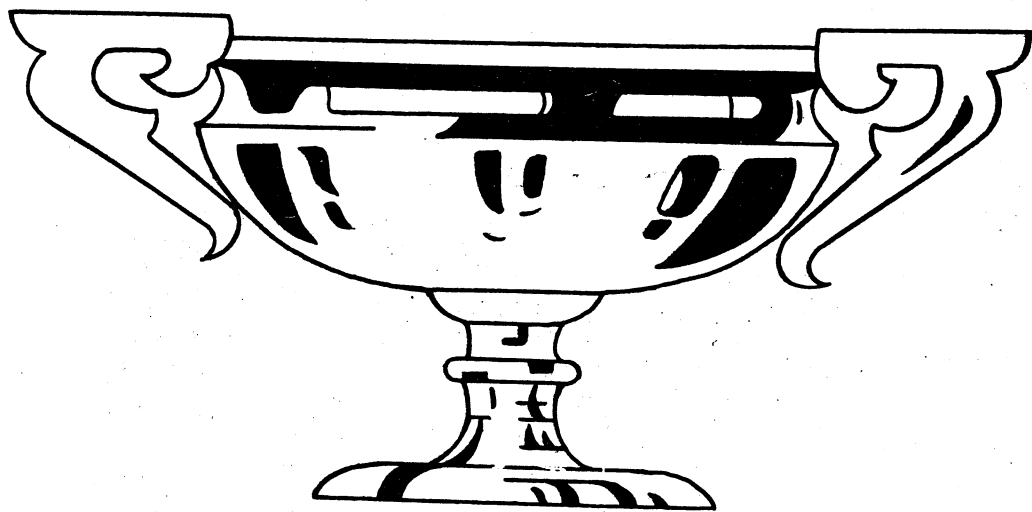
第 92 號

昭和 26 年 11 月 10 日 印 刷
昭和 26 年 11 月 15 日 發 行

日 本 水 泳 連 盟
 發行人 藤 田 明
 編輯人 宍 道 洋 一
 辻 富 士 夫
 印刷所 株式會社成島印刷所
 東京都中央区日本橋本石町3ノ4

定價 80 圓 年4回發行豫定 4回分 ¥ 200.00
 豫約申込者に限り領布す(1年前金豫約は郵送料不要)

東京都千代田区丸ノ内2ノ2
 丸ビル722区
 日 本 水 泳 連 盟
 電話和田倉(20)4885番



記念品 徽章 バッチ ガッセル メタル 優勝杯

盟連水泳日本 盟連競技上陸日本 御用

メーカーへ直接注文

名川徽章製作所

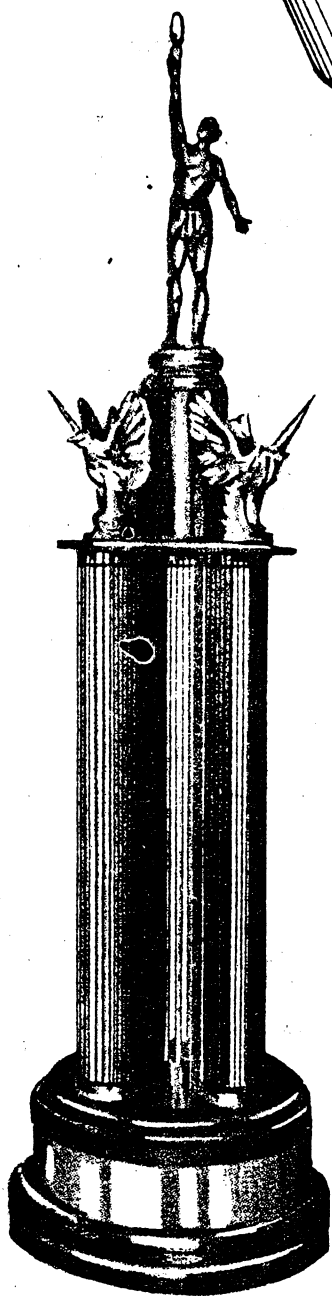
東京都文京区新諏訪町2

電話 小石川 (85) 5347

トヨタ

優勝旗

優勝杯



時 計・貴金 屬

ストップウォッチ

バッヂ・メダル

各種記念品調製

天 賞 堂

東京・銀座四丁目

Tel. (56) 0021 0022 3360 7294